



2006-2007年度
国際ロータリー第2510地区
地区大会の記録

Rotary International District 2510 Conference Report

ロータリーの未来にー北の夢エナジー



ホストクラブ
札幌真駒内ロータリークラブ



ロータリーの未来に — 北の夢エナジー



2006-2007

国際ロータリー 第2510地区

地区大会の記録





2006-2007

国際ロータリー 第2510地区

地区大会の記録

2006年10月14(土)・15日(日)

国際ロータリー会長メッセージ ——— 4

2006 - 2007年度 RI 会長 ビル・ボイド

国際ロータリー会長代理メッセージ ——— 5

国際ロータリー会長代理 亀岡 弘

ガバナー挨拶 ——— 7

2006 - 2007年度 国際ロータリー第2510地区ガバナー 丸山 淳士

祝辞 ——— 8

国際ロータリー第3700地区 總裁 李 龍雨

元国際ロータリー理事挨拶 ——— 9

元国際ロータリー理事 竹山 涼一

来賓挨拶

北海道知事 高橋はるみ ——— 10

札幌市長 上田文雄 ——— 11

大会実行委員長挨拶 ——— 12

大会実行委員長 金井 義司

ホストクラブ会長挨拶 ——— 13

ホストクラブ会長 南部 昭憲

会長・幹事会 ——— 14

本会議 ——— 18

表彰 ——— 23

物故会員ご尊名 ——— 30

記念講演『夢をもたらす氷の世界』 本堂 武夫 氏 ——— 32

並行プログラム

新世代セミナー ——— 40

記念講演『平和を実現する者』 宮崎 幸雄 氏 (東京 RC) ——— 42

地区指導者育成セミナー ——— 46

記念講演『今日における私たちのロータリー財団』 片岡 暎子 氏 ——— 48



ロータリーの未来に — 北の夢エナジー



国際ロータリー会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
並びに懇親会 ——— 54

クラブ紹介・地区大会登録者名簿 ——— 56

スパース・プログラム ——— 76

委員会展示ブース ——— 77

記念ゴルフ大会 ——— 78

囲碁大会 ——— 80

ご来賓ご招待ご芳名 ——— 82

地区大会特別参加者名簿 ——— 83

2005 - 2006 年度 国際ロータリー第 2510 地区
地区資金収支決算書 ——— 84

地区年次大会収支決算書 ——— 88

地区大会運営委員会 ——— 90

地区大会実行委員会 ——— 90

編集後記 ——— 91



国際ロータリー会長メッセージ

2006-2007 年度 RI 会長 ビル・ボイド

第 2510 地区大会にご出席のロータリアンの 友人並びにご来賓の皆様へ

家内のローナと私は今回の 2006 - 2007 年度地区大会にご出席の皆様一人一人に心からのご挨拶を申し上げます。私たちは丸山淳士ガバナーが地区大会実行委員の皆様と共に総合的なロータリー情報、親睦、そして友情のプログラムをもって献身的にご苦勞下さいましたことに深甚の敬意を表したく存じます。私たちはこの機会に友情、皆様のロータリーの視野を広め、ロータリーへの責務を再主張して、皆様が地域社会および地球村で“率先して”(Lead the Way)、超我の奉仕の原則に基づく事を希望致します。

世界中で開催される地区大会は 500 以上ございます。そのためローナと私はその全てに出席致したいのではありませんが、それは出来ない事をご理解いただきたく存じます。私たちはそのため亀岡弘氏並びに靖子令夫人に皆様の地区大会に代理として出席をお願い致しました。私たちは地区大会の間お二人と親しくしていただきメッセージなどお聞き下さいますよう希望致します。

私は亀岡弘氏にお願いして、我々奉仕への責務と人間性への愛情を明らかに出来る道を皆様に注意深く熟考するよう励ましていただきたく思います。我々会員の強力な力で、飢餓と闘い、清潔な飲み水を確保して(水保全)、読み書きの出来る世界に達して(識字率向上)、全ての人に教育を与えるよう努力を続けなければなりません。より良い世界のために努力すると言う我々の強い望みを持って、同じ課題で努力している他の組織との協力を求めようではありませんか。我々は“率先しよう”で前進しながら、超我の奉仕を通じて国際ロータリーの世界最大のリーダーシップを共に示し続けようではありませんか。



Dear Rotary Friends and Guests attending the District 2510 Conference, Lorna and I send our warmest greetings to each and every one of you attending this 2006-2007 District Conference. We wish to express our appreciation for the dedication and hard work of Governor Dr. Jyunji Maruyama who, along with the District Conference Committee, have put together a program of comprehensive Rotary information, fun and fellowship. We hope that you will take this opportunity for fellowship, broadening your Rotary horizons and reaffirming your commitment to Rotary and to the principle of Service Above Self as you **Lead the Way** in your communities and in the global village.

There are over 500 district conferences taking place around the world. Lorna and I would like to attend them all, but you will appreciate that this is not possible. We have, therefore, invited Hiromu Kameoka and his spouse, Yasuko, to represent us at your District Conference. We hope that you will enjoy their company and their messages during the conference.

I have asked Hiromu to encourage you to reflect carefully upon the ways in which we can demonstrate our commitment to service and our love for humanity. With the strength of our membership, we must continue our efforts to fight hunger, ensure clean water, reach a literate world and provide education for everyone. In our ambition to work for a better world, let's seek cooperation with other entities working with the same issues. Let us together continue to show the world the great leadership of Rotary International through Service Above Self as we go forward to **Lend the Way**.

Kind regards,
Bill Boyd
President, Rotary International



国際ロータリー会長代理メッセージ

国際ロータリー会長代理 亀岡 弘

ロータリー仲間のみなさんこんにちは。先ほどご紹介いただいた亀岡と妻の靖子でございます。

本日は、2510地区の地区大会にウィリアム.B.ボイドRI会長と、ローナ夫人の代理を仰せつかりまして、すばらしいロータリアン仲間とお会いでき、ボイドRI会長のメッセージをお伝えできますことは、私たち夫妻にとって誠に光栄の極みでございます。北海道副知事の嵐田昇さん、ならびに韓国3700地区ガバナー・李龍雨さんのご来会を賜りまして、本大会が盛り上がる事を期待しております。

丸山淳二ガバナー、元RI理事・竹山涼一氏はじめ、地区内外からバスターガバナー、ガバナー、そして地区の皆様方の心からの暖かい歓迎に感謝致しますとともに、第2510地区のすばらしい業績について分かち合い、讃え合える事を楽しみにしております。丸山淳二ガバナーはロータリーが大変お好きでございます。自分自身が楽しむ事が最良の会員増強であることを持論しておられます。そして、敬遠されがちな役割を率先して行うことで楽しみが増え、よりよいロータリー活動が行えると語っております。

豪放磊落ごうほうらいらくのようにお見かけいたしましたが、ドクターという職業柄とはいえ繊細な、きめ細かなすばらしいお人柄がガバナー月信、あるいは昨日お会いしました時にいろいろとお伺い致しますと浮き彫りにされているのでございます。

ウィリアム.B.ボイドRI会長は、1971年以来ニュージーランド・パ克蘭ガロータリークラブの会員で、1983年から84年度の地区ガバナー、1998年から2000年度のRI理事、1999年・2000年度のRI財務長を務めておられます。1995年までニュージーランドの最大手雑誌配給会社ゴードン・アンド・ゴッチ・マガジン社のゼネラル・マネジャーをお務めになっておられましたが、退職され現在はニュージーランド・ツリーズ・フォー・サイバル・トラスト、およびジュン・グレイ・トラストの理事、ならびに全国腎臓財団および知的障害者協会のRI代表などを務められるなど、すばらしいご経歴の持ち主でございます。また、ニュージーランドはラグビーの国としても有名でございますが、31年間もラグビーの審判をされてこられた事は、若かりし頃、自分自身もきっとラグビーを楽しまれたものと思います。私も若い頃はラグビーに熱を入れまして、足を打ったりケガをしたりして負けて家へ帰りますと親に怒られたものでございます。

今日もこうして真っ黒い顔をしておりますが、これはラグビーで焼けたわけではないのです。先日の体育の日に知的障害



者と私のクラブがいっしょになって運動会をやりました。最初は体育館でやると聞いておりましたが、行ってみるとなんとグラウンドで半日、体育館で半日ということになりました。帽子をかぶって行かなかったために、こんなに焼けてしまって、皆さんに笑われています。

ローナ夫人はニュージーランド、オークランド市のノーウィックに在住されておまして、お二人の間には、お二人のご子息様とお二人のお嬢様と10人のお孫様に恵まれ、幸せな家庭を築かれております。

さて、ボイドRI会長は、『ロータリー・ウィズダム』のなかでこのような事を言っております。『ロータリー・ウィズダム』とはロータリーの知恵と申します。

「なぜ、私はロータリアンなのか？」ということについて、次のように書かれていますので、その一部を紹介致します。

私なりに訳してみますと「私が若かりし頃、アルバート・シュバイツァーの人生に感動しました。彼は本当の幸せになれるものは、どのような奉仕をするかを探し求め、それを見出した人だけです。私の人生はその後、彼の経験が私たちがロータリーで経験するのと同様であるのが分かりました。」というように書かれています。

ボイドRI会長の認められましたこの言葉が、どのように奉仕するかを率先して求め、それを見出した人だけが幸せになる。という理念が今年度のRIテーマ『LEAD THE WAY 率先しよう』に完璧に表現されているように私は思うのです。

ところで、皆さんご存知のようにRI会長が変わりますとロゴが変わります。これはすでに皆さんがお読みになったと思いますが、今年度の『LEAD THE WAY 率先しよう』のロゴは、RIのリーダーシップと奉仕があらゆる方面に行き渡る事を表しています。たくさんの色は、ニュージーランドのパウア貝のオーシャングリーンとダークブルー、ロータリーの色である金色とロイヤルブルー、自然と成長を象徴する緑色、思いやり・温かさを表すオレンジ色、紫色は他者を激励する色とのことです。この

ロゴはRI会長のお人柄を表したものではないかと思えます。

ロータリーは101年という長い年月にわたって繁栄してきました。その理由はロータリーが『親睦』『友情』そして世の中の役に立つことを実行し、不変の価値を会員たちが分かち合ってきたからではないでしょうか。

ポール・ハリスは、その著書『ロータリーの理想と友愛』に世界はたえず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなくてはなりません。ロータリー物語は何度も書き換えられなければならないでしょう。と言っておられます。最近のロータリー物語は時代の変化に対応してどんどん変わりつつあります。その端的なものは、地区リーダーシップ・プランであり、また現在問題になっておりますクラブ・リーダーシップ・プランではないでしょうか。しかし、いかに世界がたえず変化しようとも、ロータリー物語が書き換えられようとも、ロータリーの原点、基本理念、使命やモットーは変わってはなりません。先ほど会長幹事の会議の時にも、私がこのロータリーの原点、基本理念というものを申し上げました。

ボイドRI会長は、ロータリーはいくつかの共通の資質を備えた人々のグループとして創設されました。その資質としては確固とした倫理観、寛大な精神、成さなければならない事柄を率先して行う意志です。何世代にも渡り世界中の地域社会において、ロータリアンはリーダーとして、その役割を果たしてきました。今日、ロータリーのリーダーシップはそれまで以上に世界で必要とされています。今の時代を眺めてみましても、皆さんご存知のようにいろいろな紛争とか、解決しなければならない問題がたくさんございます。我々ロータリアンが一丸になって、この紛争や問題に取り組む心構えがなくてはならないと思っております。

今年度のテーマ「LEAD THE WAY 率先しよう」は、ロータリーの伝統ともいえる価値観に基づいて生きる事によって、より良い未来をもたらす責任がロータリアンにあるという、私の信念を反映したものです。本物のリーダーが自ら模範を示すように、私たちは皆それぞれの職場で、クラブで、また日常の暮らしの中で、常にロータリーの理念を映し出す見本でなくてはなりません。

思いやりを示し、他者を尊重し、実践的な知識と慈悲の心を調和させる事です。そうすれば私たちは、ロータリーを充実させ、より良い奉仕を行う事ができるでしょう。と述べております。まさにロータリーの理念の奉仕と原点を説かれたものと思っております。

今日、私たちの地域社会が必要としているものは何かと申しますと、あこがれの有名人ではありません。誠の手本となる人物なのです。夢を追うだけの理想主義者ではなく、実践主義者を必要としているのです。ロータリアンとして私たちの責務が例会に留まらない事は、皆さんがご承知のところでございます。

私たち全員が、それぞれの地域社会を、ひいては世界をより良き場所にするという責務を持っております。ロータリーとロータリー以外の営みに境界線があってはならないと思えます。

私たちは全ての行動をロータリアンとして行うべきであり、ロータリアンであることに伴い、高い水準を満たす事ができるでしょう。常に切磋琢磨していかなければならないと思えます。会費を払い、ただなんとなく例会に出席している会員ではなく、誠のロータリアンとして、高潔な精神と良識のもと、シンプルな価値観を通じて地道な努力を重ねながら、より良き明日を築くため「LEAD THE WAY 率先しよう」をテーマに、力を合わせ行動を実践しようではありませんか。

皆さんの地区でも、聞くごとにRIテーマ「率先しよう」の実践を掲げている事は、誠に時宜を得たものであります。RIテーマは毎年異なります。私が入会しました1972年は、RI会長がロイ.D.ヒックマン氏で、テーマは「Let's Take a New Look - and Act もう一度見直そう」でございまして、入会当時はテーマが何を表し、何を意味しているのか私には分かりませんでした。しかし、先輩ロータリアンからの教育により、おぼろげながら意味が分かるようになってきました。クラブ会長を仰せつかりました1985年から86年、エドワード.F.カドマンRI会長のテーマが「You Are the Key あなたが鍵です」でありました。クラブ会長であったからかもしれませんが、このテーマに大変感動を覚え、ロータリーの奥深さを教えられました。また、ガバナーを仰せつかった1998年-99年の「Follow Your Rotary Dream ロータリーの夢を追い続けよう」これはジェームス・レーシーRI会長のテーマでございまして。このテーマが私のロータリー人生に大きなインパクトを与えたと言っても過言ではございません。このRIテーマがいつも私たちに新鮮な感動を与えてくれます。今年度は「LEAD THE WAY 率先しよう」。もちろんです。ロータリアンにこの感動がある限り、ロータリーが永遠に繁栄するものと信じて疑いません。ボイドRI会長の真意を少しでもお伝えできる事ができれば、私がRI会長の代理として役割を果たすことができたのではないかと存じます。これにて私のあいさつを終わらせていただきます。どうもありがとうございました。



ガバナー挨拶

2006-2007年度 国際ロータリー第2510地区ガバナー 丸山 淳士

おはようございます。今日は秋晴れのよい天候に恵まれました。無事に地区大会を開催させていただくことができました。本日は、各地から札幌までお集まりいただきまして、ありがとうございます。

ただいま、スパースプログラムでご夫人たちが出発しておりますので、途中で退席されました事をお許してください。

私ども札幌真駒内ロータリークラブ会員一同丸となって、本日の地区大会の準備をしまりました。至らない点が多々あるかと存じますが、ロータリーの友情に免じてお許してください。

また、本日救護室も完備しております。医者の中でも産婦人科が一番暇でございまして、当院の理事長と助産士が待機しております。万が一、会場で産気づきましても大丈夫でございますので、どのようにでも対応できると思います。

本日は秋晴れのよい天気でございます。時間の合間を見まして大通公園の散策、あるいは地区の委員会が2階にブースをつくっております。そちらの方にも是非足を伸ばしていただいて親睦を深め、大会を有意義に終わりたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしく申し上げます。

本日はありがとうございます。





祝辞

国際ロータリー第 3700 地区 総裁 李 龍雨

菊の香りが薫る素晴らしい秋晴に恵まれました。今日、亀岡弘 RI 会長代理ご夫妻の臨席を賜りまして、丸山淳士ガバナーご夫妻並びにパストガバナーの皆様と地区内外からお越し下さいました来賓の皆様、そして国際ロータリー第 2510 地区ロータリアンの祝祭である地区年次大会に於きまして、姉妹地区ガバナーとして参列出来ましたことは身に余る光栄に存じまして甚だ嬉しく、お招き下さいました丸山淳士ガバナー、金井義司大会実行委員長のご歓待に接し参席者一同を代表いたしまして厚く御禮申し上げます。

ウィリアム・B. ボイド RI 会長の『率先しよう』テーマ実践を挙げて地域社会の発展、進んで人類の共栄共存と世界平和の道へ貢献なされる第 2510 地区ロータリアン皆様方の透徹なる奉仕精神に深く敬意を表わすのであります。

第 2510 地区と 3700 地区とが姉妹結縁を締結しまして、はや三年を迎えております。今後共両地区は毎年相互訪問を通じ絆を強く結び付け、尚敦篤なる友誼を輝かせ兩國の相互理解と国際親善に寄與しつつ、真正なる奉仕精神を添え、ロータリー理想具現に邁進なるを望んで止まないところでございます。

日頃皆様方の好まれる文學上の詩歌を想わせる豊饒極まる収穫の秋を迎え催されます地区の盛大な年次大会は、正に全會員とご家族皆様方が積み重ねた友情と親善の礎にロータリー精神を添え、更に肝に銘じて奉仕の新しき地平を開く立派な祝祭になりますことと信じまして、姉妹の 3700 地区 3,000 餘名會員の温かき友情を第 2510 地区會員皆様方に郑重にお伝え申し上げます。

終に臨みまして第 2510 地区の末永いご発展と國境・人種・宗教・理念・文化・慣習の壁を乗り越え胸熱い愛情を以ってロータリー精神を具現なされておられます會員ご家族皆様の家庭毎々にご健祥とご多幸を御祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。ありがとうございました。





元国際ロータリー理事挨拶

元国際ロータリー理事 竹山 涼一

未だお昼前ではございますが、会場は夜の暗さです。

突然のご指名で、この場面でのスピーチは考えておりませんでした。後ほどまとめてと思っておりました。

ただ、ここにお集りの方々はみなさん同志でございますので、ご容赦いただきたいと存じます。実は2003年～4年度、2004年～5年度、2005年～6年度と続けて、自地区の地区大会に出席出来なかったことを大変申し訳なく思っております。といいますのも、1997年から足掛け3年間、国際ロータリー理事を致しましたので、丁度当地区の地区大会の時期にRI会長代理として他地区の地区大会に列席しなければならない機会が続いたからでございます。

RI理事時代の友人はニュージーランドでは現在のウィリアム・ボイドRI会長、北欧では昨年ステンハマーRI会長であります。

正確には理事の時期は完全に同じではありません。国際ロータリー理事の任期は2年で、時期が同じになるのは一年間だけです。完全に同時期に日本の理事が2人いることは極めて少ないのです。

私が神戸の今井理事から引き継いだ後、一年間は日本で一人だけ。もう故人となられました。私と同じ年齢の京都の小谷氏が理事となられた後半の一年間は一緒に日本の理事として、大変楽しい時代でした。

ちょうど私が理事をしていた'97年あたりのロータリーと2000年を過ぎたあたりのロータリーとでは若干状況が違って来ているとは思いますが、そういったことをじっくり勉強する時間はありませんでした。ロータリーを通して日々起きていた出来事の方が、私には実感が残っております。

状況が変わったといえ、ロータリーが財団等で世界的に非常に大きな貢献をしていることは紛れもない事実です。今回来られています片岡暎子さんも、東大をご卒業後ずっとロータリーに貢献してこられました。明日はセミナーで講演されますので、是非出席してお話をお聞きいただきたいと存じます。

今日は何をお話しようかと考えましたが、個人的に印象深かった方のお話をさせていただきます。先ほども物故会員の追悼がございましたが、札幌西クラブの方で100才で亡くな



られた長谷井真信さんという方です。この方に私は英語を習いました。長谷井さんは戦後すぐに進駐軍の大事な通訳として仕事をしておられ、私も翻訳の仕事を手伝いました。

長谷井先生は生きた英語を知っておられ、お一人で勉強される教室もございまして、そこで英語を教わりました。私はそのお陰で3年間、国際ロータリー理事を務めることができたのです。大変立派な方でありましたので、お亡くなりになり寂しい想いでございます。また機会がございましたら私のロータリーの経験談をお聞かせしたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。



来賓挨拶

北海道知事 高橋はるみ



皆様こんにちは

国際ロータリー 2510地区の地区大会が多くの方々の出席のもと、このように盛大に開催されたことを心からお祝い申し上げます。

そして、丸山ガバナー、金井大会実行委員長はじめ役員の方々、そして会員の皆様には青少年交換をはじめとした若い世代を育成するプログラムやロータリー財団による奨学制などのサポート等、職業奉仕の精神に裏打ちされた活動に熱心に取り組まれていることに、心から敬意を表したいと思います。

さて、財務省、日銀等の短観によりますと道内景気もようやく緩やかに持ち直しをしてくれているということですが、全国との比較においてはまだまだ厳しい状況にあると私どもは実感しているところでございます。

この3年間、北海道の限らない潜在力、そして高い可能性を最大に活かしながら未来に向かって北海道を新しく変えていきたいということで、経済構造改革、そして地方分権の確率、行財政等の改革などに取り組んでまいりました。とりわけ経済構造の改革につきましては、今日は各分野の職業をお持ちでまたロータリアンとして活躍されているの方々です。ご承知と思いますが、大きく言いますと北海道の持つ比較優勢の分野を先ず伸ばそうということで「食」と「観光」のブランド作り、そしてやはり地道に北海道を支えるのは基幹産業である1次産業であり、ものづくりであると考えて、この3年間頑張ってきたところでございます。

「食」のことでいえば、TV等で「米チェン」キャンペーンのCMに出ていまして、売名行為だとか批判は受けていますが、確実に成果として上がってきています。平成16年と17年度との比較におきましては食率が60～62%、つまり道民の方々に道産米を食べていただくといったことにつきましても着実に向上しています。

そして「観光」につきましても、外国人観光客の入り込みを平成16年の42万人が、17年には52万3千人くらいに増えています。今年の6月には、韓国との間には直行便が3便になり、ソウル・新千歳間がデイリーになりまして、新千歳・釜山、旭川・ソウル、函館・ソウルの直行便が開通し、8月にはチャイナエアラインが台北との直行便を開始しました。今日は2510地区の姉妹地区でございます3700地区から李龍雨総裁はじめお仲間の方々、そして台北からも30名近い方が来ていただいているということで、心より歓迎申し上げます。

ものづくりに関しましては、ご承知の通り自動車産業を中心

に投資が増えています。そしてそれを支える地場の中小企業の方々の頑張りもみられるところでございます。企業立地につきましても平成17年は57件でして、全国では7位でございます。

ともすれば、格差、格差ということで北海道はたしかに厳しい状況ではございますが、その言葉に惑わされて萎縮してしまうことが恐ろしいのではないかと思います。

そして、安心・安全な地域づくりをしていきたいと考えておりますが、残念なことに北海道のどの自治体も、夕張に象徴されるように非常に厳しい財政状況でございます。長い目でみた場合、人が減るということは大変なことでございます。そういった意味で新しい環境に対応した新たな視点で、人口減少時代の新しい地域づくり、そして北海道らしさを活かした環境調和型社会の形成。首都圏との比較ではなく「世界の中の北海道」を意識した取り組みを着実に進めていきたいと考えております。

今年の念頭に、道民の方々に包容力に満ちた北の大地を作りたいと申し上げました。北海道には雄大な自然や豊富で新鮮な農水産物、そして何よりチャレンジ精神溢れる人材という高い潜在力と限らない可能性がございます。そして、皆様ご承知の通り今年には北海道にとって大変暑い夏でした。駒大苫小牧の3連覇に近い活躍。そして先日の北海道日本ハムファイターズの優勝。

こういった時の道民の応援のパワーは、やはり北海道人の個人個人の持っているパワーや熱気は、見捨てたものではないと思っております。この「包容力に満ちた北の大地」を実現化するには行政の力だけではなく地域の方々、一人一人の参加が必要になってきます。そして未来の北海道づくりのためには、皆様方ロータリアンが取り組んでおられる活動が大きな力になるものと期待しております。

本日お集りの皆様方におかれましては、長年受け継いでこられました奉仕の精神を今後とも育まれ、協同の輪を地域に広げていただけますようお願いする次第でございます。

とりわけ2006—2007年のクラブのテーマが“率先しよう”ということでございます。2510地区の個々のロータリアンが率先して各分野でリーダーシップを発揮されれば、必ずや私どもが目指す北の大地が出来上がると期待しております。

結びになりますけれども、本日出席の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げて、またこの大会が成功裡に終わる事をご祈念申し上げて私からのお祝いの挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



来賓挨拶

札幌市長 上田文雄



本日は国際ロータリー第2510地区の地区大会が、ここ札幌で二日間にわたり盛大に開催されます事を心からお喜び申し上げますとともに、韓国からお越しいただきました李龍雨総裁をはじめ札幌にお越し下さいました皆様を、188万人の市民を代表いたしまして心から歓迎を申し上げます。また、皆様におかれましては札幌市はもとより西北海道の各地区におきまして、日頃から真心のこもった様々な奉仕活動を実施され、地域の町づくりに多大なるご貢献をいただいておりますことに、この場をおかり致しまして心から厚くお礼を申し上げます。

とりわけ青少年への教育活動や福祉奉仕活動等、地域に密着した取り組みを積極的に展開されており、皆様のような地域のリーダー的な立場の方々による活発な活動は、社会全体に奉仕の精神を育む先導役として大変意義深い事でございます。さらに寄付を通じた国際親善や国際教育活動等、世界的な奉仕活動にも取り組まれてございます事に深く経緯を表する次第でございます。

今、地球の温暖化対策や世界の恒久平和など、地球規模で取り組まなければならない課題が山積しておりますことから、皆様のご活動は今後より一層重要になって参ります。本市と致しましては市民が真に主人公となる町づくりを目指して自治基本条例の制定をはじめ、市内に87カ所ある町づくりセンターが中心となって市民の皆様の様々な活動をサポートさせていただいております。今後も皆様と手を添えながら市民の力がみなぎる文化と誇りあふれる街札幌の実現に全力を尽くしてまいります。

どうか皆様におかれましては、今後とも地域におけるリーダーとして、引き続き活発な活動を通じて本市およびそれぞれの地域の町づくりにご支援、ご協力を承りますよう心からお願いを申し上げます。

結びと致しまして、国際ロータリー第2510地区の増々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げましてお祝いの挨拶とさせていただきます。



大会実行委員長挨拶

大会実行委員長 金井 義司

おはようございます。金井でございます。

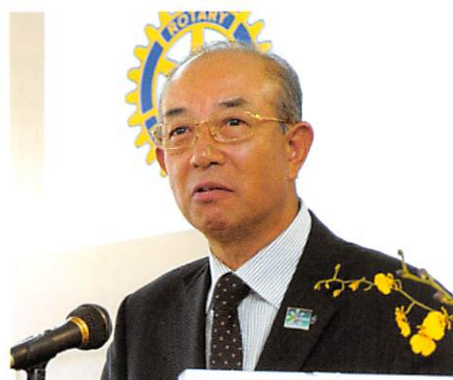
今朝5時には、まだ天気分かりませんでした。5時半過ぎ頃朝日が昇ってきまして、素晴らしい朝焼けを見ることができました。これでひとつクリアされたようで、そんな嬉しい顔でここに参ることができました。

今日は札幌真駒内ロータリークラブが、初めて地区大会のこのポストを体験する日でございます。32年の歴史で、すべてが初体験です。ということでございますので、不行き届きのところがあるかと思いますが、友情と寛容でお許しをお願いします。ということ冒頭に申し上げます。

今日ここで、みなさんご審議・ご採択いただき、その後本会議が滞りなく進行するだろうと思いますが、さて、ここにお座りいただいて、皆様いかがでしょうか。この札幌市民会館からにじみ出ている古さを、実感されているのではないのでしょうか。ここは来年の3月で役割を終えます。そして4月には取り壊しが始まります。ということで皆様の記憶に留めておいていただきたいと思っております。この地は1881年（明治14年）に豊平館ができました。その後昭和32年に中島公園に移設され、125年前にここに建ったのが今も元気でございます。

その後、昭和33年にここに建てられたのがこの市民会館でございます。少し地震が来ると建物も自信がなくなる。というようなことで急遽どうしても建替えをしなければならない。そんなことで、もし何かがあったら困るということで3月いっぱい、大ホールは1月いっぱい閉鎖します。

そんなことを記憶に留めていただいて、記念にお持ち帰りいただきたい。お土産はそのくらいでございます。あとは皆様の真剣なご討議で、この会を盛り上げていただければ、私はただありがとうございますを申し上げて席をおります。ありがとうございます。





ホストクラブ会長挨拶

ホストクラブ会長 南部 昭憲

国際ロータリー 2006 - 2007 年、第 2510 地区大会のホストクラブを仰せつかりました札幌真駒内ロータリークラブを代表いたしまして一言、歓迎のご挨拶をいたします。

時まさに収穫の秋。先日は、北海道日本ハムファイターズのバリーグ優勝があり、大変沸いている北海道札幌に RI 会長代理 2640 地区パストガバナー 亀岡弘ご夫妻をお迎えし、北海道知事、札幌市長、また遠くは韓国第 3700 地区李龍雨総裁をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、また当札幌真駒内ロータリークラブと友好クラブのお付き合いをいただいています台湾第 3480 地区台湾台北大同ロータリークラブの何昌明社長、許章賢ガバナー・ノミニエご夫妻ほか会員の皆様。地区内外よりガバナー、パストガバナー、会長、幹事、会員、そしてそのご家族の皆様、交換学生、財団奨学生、GSE、インターアクト、ローターアクトなど多数のご参加をいただきまして、2006 - 2007 年度地区大会を開催できますことを、誠に喜ばしくホストクラブとしては光栄でございます。

ホストクラブを代表いたしまして、ご参加の皆様のご好意と友情に深く感謝とお礼を申し上げる次第でございます。ご参加の皆様、心よりご歓迎申し上げます。

札幌真駒内ロータリークラブは、今年で創立 32 年でございますが、初めて本大会を迎え丸山ガバナーの誕生となりました。丸山ガバナーから指導いただきながら、金井義司実行委員長を先頭に会員一丸となりまして誠心誠意取り組んでまいりましたが、何かと不行き届きの点が多々あろうかと存じますが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます次第であります。

札幌市民会館につきましては、先ほど実行委員長から話がありました。地区大会は今回が 4 回目と聞いております。歴史ある建物でございますので、参加者の皆様の思い出になればと願っております。

最後になりますが、この地区大会が成功裡に終わらせていただけますように、またお集りの皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます、簡単措辞ではございますが歓迎のあいさつとさせていただきます。



2006-2007 年度 国際ロータリー第 2510 地区

地区大会 決議案

【決議第 1 号】

『国際ロータリーのテーマを推進する件』

ウィリアム B. ボイド国際ロータリー会長は本年度のテーマとして「率先しよう」を示されました。

我々第 2510 地区のロータリアンは、このテーマをよく理解し積極的に推進して、ロータリーの奉仕活動に最大限の努力を傾けることを決議致します。

【決議第 2 号】

『ウィリアム B. ボイド国際ロータリー会長並びに亀岡 弘国際ロータリー会長代理ご夫妻に感謝する件』

2006-2007 年度の国際ロータリー第 2510 地区、地区大会を札幌市で開催するにあたり、ウィリアム B. ボイド国際ロータリー会長は会長代理として亀岡 弘バスター・ガバナーを派遣されました。同氏は令夫人と共に本大会にご臨席下さり、ボイド国際ロータリー会長のメッセージを伝えられ、さらに国際ロータリーの現状についてのご講話と共に格調高い所感を表明され、大会参加者に多大の感銘を与えられて本大会を成功へと導かれました。本大会はウィリアム B. ボイド国際ロータリー会長に心からの謝意を表すると共に亀岡 弘国際ロータリー会長代理ご夫妻に記念品を贈り、感謝と敬意を表することを決議致します。

【決議第 3 号】

『2005-2006 年度の地区資金収支報告並びに監査報告を採択する件』

2005-2006 年度の地区資金収支報告並びに監査報告は別紙の通りであります。

本大会は国際ロータリー細則第 15 条第 6 節第 4 項の規定に則り、正式に採択することを決議致します。

【決議第 4 号】

『国際ロータリー第 2510 地区直前ガバナー塚原房樹氏に感謝する件』

2005-2006 年度地区ガバナー塚原房樹氏は、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー直前国際ロータリー会長のテーマ「超我の奉仕」を地区内ロータリアンの理解に努められ、ご在任中は当地区のロータリーのリーダーとしてその卓越した手腕をロータリーに対する情熱を持って激務を見事に果たされました。よって本大会は同氏の功績をたたえ、深甚なる謝意を表することを決議致します。

【決議第 5 号】

『会員増強と退会防止及びクラブ拡大を推進する件』

当地区のロータリアンは、ウィリアム B. ボイド国際ロータリー会長が本年度の最優先事項として掲げられた会員増強と退会防止およびクラブ拡大を一層推進することを決議致します。

【決議第 6 号】

『ロータリー財団の寄付増進に協力する件』

国際ロータリーのロータリー財団はロータリー活動の大きな柱の一つであります。当地区の全てのロータリアンは国際理解、友好、親善、人道的援助の願いをこめて、「毎年あなたも 100 ドルを」というロータリー財団の寄付増進に協力することを決議致します。

【決議第 7 号】

『(財) ロータリー米山記念奨学会の寄付増進に協力する件』

(財) ロータリー米山記念奨学会は日本のロータリー活動の大きな柱の一つであります。当地区の全てのロータリアンは国際理解、友好、親善の願いを込めて、(財) ロータリー米山記念奨学会への寄付増進に協力することを決議致します。

【決議第 8 号】

『地域社会に対する奉仕活動を推進する件』

当地区のロータリアンは、ウィリアム B. ボイド国際ロータリー会長の強調事項である地域社会への奉仕をより積極的に遂行することを決議致します。

【決議第 9 号】

『ソルトレークシティ国際ロータリー大会への参加を推進する件』

2007 年 6 月 17 日～20 日にアメリカ・ソルトレークシティにおいて開催される国際大会に、当地区会員並びにご家族の積極的な参加を推進することを決議致します。

【決議第 10 号】

『次期地区大会開催に関する件』

2007-2008 年度国際ロータリー第 2510 地区、地区大会は函館五稜郭ロータリークラブをホストクラブとして函館市において開催することを決議致します。

【決議第 11 号】

『地区大会ホストクラブに感謝する件』

2006-2007 年度国際ロータリー第 2510 地区、地区大会が札幌市民会館・ホテルライフォート札幌において開催され、多くの成果を収めつつあることは、札幌真駒内ロータリークラブの周到なる準備と会員とご家族のご協力の賜であります。

よって本大会はここに深甚なる謝意を表することを決議致します。



司会・進行 中山 裕視

10 月 14 日 (土)

8:30	登録開始	司会・進行 中山 裕視
9:00	点鐘	ガバナー 丸山 淳士
	国家斉唱	
	ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー 山口 洋司
	国際ロータリー会長代理	
	ご夫妻、ご来賓、役員紹介	ガバナー 丸山 淳士
	開会の挨拶	大会実行委員長 金井 義司
	ガバナー挨拶	ガバナー 丸山 淳士
9:15	国際ロータリー会長代理	国際ロータリー会長代理 亀岡 弘
	挨拶	
9:45	大会決議案上程審議	大会決議委員会 佐藤 秀雄
	大会決議案上程採択	ガバナー 丸山 淳士
	大会運営について	大会副委員長 佐々木 敦
	2005-2006 年度決算報告	前年度財務委員長 藤井 英勝
	2005-2006 年度決算監査報告	バスター・ガバナー 遠藤 秀雄
	大会登録委員会報告	大会登録委員長 塚原 房樹
	大会信任状委員会報告	大会信任状委員会 遠藤 秀雄
	大会選挙管理委員会報告	大会選挙管理委員会 小林 博
10:00	点鐘	ガバナー 丸山 淳士



金井義司 大会実行委員長



丸山淳士 ガバナー



亀岡弘 国際ロータリー会長代理



佐々木敦 大会副委員長



藤井英勝 前年度財務委員長



遠藤秀雄 バスト・ガバナー



塚原房樹 大会登録委員長

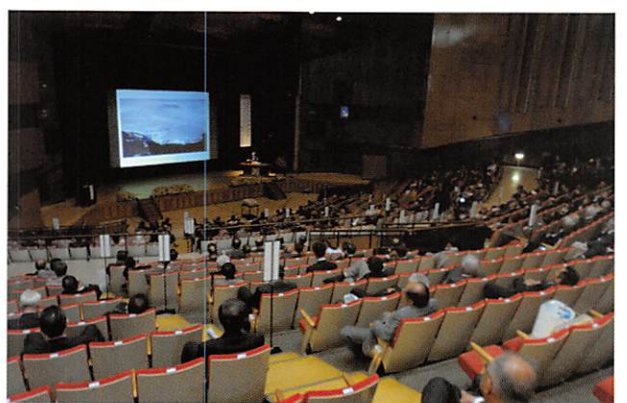


小林博 大会選挙管理委員長









開会のことば

大会実行委員長 金井 義司

実行委員長を命ぜられました金井でございます。

開会を宣言いたします。

今日は朝早くから皆様出席いただきましてありがとうございます。

本日は国際ロータリー会長のウィリアム・B. ボイド氏の代理として亀岡弘様がメッセージをお持ちいただき、このように盛大に開会できることを大変光栄に思っております。

本大会は1,705名のご登録をいただきまして、ご出席賜りました。大変ありがとうございました。

本会場につきましては、先ほどの会長・幹事会でもお話ししましたが、この札幌市民会館は来年3月に営業を停止します。そういったことを意識してこの会場を選びました。少し古びた寂しさ、あるいは一番油が乗り切っている時。そのようなことをご記憶に留めていただきたく思います。この建物が今期で終わり、また新たに作られさらに大きく飛躍すると思います。我々ロータリークラブも今日の様々な大会の成果を見まして明日への躍進に努めていただきたいと思います。

一言ごあいさつを申し上げます。

ありがとうございました。

司会・進行



佐藤 則幸 会員



浜井 俊弘 会員

10月14日(土)

- | | | |
|-------|--|---|
| 9:10 | 本会議受付開始 | 司会・進行 佐藤 則幸
浜井 俊弘 |
| 10:20 | 着席
ガバナー登壇
国際ロータリー会長代理
並びにご来賓ご招待者ご紹介 | ガバナー 丸山 淳士 |
| 10:30 | 点鐘
韓国国歌演奏
国歌斉唱
ロータリーソング『我らの生業』
開会のことば | ガバナー 丸山 淳士
大会実行委員長 金井 義司 |
| 10:45 | 物故会員追悼(黙祷) | |
| 11:00 | 歓迎のことば | ホストクラブ会長 南部 昭憲 |
| 11:02 | ガバナー挨拶 | ガバナー 丸山 淳士 |
| 11:05 | 国際ロータリー会長代理挨拶 | 国際ロータリー会長代理 亀岡 弘 |
| 11:25 | 国際ロータリー | |
| 11:40 | 第3700地区総裁挨拶 | 第3700地区総裁 李 龍雨 |
| 11:45 | 元国際ロータリー理事挨拶
来賓祝辞 | 元国際ロータリー理事 竹山 涼一
北海道知事 高橋はるみ
札幌市長 上田 文雄 |
| 11:55 | 諸事お知らせ | 地区大会 SAA 吉村 洋吉 |
| 12:00 | 昼食 | |
| 13:00 | 表彰
ロータリー財団・米山記念奨学会
会員増強・永年出席・100%表彰 等 | ガバナー 丸山 淳士
直前ガバナー 塚原 房樹 |
| 13:30 | 記念講演「夢をもたらす氷の世界」
講演者紹介
謝辞 | 講演者 本堂 武夫
ガバナー 丸山 淳士
ガバナー 丸山 淳士 |
| 15:10 | 大会決議案上程
大会決議案承認 | 大会決議委員長 佐藤 秀雄
ガバナー 丸山 淳士 |
| 15:20 | 国際ロータリー現況報告 | 国際ロータリー会長代理 亀岡 弘 |
| 15:45 | 地区現況報告 | ガバナー 丸山 淳士 |
| 15:55 | 新世代セミナー(並行プログラム) 報告 | 地区新世代委員長 細川 好弘 |
| 16:00 | 直前ガバナーへ記念品贈呈
参加クラブ・特別参加者紹介 | ガバナー 丸山 淳士
ガバナー 丸山 淳士 |
| 16:30 | 2007-08年度ガバナー・エレクト紹介
ガバナー・エレクト挨拶
2008-09年度ガバナー・ノミニ紹介
ガバナー・ノミニ挨拶
次期地区大会開催ホスト・クラブ紹介
ホスト・クラブ会長挨拶 | ガバナー 丸山 淳士
ガバナー・エレクト 酒井 正人
ガバナー 丸山 淳士
ガバナー・ノミニ 矢崎 温郎
ガバナー 丸山 淳士
函館五稜報ロータリークラブ会長 藪下 明 |
| 16:40 | 国際ロータリー会長代理所感
お礼のことば
国際ロータリー会長代理
ご夫婦に記念品贈呈 | 国際ロータリー会長代理 亀岡 弘
ガバナー 丸山 淳士
ガバナー 丸山 淳士 |
| 17:10 | 点鐘
諸事お知らせ
閉会 | ガバナー 丸山 淳士
大会 SAA 吉村 洋吉 |





亀岡弘 国際ロータリー会長代理



丸山 淳士 ガバナー



李 龍雨 第 3700 地区総裁



竹山 涼一 元国際ロータリー理事



金井義司 大会実行委員長



南部昭憲 ホストクラブ会長



北海道知事代理



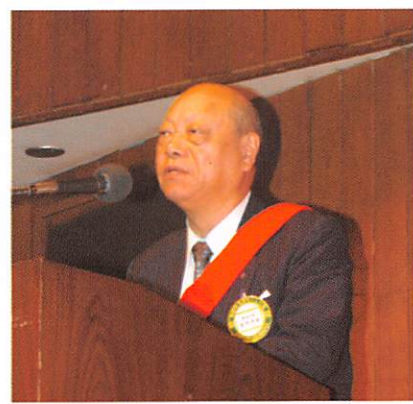
札幌市長代理



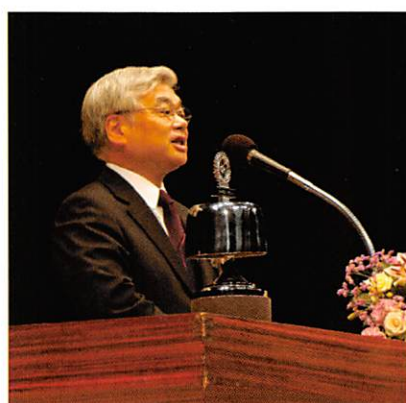
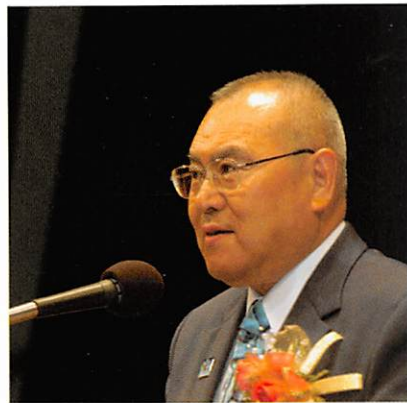
佐藤秀雄 大会決議委員長



記念講演者 本堂武夫 氏



吉村洋吉 大会 SAA



酒井正人 ガバナー・エレクト



細川好弘 地区新世代委員長



薮下 明
次年度地区大会ホストクラブ会長(函館五稜郭)



亀岡 RI 会長代理に記念品贈呈

表彰



財団寄付優秀クラブ
第1位 札幌 RC



財団寄付優秀クラブ
第2位 札幌東 RC



財団一人あたり寄付額優秀クラブ
第1位 三石 RC



財団一人あたり寄付額優秀クラブ
第2位 札幌 RC



財団一人あたり寄付額優秀クラブ
第3位 札幌東 RC



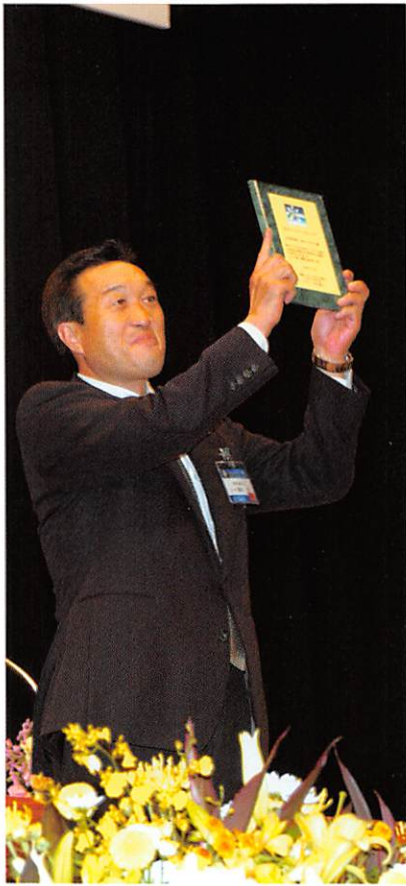
財団寄付優秀クラブ
第1位 札幌 RC



財団寄付優秀クラブ
第2位 札幌東 RC



財団寄付優秀クラブ
第3位 岩見沢 RC



100% ボール・ハリス・フェロー・クラブ
岩見沢東 RC



メジャードナー表彰
田中 良治（札幌 RC）



メジャードナー表彰
大橋 康次（札幌東 RC）



米山達成クラブ表彰
岩見沢 RC（3千万円達成）



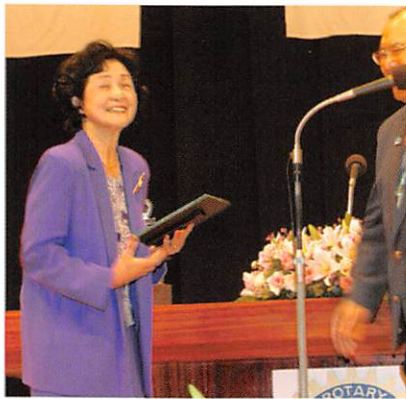
米山達成クラブ表彰
千歳 RC（1千万円達成）



メジャードナー表彰
吉田 正治（滝川 RC）



メジャードナー表彰
小林 博（札幌北 RC）



メジャードナー表彰
谷口 二郎（札幌西北 RC）代理



メジャードナー表彰
吉村 洋吉（札幌真駒内 RC）



メジャードナー表彰
福田 武男（千歳 RC）



メジャードナー表彰
鍋谷 操子 (函館セントラル RC)



メジャードナー表彰
池垣 清信 (函館東 RC)



メジャードナー表彰
小笠原 孝 (函館北 RC)



メジャードナー表彰
伊藤 長英 (苫小牧北 RC)



会員増強推進計画表彰
函館 RC (新ロータリークラブの結成)



会員増強推進計画表彰
栗山 RC (退会防止)



会員増強推進計画表彰
静内 RC (有資格の新会員の勧誘)



地区会員増強優秀賞 (2005—2006 年度)
第 1 位 函館セントラル RC



地区会員増強優秀賞 (2005—2006 年度)
第 2 位 栗山 RC



地区会員増強優秀賞 (2005—2006 年度)
第 3 位 北広島 RC



永年出席 100% 会員表彰 (40 年)
磯場 勇一 (札幌東 RC)



永年出席 100% 会員表彰 (40 年)
木村 英夫 (函館 RC)

ロータリー財団表彰

〈マルチプル・ボール・ハリス・フェロー〉

クラブ名	氏名	回数
深川	永井 久之	(2)
留萌	大沼 哲郎	(2)
滝川	中島 健	(4)
	縄手 康熙	(1)
	篠島 弘	(6)
	吉田 正治	(7)
	渡邊 恭久	(2)
美唄	井門 英明	(2)
江別	岩田 雅明	(1)
	奥野 一嘉	(1)
	津田 政勝	(1)
岩見沢	五十嵐 閣	(2)
	小坂 昭男	(2)
	倉増 秀昭	(3)
	向田 甚市	(2)
	仁志 紘一	(1)
	岡本 等	(2)
	大西 敏雄	(2)
	嵯峨 義輝	(2)
	竹内 守	(3)
栗沢	中村 一二	(3)
札幌	田中良治(メジャードナー)	
	中村 達也	(1)
	高薄 浩志	(1)
	山中 善夫	(1)
札幌あけぼの	西山 秀夫	(1)
札幌北	灰野 篁	(2)
	長太 義雄	(3)
札幌西	石黒 直文	(2)
札幌西北	大島 利一	(1)
札幌手稲	平田 勝美	(2)
札幌東	大橋康次(メジャードナー)	
	坂東 宗一	(4)
	菊地 弘嗣	(1)
	米谷 龍三	(2)
	黒澤 昌彦	(1)
	松宮 國彦	(3)
	奥村 義夫	(2)
	白石 正勝	(2)
	鈴木 俊幸	(2)
	高橋 徹	(1)
	塚原 房樹	(2)
札幌幌南	浅井 雅雄	(1)
	羽部 大仁	(4)

〈ボール・ハリス・フェロー〉

クラブ名	氏名	回数
深川	北村 幸雄	
羽幌	東出 覚	
赤平	仙田 哲夫	
	渡辺 修	
滝川	中川 一郎	
	西村 恒則	
江別	清水 基陽	
岩見沢	勝井 裕幸	
	武蔵 輝彦	
	高谷 郁男	
岩見沢東	藤田 文雄	
	林崎 弘吉	
	稲垣 政敏	
	石橋 宣利	
	南原 幹生	
	梨本 忠一	
	折笠 真仁	
	柴野美智子	
	只野 公幸	
	田口 剛志	
	高崎 英雄	
	大和 力	
	渡辺 直樹	
栗沢	若浦 俊夫	
栗山	樺澤 忠彦	
	松原 正和	
札幌あけぼの	鈴木 徹雄	
札幌北	佐藤 公	
札幌モーニング	梅津 征夫	
札幌西	北川 誠	
	前原 絢子	
	上出 利光	
札幌手稲	村田 彰夫	
札幌東	川幡 宏一	
札幌清田	若林 成治	
札幌幌南	佐藤 泰寛	
札幌真駒内	笠原 路子	
	川越 仁	
	南部 昭憲	
札幌南	中道 博	
	横田 昭	
	吉田 壽昭	
札幌大通公園	田中 利男	
岩内	軍司 孝文	

米山記念奨学会表彰

〈米山功労者マルチプル〉

クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名	氏名	回数
	斎藤 徹		深川	後藤田隆雄	(5)		潟沼 良三	(2)
倶知安	滝口 直久			伊藤 崇	(7)	札幌東	坂東 宗一	(9)
小樽	菰田 尚正			成田 昭彦	(3)		菊地 弘嗣	(3)
	小野 晃裕			佐々木 実	(3)		米谷 龍三	(4)
	柴田 徳彦			下村寿太郎	(2)		野村 昭光	(9)
	杉江俊太郎			杉村 修	(5)		山崎 俊彦	(4)
小樽南	本間 彰			吉本 勲	(4)		吉山 八郎	(6)
	板垣 明		赤平	田中 良一	(3)	札幌清田	高橋 宣充	(2)
	水上 恒一		滝川	深澤 和範	(2)	札幌幌南	中川 勝之	(4)
	中嶋 宏			中島 誠一	(2)		戸井 敏夫	(5)
	小笠原俊介			中島 健	(6)		海野 英爾	(4)
	大倉 俊一			佐藤 佳朗	(2)		山名 善久	(4)
千歳	曙 恒平			吉田 正治	(11)	札幌真駒内	佐々木則秋	(6)
	日向 祥一			(メジャードナー)			佐藤 泰彦	(6)
	梶原 勝		美唄	井門 英明	(5)		吉村 洋吉	(13)
	村田 研一			毛利 清徳	(2)		(メジャードナー)	
	大西 信也		江別	安孫子建雄	(2)	札幌南	小林 昌志	(6)
恵庭	細川 茂			池田 春男	(3)		トーキル・クリステンセン	(6)
	内田 信一		岩見沢	石田 豊明	(2)		佐藤 源五郎	(2)
長沼	政角 勝雄			小坂 昭男	(4)		杉目 幹雄	(3)
由仁	大坂 直人			三嶋 顕	(4)		鈴木 宏行	(2)
三石	出口 弘史			西川 昇	(6)	新札幌	清水 昭子	(2)
浦河	福士 幹紀			大屋 均	(4)		梅田 鉄夫	(2)
	大谷 律子			佐川 修一	(3)	千歳	福田 武男	(11)
伊達	伊藤 金蔵		栗沢	林 義明	(3)		(メジャードナー)	
	鈴木 啓一			本田 正一	(4)	恵庭	村上 利雄	(2)
室蘭北	加藤 栄吉			井形 昇	(4)	伊達	菅 俊治	(3)
函館	黒田 博久			伊藤 アキ	(2)	室蘭	木下 博	(6)
森	桜田 伸也			中村 一二	(4)		佐藤 寿夫	(3)
函館セントラル	藤崎 俊英		札幌	松本 脩三	(5)	室蘭東	鈴木 久雄	(6)
	伊藤 福蔵		札幌はまなす	中山 正美	(6)	室蘭北	村井 玄乙	(2)
	伊藤 道雄			大石 春雄	(2)		澤山 豊	(2)
	上林 嘉和		札幌北	小林 博	(10)	函館	太刀川善一	(9)
	野崎 均			(メジャードナー)		函館セントラル	小泉護太郎	(7)
	坂下 賢二			竹原 巖	(6)		鍋谷 操子	(10)
函館北	増山 正			谷口 良一	(3)		(メジャードナー)	
苫小牧	橋本 洋一			若狭 吉範	(3)	函館五稜郭	阿彦 治	(2)
			札幌モーニング	篠原 達雄	(2)		後平幸太郎	(2)
			札幌西北	三上 直彦	(7)		石尾 清広	(2)
				森本 正夫	(5)		川上 誠	(2)
〈ベネファクター〉				武田 忠和	(3)		河村 隆平	(3)
クラブ名	氏名			谷口 二郎	(27)		菊地 喜久	(2)
美唄	三浦 武美			(メジャードナー)			小坂 三男	(2)
登別	遠藤 秀雄		札幌手稲	平田 勝美	(2)		最上 淳	(2)

米山記念奨学会表彰

クラブ名	氏名	回数
函館五稜郭	能戸 彰	(2)
	大日向豊吉	(2)
	酒井 正人	(6)
	清藤 堯士	(2)
	藪下 明	(2)
函館東	池垣 清信	(19)
	(メジャードナー)	
函館北	菅原 憲夫	(9)
	小笠原 孝	(10)
苫小牧北	(メジャードナー)	
	伊藤 長英	(21)
	(メジャードナー)	
	丸屋 憲一	(5)

〈米山功労者〉

クラブ名	氏名
深川	山腋 一範
留萌	越野 俊興
砂川	瓜 俊雄
滝川	伊藤 和男
	今野 正一
	松原 章
	山本 毅
	奥山 裕章
美唄	武市 雄弘
江別	津田 政勝
岩見沢	荒木 英雄
	荒岡 春雄
	谷 勲
	山本 辰勇
	山崎 康行
岩見沢東	西原 宗幸
	津元美智代
	上野 弘美
	渡辺 勝治
札幌	中村 達也
	高薄 浩志
	山中 善夫
札幌あけぼの	西山 秀夫
	鈴木 徹雄
札幌はまなす	野村 勝隆
札幌北	三味 正明

クラブ名	氏名
	佐藤 公
札幌西	石黒 直文
	村上 登
札幌西北	大島 利一
札幌東	川幡 宏一
	白崎 邦彦
	滝川 武彦
札幌清田	若林 成治
札幌幌南	金谷 寛
	加藤 康夫
	三国 信樹
札幌真駒内	中原 孝
	中村 孝一
	南部 昭憲
札幌南	青木 健次
	木下 義章
	熊本 努
	黒田 忠
	中島 一郎
	太田 眞琴
	澤田 隆一
	田井 秀典
	徳中 征之
	小樽
	能島 正朋
	吉村 克之
千歳	藤本 敏廣
	中山 和朗
恵庭	阿部 功
三石	小島 安彦
静内	不動 信之
	増本 裕治
室蘭	國田 雅弘
室蘭東	荒井 孝亘
	松田 幹人
	寄木 清二
室蘭北	神島 章
	松田 博文
函館	竹田 公一
函館セントラル	伊藤 道雄
函館東	林 完治
函館北	増田 定雄
苫小牧	市町 峰行

クラブ名	氏名
苫小牧東	松下 昌平
苫小牧北	岡田 秀樹
	高橋 康則

〈米山功労クラブ〉

クラブ名	回数
深川	12回目
砂川	10回目
滝川	22回目
岩見沢	24回目
札幌	22回目
札幌あけぼの	6回目
札幌はまなす	3回目
札幌北	22回目
札幌モーニング	12回目
札幌手稲	20回目
札幌東	30回目
札幌清田	2回目
札幌幌南	15回目
札幌真駒内	20回目
札幌南	31回目
小樽	6回目
室蘭	6回目
函館五稜郭	12回目
苫小牧	4回目
苫小牧北	12回目

〈米山功労法人〉

クラブ名	氏名
静内	會澤高圧コンクリート(株) (1)

〈クラブ創立記念特別寄付〉

クラブ名	氏名
札幌南	50万円 (50周年)

永年出席100%会員表彰

40年

クラブ名	氏名
札幌東	磯場 勇一
函館	木村 英夫

35年

クラブ名	氏名
留萌	平井 誠治
芦別	岩間 珠一 久保 邦夫 関口 孝八
札幌北	谷口 良一
札幌西	岡崎 庚午
札幌手稲	石田 誠
札幌幌南	遠藤 正之 吉田 彰
伊達	堅田 進
室蘭東	鈴木 久雄

30年

クラブ名	氏名
滝川	岡本 皓 渡邊 恭久
岩見沢	牧 陽一
当別	安藤 正 福井 昭和 下段 寿之 米口 稔
札幌西	駒ヶ嶺大三 倭 昭三
札幌幌南	角掛 晴雄
俱知安	小野塚清一
小樽南	岩船 早苗
千歳	藤川 昭三
恵庭	村上 利雄
静内	細川 好弘 奥田 隆二 佐藤 隆司
函館東	小野 孝良
函館北	西尾 昌一
苫小牧北	石田 貢

25年

クラブ名	氏名
留萌	川上 明弘 清水 陸

クラブ名	氏名
芦別	土山 久男
砂川	山下 真史
滝川	柳 義文
岩見沢	向田 甚市
札幌	内山 洋一
札幌東	奥貫 一之
札幌幌南	羽部 大仁
札幌真駒内	神谷 英光
札幌セントラル	芹田 馨
岩内	小杉高一郎
千歳	岩崎 暉久 上井 昭一 沼山佐太郎 高慶 繁博 山田 睦雄
室蘭東	佐々木勝男
室蘭北	澤山 豊
函館	中山 浩一
函館東	原 隆俊 戸嶋 浩

20年

クラブ名	氏名
羽幌	伊原 重孝 佐々木 武
留萌	鈴木 康伸
砂川	北谷 好文 高橋 俊美
滝川	田中 幹雄
美唄	毛利 清徳
江別西	梶野 芳章
岩見沢	藤波 仁史 岡本 等
当別	野口 和之
札幌手稲	粟津健太郎 福井 敬悟
札幌東	遠藤 一雄 菊地 章 菊地 弘嗣
札幌幌南	長谷川洋一
札幌南	朝妻 邦雄 工藤 武久 師尾 純一 杉澤 達史
俱知安	関 幸吉

クラブ名	氏名
小樽南	山谷憲太郎
余市	嘉屋 達雄 安田 亘
恵庭	久野 等
静内	梅庭 泰弘
室蘭	田所 邦夫
室蘭東	児玉 直彦
函館	黒崎 敏雄
苫小牧	横田 稔
苫小牧北	中山 佳孝

15年

クラブ名	氏名
留萌	笠原 正昭
赤平	竹俣 紀孝
芦別	根井 弘 齋木 達雄
砂川	内野 司 瓜 俊雄
滝川	中川 一郎 中島 健 鳥貫 喜八 山本 毅
江別	加藤 正勝 津田 政勝 山田 誠
江別西	後藤 一昭 高田 寛司 谷江 吉之 上光 一博
岩見沢	青野 茂俊 原 保昌 鎌田 誠 倉増 秀昭 中塚 力
栗山	廣岡 秀博 小寺 進
札幌	市川 唯行
札幌あけぼの	秋野 公孝 久住 博
札幌北	大西 勲
札幌西北	新谷 喜信
札幌手稲	小山 松男 松下 正雄 中村 和雄

クラブ名	氏名
札幌東	星野 恭亮 山崎 俊彦
札幌幌南	関 峯吉
札幌南	夏井坂信幸 佐藤 伸 杉目 幹雄
新札幌	村田 晃啓
小樽南	梶 健一 中川 勝彦 大淵 勝敏
札幌セントラル	須藤 丈 高塚 信和
浦河	酒井 乾 園 修
室蘭東	森川 亮
函館	久保内康之
函館東	今井 義憲 山谷 譲治 吉川 達也
苫小牧北	谷岡 裕司 矢部 繁

10年

クラブ名	氏名
深川	棚橋 直登
羽幌	茶谷 恵一 堀川理智子 加藤 隆一 松橋 守 榊原 照夫 佐野 俊一
留萌	明澤 正樹 渡邊 裕久
芦別	櫻井 祝
砂川	畠山 豊 吉川 富雄
滝川	五十嵐達明 山根 英治
江別	菊田 政徳 中川 清志
岩見沢東	田巻 敏行
札幌	栗山憲一郎
札幌あけぼの	永田 省三
札幌北	小林 博 長太 義雄

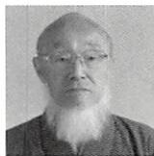
クラブ名	氏名
札幌手稲	肘井 博行
札幌東	伊藤 公一 奥村 義夫 依田 忠敏
札幌幌南	深貝 亨 加藤 康夫 柳 孝一
札幌真駒内	浜井 俊弘 中山 裕視 南部 昭憲
札幌南	後藤 由春 熊本 努 佐藤源五郎
岩内	井戸 幸夫
札幌セントラル	斉藤 博司 坂井 治
恵庭	内田 信一
静内	河田 勝男 近藤 忠義
浦河	小林 忠雄 蘇田 又栄
室蘭	岩田 弘志 関村 和義 吉澤 政彦
室蘭東	佐々木健治
函館亀田	山口 勝彦
函館五稜郭	朝倉 純一
函館東	林 完治
苫小牧	青山 一夫
苫小牧東	斉藤 英明
苫小牧北	高橋 康則



岩見沢RC (第3グループ)

岡山 一

平成17年8月23日ご逝去 享年73歳



札幌東RC (第5グループ)

藤井 清

平成17年12月30日ご逝去 享年93歳



札幌南RC (第5グループ)

秋山 宏

平成18年1月7日ご逝去 享年90歳



倶知安RC (第6グループ)

名畑 秀樹

平成18年2月26日ご逝去 享年55歳



岩見沢RC (第3グループ)

日沼 俊栄

平成17年11月11日ご逝去 享年77歳



札幌幌南RC (第5グループ)

黒済 雄孝

平成18年6月16日ご逝去 享年76歳



札幌南RC (第5グループ)

松崎 孝一

平成18年1月13日ご逝去 享年72歳



小樽南RC (第6グループ)

拝田 和夫

平成17年9月19日ご逝去 享年62歳



札幌東RC (第5グループ)

遠藤 正義

平成17年8月5日ご逝去 享年79歳



札幌真駒内RC (第5グループ)

留目 正

平成18年3月14日ご逝去 享年74歳



新札幌RC (第5グループ)

宇佐美 定男

平成17年10月5日ご逝去 享年97歳



小樽南RC (第6グループ)

佐々木 昌利

平成17年11月17日ご逝去 享年58歳



札幌東RC (第5グループ)

川原 宏一郎

平成17年9月6日ご逝去 享年74歳



札幌真駒内RC (第5グループ)

指川 健

平成18年4月27日ご逝去 享年81歳



岩内RC (第6グループ)

廣田 満男

平成17年9月4日ご逝去 享年79歳



小樽南RC (第6グループ)

中川 武彌

平成17年11月24日ご逝去 享年79歳



恵庭RC (第7グループ)

新川 進

平成18年5月1日ご逝去 享年67歳



室蘭東RC (第9グループ)

前田 康博

平成18年4月23日ご逝去 享年63歳



函館東RC (第11グループ)

日下部 一博

平成17年11月16日ご逝去 享年83歳



苫小牧RC (第12グループ)

岩倉 賢周

平成18年4月23日ご逝去 享年81歳



えりもRC (第8グループ)

白川 隆雄

平成18年5月7日ご逝去 享年54歳



函館RC (第10グループ)

大 総一郎

平成17年12月8日ご逝去 享年98歳



函館北RC (第11グループ)

青山 栄一

平成18年3月7日ご逝去 享年56歳



苫小牧北RC (第12グループ)

藤田 信一

平成18年1月14日ご逝去 享年83歳



静内RC (第8グループ)

嶋崎 腆

平成17年11月1日ご逝去 享年65歳



七飯RC (第10グループ)

佐々木 弘

平成17年8月27日ご逝去 享年73歳



函館北RC (第11グループ)

長谷川 守

平成18年4月5日ご逝去 享年64歳



室蘭RC (第9グループ)

鴨井 清一

平成18年3月24日ご逝去 享年91歳



苫小牧RC (第12グループ)

田中 正臣

平成18年1月26日ご逝去 享年77歳

夢をもたらず氷の世界

本堂 武夫 氏

1947年3月5日北海道旭川市生。高校卒業まで旭川在住。69年3月北大工学部応用物理学科卒業。直ぐに(株)日立製作所に入社するも、71年5月に同社を退職して、浪人。72年4月北大大学院工学研究科応用物理学専攻修士課程に入学。76年4月同大学院博士課程を中退して、北海道大学助手に採用される。その後、86年同助教授、92年4月からは、低温科学研究所教授(現職)。97年4月から4年間、2003年4月から2年間、計6年間同研究所・所長。この間、93年11月～1994年3月、第35次南極地域観測隊(夏隊)に参加。05年11月から、北大が新たに立ち上げた「持続可能な開発」国際戦略本部のグローバルマネージャーを兼務。その他、工学博士(北海道大学)・1988年、雪氷学会学術賞受賞。
・家族:大学院博士課程在学中に結婚。2女の父。今は妻と二人暮らし。
・趣味:かつては、スキーとテニス。今は、旅行、読書、映画などを通じて妻と馬鹿話に興ずるのが一番の楽しみ。



本日の講演の題名は「夢をもたらず氷の世界」です。今、丸山ガバナーからご紹介がありましたが、私は現在北海道大学の低温科学研究所に勤務しております。

北海道大学には国際戦略本部があります。大学が戦略ということもちょっと違和感があるかと思いますが、長期的に大学が果たす役割というものを考え、新たな動きをしようというねらいでございます。そして、私はその部のグローバル・マネージャーという役職に就いています。大学ではあまり見慣れないカタカナのポジションですが、後ほどどういうことが狙いなのか、その一端でもご紹介したいと思います。

それではさっそくお話に入らせていただきますが、「氷の世界」と聞いて皆さんどういうことを連想するでしょうか。

井上陽水の『氷の世界』という曲の歌詞を引用させていただいていますが、“・・・今年の寒さは記録的なもの ござえてしまうよ 毎日、吹雪、吹雪、氷の世界・・・”ここで歌われている「氷の世界」とは“寒い”とか“閉塞感”といったような非常に暗いイメージです。

さらに“・・・流れてゆくのは時間だけなのか 涙だけなのか 毎日、吹雪、吹雪、氷の世界・・・”と続き、ほとんど“絶望的”といいますか、今流行の言葉で言えば“デスパレート”というようなことが歌われており、氷の世界からは夢のようなものがとうてい出てきそうにも無いというのが、一般的なイメージではないかと思えます。

大きな生態系をつくる氷

今日講演する“氷の世界”は、いろいろな氷のお話をさせていただきますが、一番大きな氷の世界という意味では、



それは南極大陸です。白い大陸と言われますように全体が氷で覆われています。この大きな氷の大陸に夢や宝物が、どこにあるのか?という疑問を持っていただいて、私の話を聞いていただきたいと思えます。

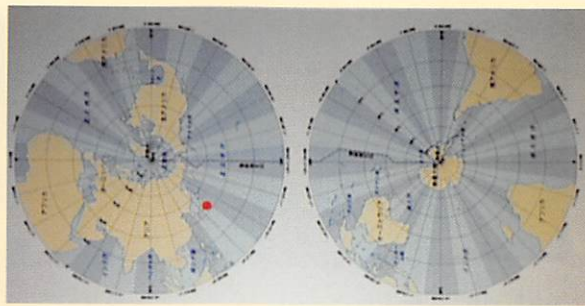
この南極には我が国からも毎年観測船を派遣しています。私も十数年前同行しました。

この図の左の地図は北極点から見た北半球で、右の地図は南極点から見た南半球です。『しらせ』という南極観測船が日本から出航し、南半球のオーストラリアのフリーマントで食料等を補給し南極海を渡って南極大陸へ接近していくわけです。

この南緯50°から60°にかけては、常に暴風圏で荒れ狂う海です。私が行った時もオーストラリアを出てしばらくすると船は強く揺れて、テーブル等は床に固定しておかなければひっくり返ってしまう状況でした。最大で35°くらい船が傾いていました。たいがいの方は船酔いしてしまいますが、私は酒好きですので、船酔いの前に酒で酔ってしまうのです。そういうことで船酔いを防いで何とかたどり着きました。

では、なぜ南緯50°から60°の範囲が暴風圏かということ、この辺りの緯度にはぐるっと一周大陸がありません。ですから地球の自転に合わせていつも強い風が吹くのです。大航海時代に南アフリカの最南端・喜望峰を通って行くのが大変難しい航海だったと言われていました。

そういうところを通って南極大陸に近づき、海岸沿いに廻



ると皆さんご存知の昭和基地へたどり着きます。その途中ではこの写真のように海面に氷が張っております。大きく出ているのは南極大陸から流れた氷山で、真水でできています。海面に張っている氷は海水が凍ったものです。

この写真はちょうど12月31日の真夜中で、新年を迎える時に撮ったものです。真夜中であっても太陽がこういう高さにある、いわゆる白夜です。この時期は南極にとっては夏で、夏の間は太陽が沈まないということです。この写真からも分かるとおりの海は非常に穏やかです。氷が張っている海はほとんど海面が鏡のような穏やかな海です。

そういう海面を氷を割りながらどんどん進んで行くわけですが、このように海全体が氷に覆われており、辺り一面生物も何も無いかのように見えます。先ほどの井上陽水の歌のように、凍えるばかりの世界が広がっているわけです。

この写真は船が通った跡を写したのですが、よく見ると白い中に少し赤茶けたものが見えます。これを拡大してみると、その赤茶けた物体が氷にへばりついています。さらに拡大してみると氷の下側、海に面するところに附着しているのが分かります。これはアイスアルジーという植物で、藻の一種です。これが実は南極の生態系の非常に重要な部分を成しております。

南極の海に張る氷の底にはたくさんのこの藻が生えているわけです。氷は太陽光を透します。ですから氷の底でも種が着き光合成ができ成長することができます。もし、氷が無ければ種は深い海底へ沈み光が届かないので光合成もせず、繁殖はしません。この藻が繁殖するとそれを求めて動物プランクトンが集まり、クリオネなどもその仲間ですが、そのプランクトンを魚等が食べるということになります。

南極の海には大型のほ乳類がたくさんいます。氷を割った跡にアザラシが現れてきます。この写真はペンギンの群れです。このように海の中にはたくさんの餌があり、非常に大きな生態系が成り立っています。

すなわち一見何も無い氷の世界ですが、実は南極の一面に広がる氷の裏側は自然の畑の役割をしていることになっていて、それが南極海に沢山の栄養をもたらす、魚やペンギンやアザラシが生育していくことができるという非常にリッチな生態系をつくっているのです。

ですから決して夢の無い世界ではなくて、まさしく地球を

豊かにする夢のある世界だといえる一例です。

真っ白な世界に行く

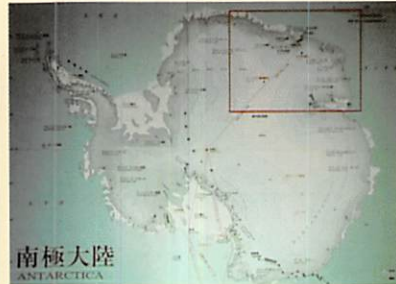
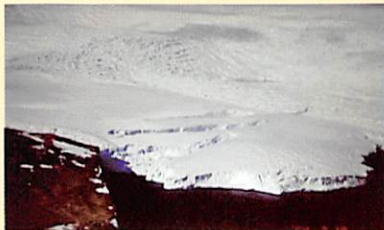
この写真は昭和基地です。昭和基地はオングル島という島の上に建設された建物ですが、このオングル島から内陸に向かうと南極点があります。ここは地球が自転する軸にあたります。実はコンパスが指す真南は違う場所を指します。ですから現在、南磁極、つまり磁石が示す真南というのは海の上を指します。これは毎年少しずつ動くものです。昔は内陸にあったものが、だんだんずれて今は海の上にあります。ですから南磁極には船で行くことができます。今はカーナビと同じ原理でどこにいるかを確認することができますが、かつてはコンパスで示す真南とは違う角度で南極点へ進んで行ったわけです。先人はそういった苦勞をして南極大陸の探検と研究をしました。

南極大陸の内陸は巨大な氷の塊ですが、そこへ南極観測隊は毎年向かいます。これからその目的をお話したいと思います。

この断面図で分かるように南極大陸の氷は、一番高いところで標高4,000mを超えています。それに対して岩盤の高さは海拔0メートルに近く、所々高い山があります。覆っている氷を取り除いてしまうとこの図のように島状になっています。

南極大陸の規模を申し上げますと、面積は約1400万平方メートルで、日本の37倍です。氷の体積は0.24億立方キロメートルで、地球上の氷の約90%です。氷の厚さは平均2160メートル、最大で4776メートルです。2000メートルとは北海道の大雪山系の旭岳と同等の高さでありまして、旭岳の高さの氷が日本の37倍の広さを覆っていると想像していただければ、いかに大量の氷がそこにあるかということがご理解いただけるのではないかと思います。

参考までに申し上げますと、地球上の水の量は約14億立方キロメートルで、そのうちの海水が97.5%です。淡水はわずか2.5%しかないわけですが、その2.5%の淡水のうち南極に氷としてあるのは69%です。ですから残り30%が南極以外で淡水として存在していて、いわゆる飲み水として使える湖沼や河川、地下水の水は0.8%しかありません。南極の淡水による氷がいかに大きいかが分かります。



写真のように、この白い大陸を探検していくわけですが、夏はこのようにクレパスという割れ目だらけで、ここを移動するのは不可能です。氷が安定した冬期に雪上車で移動します。夏はヘリコプターで内陸へ飛びます。内陸へ行きますと非常に安定しており、このように雪上車に必要な燃料と食料、観測機材等を積んだそりを引きながらゆっくりと進んでいきます。

これはヘリポートの目印として置かれている看板です。南極観測隊の中にはエンジニアから科学者まで、さまざまな職業の方がいます。その中には必ず医者がいます。けが人や病人が出ると医者は忙しいのですが、通常は時間があり、医者の中でも大変器用な方がいらっしゃいまして、この看板はその医者が空いた時間を利用して作り、ヘリポートの目印に使っています。

雪上車での旅行の風景はこのような感じで、下を見ると何千キロも続く真っ白な雪原、上を見ると晴れていればきれいな青空がありますが、曇ってしまうとこの写真のように上も下も全て真っ白で、毎日この真っ白な世界を進みます。

昭和基地から内陸へ向かって1000キロほど進んでいきますと、ドームふじ観測拠点というのがあります。この辺りが日本隊が観測に使うエリアです。そして、ここは標高3810メートル。富士山と同じくらいということで、このように命名されています。ちょうど良いたとえば、札幌から富士山の頂上まで緩やかな氷の坂道を登り続けて進むイメージです。

この1000キロの坂道を雪上車で上るわけですが、そりを何台か引くと時速5～6キロ、頑張っても時速10キロくら

いです。時速10キロでこの代わり映えない真っ白い世界を何日も移動します。

目的地であるドームふじ観測拠点は、10年前に建設されました。平均気温が -54.4°C 、最低気温が -79.7°C 、最高気温が -18.9°C 、北海道でも -20°C 前後は体験できますが、 -50°C とか 80°C などは想像を絶する世界です。富士山と同じ高さでありながら、気温が低いせいで平均の気圧が606ヘクトパスカルと大変低い。

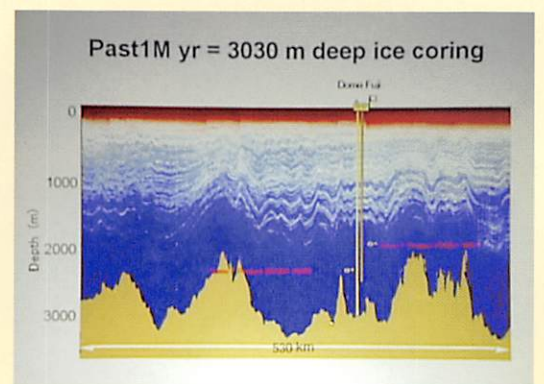
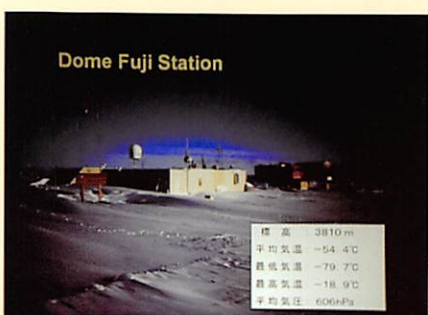
冬は夏とは逆で、全く太陽が出ないため真っ暗です。そういった中で外にドラム缶を出して露天風呂を楽しんでいる写真です。 -60°C の外気では風呂から上がるとあっという間に体が乾きます。もちろん裸で長くいることはできませんので、命がけの露天風呂です。

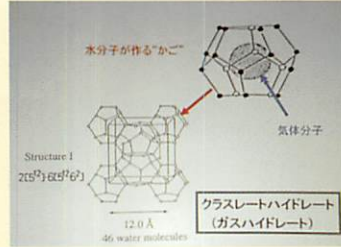
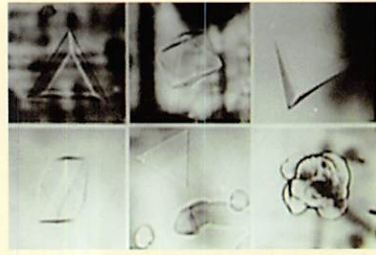
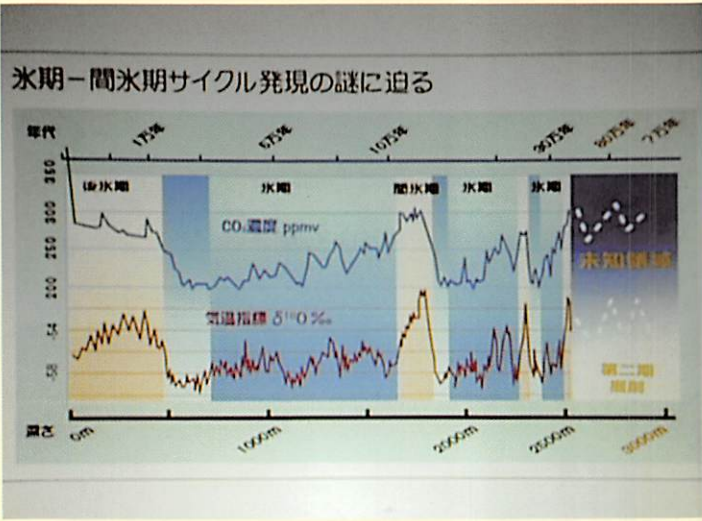
10万年前の地球環境を秘めた氷

このような過酷な自然条件の中で何をやるのかと言いますと、氷に穴をあけてボーリング調査をするのです。

氷に対応する特殊な波長のレーダーを使い、氷の下にある岩盤の高さを知ることができます。この図はドームふじの周りをそのレーダーを使って観測した断面図です。ドームふじの真下を見ると岩盤が深いところにあり、広い平らな場所であることが分かります。深さは約3000メートル、つまり旭岳より厚い氷が真下にあるわけです。その氷をボーリングで採取しようというわけです。

この図は採取に使うための道具ですが、直径10センチの円柱を掘り出すためのもので、3.8メートル掘ったところで





かりますが、五大湖の辺りに大陸を横断するように境界のようなものが見えます。そこから北は湿気が多いように見えます。実際その帯状の部分は湿地が多く、その境界線の部分は2万年前まで続いた氷河期の時代に、そこまで氷に覆われていたと考えられます。現在でもグリーンランドやアラスカ、カナダの一部に氷が残っていますが、かつては五大湖の辺りまで氷で覆われていたと考えられます。つまりカナダは全体が氷の下にあったということになります。その後の間氷期を迎えその氷が融け出したということです。こういった変動が、先ほど申し上げました通り10万年の周期で繰り返している地球のリズムです。

採取された氷には大気中の物質だけではなく、同時に空気も閉じ込められています。氷の中にある気泡にその時の大気が閉じ込められています。

その大気を調べると、炭酸ガスをはじめ、色々なガスの濃度を知ることができます。地球温暖化で問題視されているCO₂の濃度の変化を調べてみますと、地球のリズムに同調して変化していることが分かります。ところが産業革命以後増え続けているCO₂濃度は、100万年の歴史の中で経験したことがない高さにまできているのが分かります。産業革命以後わずか300年の間に急激な変化を人間が地球に与えてしまったといえます。そして、それが今後の地球のリズムをどう変えるのが問題です。

なぜ、このようなCO₂の濃度の変化が起こるのかということを知りたいとありますが、そのような調査にも採取した南極の氷が極めて貴重な存在です。ですから、金やダイヤモンドが氷に埋もれているわけではございませんが、それに匹敵する過去の地球環境の貴重な情報が埋まっているのです。そういう意味で「夢をもたらず氷の世界」なのでございます。

未来のエネルギー源を生み出す氷

先ほどの気泡ですが、若い時代の氷にはたくさん見当たりますが、古くなるに従って減少します。これは積み重ねられる重量の圧によって下にある、つまり古い時代のものは潰されてしまうのです。

では、潰された空気はどこへいってしまうのか、それが研

究されています。この写真は、現在は北見工業大学の庄子仁さんがグリーンランドで発見したガスハイドレートです。氷の中にさらに小さな結晶があり、その中に空気が閉じ込められていることを発見したのです。

この図は水分子が周りにかごを作り、そのかごが集まり別の分子を作るという面白い分子の動きです。これを「クラセレートハイドレート」あるいはガスを閉じ込めているという意味で「ガスハイドレート」といいます。こういうことが南極の氷の研究で分かってきましたが、こういった氷の面白い性質が工業の分野でも、ここ10年注目されております。

たとえば、天然ガスは-162℃に温度を下げて、気体を液体にしてガス田から運んでくるわけですが、その密度は1立方メートルに600立方メートル分です。

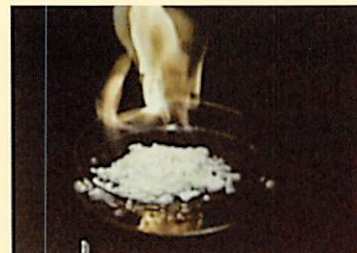
ガスハイドレートは気体分子を一つずつ水分子がかごを作って閉じ込めているわけですから、高压分子のような役割をします。この性質を利用すると液化天然ガスよりは密度が薄いですが、凝縮したガスを作ることができます。

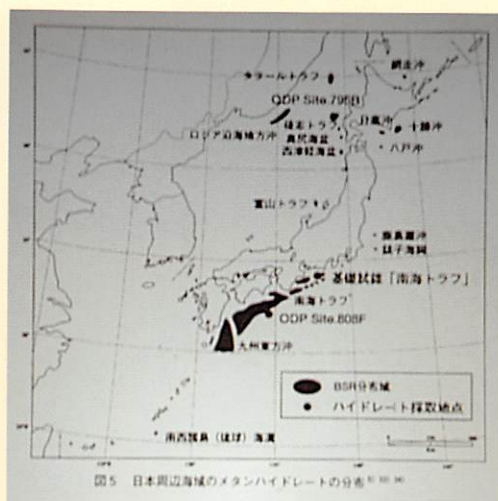
液化天然ガスの場合は-162℃という非常に低い温度にしなければなりません、ガスハイドレートの場合は-20~30℃で氷の状態で存在できます。

これはしばしば報道されていますが、天然ガスを入れたガスハイドレートを人工的に作ることができます。この写真はその氷に火をつけたもので、「燃える氷」です。

要するにハイドレートという変わった構造の中にメタン等のように燃えるガスを閉じ込めることができ、燃やすことができます。そして燃え尽きた後には真水が残るということになります。

現在、世界中にこのガスハイドレートが広く大量に分布していることが分かっています。それは現在使われている天然ガスの埋蔵量に匹敵するか、もっと多い量が海底やシベリヤ





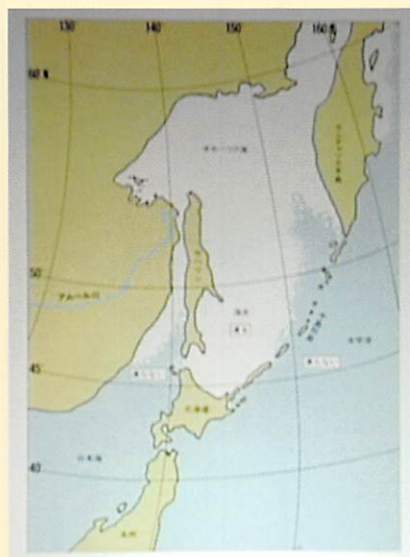
の永久凍土の下にあるといわれていて、未来のエネルギー資源になるのではないかと期待されています。

工業的な利用法としては、天然ガスを貯蔵し輸送することができます。現在は液化する方法ですが、これは非常にコストがかかります。

そして米国で研究されていた海水から真水をつくる研究です。蒸溜する方法では膨大なエネルギーを必要としますが、ハイドレートは塩分をはじきます。つまり真水だけを残すことができますが、膜を使った低コストな方法が開発され、現在ハイドレートによる方法は実用化されていません。

まだ仮説の段階ですが、海底にあるハイドレートが崩壊し大量なメタンガス等が排出され、温室効果気体の大気中への放出が地球環境にも影響するのではないかと懸念されています。アフリカのある湖のまわりで大量の死者が出た災害は、こういった現象ではないかと推測されています。

この地図はガスハイドレートの分布図ですが、日本列島周辺には多く存在しているといわれています。おもに大陸棚周辺に多く存在するといわれ、埋蔵量は現在の化石燃料に匹敵するくらいの量だといわれています。日本近海で一番有望だといわれているのは南海トラフの近海で、北海道の周辺やオホーツク海にも発見されておりますが、埋蔵されているのが200～300メートルの深さであることと、大量にまとまって



存在しているわけではないので、今のところは実用化には難しい段階です。

東南アジアにはたくさんの天然ガス田がありますが、先ほど申し上げましたように天然ガスを日本に運ぶには、液化天然ガスにしなければならないため、大きなコストがかかります。そのため大きなガス田でなければ採算が合わないため、手つかずの状態のガス田がたくさんあります。それで、液化よりも濃度は低いですが、コストを押さえられるガスハイドレートによって日本へ運ぶ方法を、安定性も含め研究されています。

この水と同じ物質がエネルギー源になる可能性を持っていることも、「夢」ではないかと思えます。

豊かな海・オホーツクをつくる流氷

次に、北海道に身近なオホーツク海の話をしていただきます。

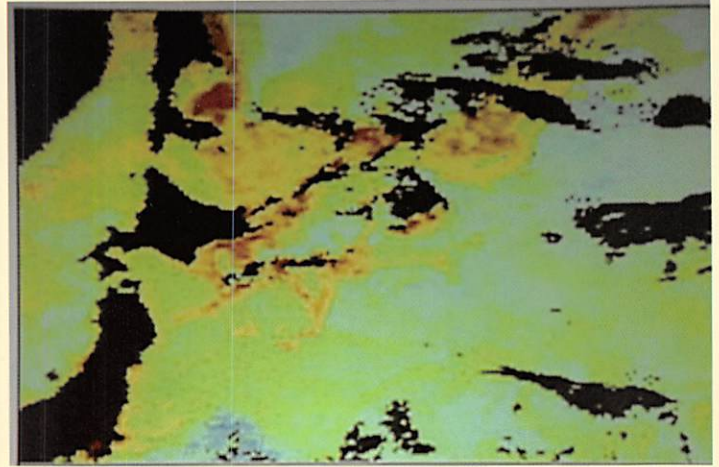
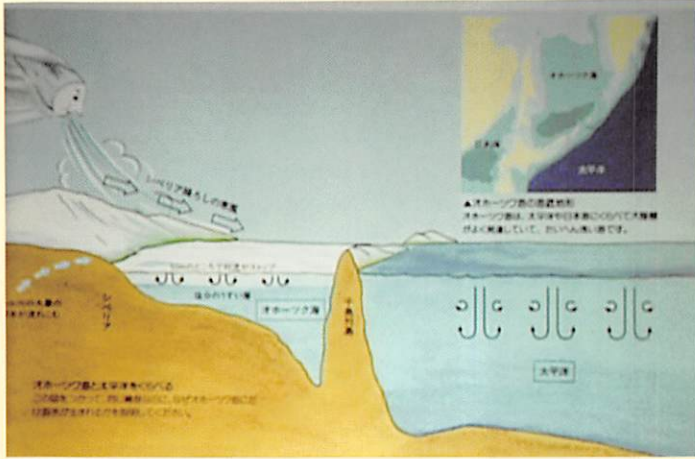
この地図のオホーツク海にある白い部分は流氷です。何故かオホーツク海だけが凍っているのが分かります。

先ほど南極の氷の下が畑だとお話しましたが、全く同じことがオホーツク海でも起きています。流氷は沿岸の漁師にとっては事故などの被害もあり、良いイメージはありませんでしたが、流氷がオホーツク海全体を覆っているということは、オホーツク海全体が大きな畑になっているということで、天の恵だといえます。世界の豊かな漁場は北半球に多く存在しています。

オホーツク海は千島列島によって海域が遮られます。そこに大河であるアムール川から大量の真水が流れ込まれます。そのため表層50メートルくらいは塩分濃度が薄い層で、凍りやすくなっています。さらに密度の違う層が重なっているため薄い層での対流が起りやすく、シベリアからの寒気で瞬く間に凍ってしまうという現象が起きます。

それに対して千島列島を挟んだ太平洋側は、対流が大きくなかなか冷えないので凍ることはありません。

この写真は、プランクトンの量を特殊な方法で示した衛星写真ですが、春に流氷が融け出すと氷の下に着いていたアイスアロジー（藻）がいっせいに広がり、プランクトンの大増殖が起ります。これをブルーミングといいます。



通常、プランクトンは大陸棚近辺にしかありませんから、陸地に近い沿岸部分にしか繁殖しませんが、オホーツク海だけは陸からはなれた海であっても全体にプランクトンが発生します。そして、千島列島を抜けて親潮にのって、広く海の栄養分を供給しています。

このメカニズムが北海道を漁業王国にしているわけです。このメカニズムの大きな役割を担っているのは、大河であるアムール川です。大陸の森林や湿地帯の栄養分を含んだ水が毎年大量にオホーツク海に注がれ流水となり、流水の下にできた広い畑の養分になっています。

このアムール川は、ロシアと中国の国境沿いを流れています。近年、ロシアでは伐採あるいは山火事被害、中国では沿岸部の急速な都市化による森林破壊が進んでいます。したがって、これまでのようにアムール川からの栄養分の供給が無くなるのではないかと懸念されています。

遠くはなれた異国で行われている開発などが、近くの海に影響するようなことが、地球環境問題の特徴です。

国境を超えた取り組みが、地球を守る

このメカニズムについては、10 数年来私も低温科学研究

所が中心になって研究してきましたが、こういった非常に大きなスケールで起きているということが明確に分かってきました。

冒頭で、私が国際戦略本部のグローバル・マネージャーであることをお話ししましたが、大学が地域への貢献、あるいは国際貢献を、どのような視点でとらえるか。もちろんいろんな切り口がございますが、たとえば地球環境問題でみますと、思わぬところからの影響が及んでくるということ。それは自然現象ですから国境とは無関係に起こります。ですから国境を越えた課題として考える必要がある。そして、今申し上げたように自然の摂理としてオホーツク海は非常に豊かな海を形成しているわけですが、当然、農地開発や都市化といった社会的問題と科学的メカニズムが深くかかわっています。

先ほどのアムール川の話をしみますと、中国からいかにも汚れた物が流れてくるといった一方的な考え方になりがちですが、そうではなく中国やロシアも開発していかなければ繁栄しないわけですから、何をどこまで守らなければいけないのかを議論すべきで、そのためには、たとえばオホーツク海が豊かになれば日本だけではなく近隣国にとってもメリットであるという科学的認識の共有。そのメカニズムや考えを理解できる人材を育成するという。そしてそれが大学の役割





ではないかと考えています。

国益はもちろん大事ですが、こういったことを考えた場合、我が国だけでは成り立ちません、近隣国も含む地域益、あるいは地球益を考えなければならないと思います。

オホーツク海一帯には、中国にもロシアにもたくさんの研究所があります。それらの研究所と連携して、環オホーツク海を考える研究者や大学レベルのネットワークを形成していきたいと考えております。

これは北大の国際戦略の一部でございますが、こういった貢献がひいては地域の貢献になると考えています。オホーツク海の日本の海域は極々狭い範囲ですが、世界遺産に選ばれた知床は、豊かなオホーツク海があるから成り立っています。その基はオホーツク海北部で作られる流氷であるし、そこに栄養のある真水を大量に注ぎ込んでいるのが大陸のアムール川です。

そういったメカニズムや研究が、地域にとっても、我が国にとっても、近隣諸国にとってもお互いの利益になることをぜひ皆様にもご理解いただきたいと考えております。

最後にきれいな写真をお見せして終わりたいと思います。

これは南極で一般的なカメラを使って撮った夜空です。日本国内ではほとんど見ることのない天の川、星雲、南十字星

などがはっきり見えます。

これはオーロラです。見ることはできませんドームふじに越冬した人たちです。

太陽の出ない冬から、季節が変わる時期の朝焼けです。太陽は地平線の下にあって見えませんが、上空の氷の塵によってできた雲に反射して見えています。

とてもきれいな光景ですが、これが出るとオゾンホールが発生することが分かりました。

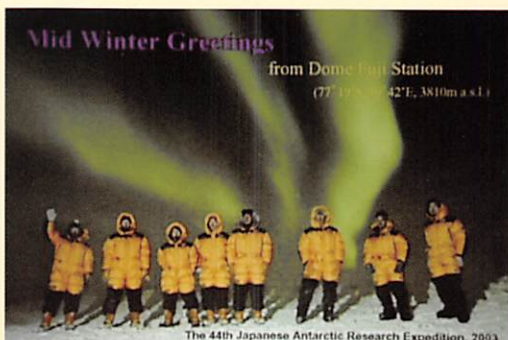
ようやく来た春に、太陽の一日の動きを撮ったものです。

カムチャッカの氷河の上のキャンプです。変わった雲が見えます。

いずれもとてもきれいな写真に見えますが、過酷な条件を乗り越えてそこに来ているわけですし、そこで人類のための大きな「夢」のために研究しておりますことを、ぜひ皆様にもご理解いただきたいと思っております。

ロータリークラブの方々は、さまざまな活動で社会貢献されていると思いますが、私たちもこのような形で社会貢献させていただきたいと願っています。

ご清聴ありがとうございました。



新世代セミナー

「平和を実現する者」

◎講師／宮崎 幸雄 氏 (東京 RC)

10月14日(土)

10:00 受付・着席

進行：地区青少年交換委員長 宮崎 善昭

10:30 開会挨拶

細川 好弘

10:35 地区世代活動報告

①インターアクト海外研修報告 札幌第一高校インターアクトクラブ 木村 恒太
平野 志保

②青少年交換留学生体験報告 カイリー・ダッフ (オーストラリア:札幌西)
マデレーン・ローザー (オーストラリア:札幌北)

③ローターアクト活動報告 地区代表 赤平ローターアクトクラブ 伊藤 明和

11:10 基調講演「平和を実現する者」

講師：(財)ロータリー米山奨学会

専務理事 宮崎 幸雄

11:55 講評並びに閉会挨拶

地区新世代副委員長 松見 修二

12:00 閉会



(財)ロータリー米山記念奨学会専務理事
宮崎 幸雄氏 (東京 RC)

皆様、おはようございます。

本日は新世代セミナーにたくさんのご出席ありがとうございます。

特に今日は、東京ロータリークラブ所属の財団法人ロータリー米山記念奨学会の専務理事でございます宮崎幸雄先生をお向かいいたしまして、「平和を実現する者」というテーマでお話を頂けることを大変光栄に思っております。先生のお話の中でも紹介されると思いますが「戦争もないが、平和もない」という地域の現状を考えながら、日常生活の中でも皆さんやる気を起こせば平和を作る者になれるという貴重なお話を頂くことになっております。合わせてインターアクター、ローターアクター、そして交換留学生の代表の方から活動報告を頂き、平和に関するお話も含めて、そういった中で、限られた時間ではありますが学習していただければと思っております。

「平和を実現する者」それは私たちです。そういう決意がこのセミナーで育まれること。そしてさらに新しい友情が芽生えることを期待しまして開会のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

細川好弘



司会・進行 宮崎 善昭



細川好弘 地区新世代委員長



インターアクト海外研修報告
木村 恒大 (札幌第一高校インターアクトクラブ)



インターアクト海外研修報告
平野 志保 (札幌第一高校インターアクトクラブ)



青少年交換留学生体験報告
ガイリー・ダップ (オーストラリア: 札幌西 RC)



青少年交換留学生体験報告
マデレーン・ローザー (オーストラリア: 札幌北 RC)



ローターアクト活動報告
伊藤 明和 (地区代表赤平ローターアクトクラブ)



松見修二 地区新世代副委員長



平和を実現する者

◎講師/宮崎 幸雄 氏 (東京 RC)

経歴
 1962年 大阪YMCA入職。米国サンフランシスコへ研修・留学 少年体育担当
 1969年 世界YMCA難民救済ベトナム担当ディレクターとしてサイゴンへ出向
 (7年間ベトナム)
 1979年 スイス・ジュネーブ世界YMCA同盟難民・開発担当主事・国連機関連絡担当。
 国連難民弁務官事務所 (UNHCR) 他国連関係連絡、アフリカ・アジア・中東・
 20カ国難民救済業務、ヨーロッパ・カナダ・米国政府民間団体との資金調達
 交渉担当(8年間ジュネーブ)
 1988年 財団法人日本YMCA同盟 常務理事・総主事
 1998年 同上退職
 1998年 財団法人ロータリー米山記念奨学会 常務理事・事務局長
 2005年 財団法人ロータリー米山記念奨学会 専務理事現在に至る

政府機関/民間団体
 1985～98 中央青少年団体協議会・会長・監事
 1988～97 開発教育協議会代表理事
 1990～93 文部省生涯学習審議会委員、文部省社会教育分科会長

ロータリー
 1988～現在 東京クラブ入会現在に至る
 1998～05 (財)ロータリー米山奨学会 事務局長
 1999～05 同上 常務理事
 1999～05 同上 専務理事
 2001～現在 第2580地区対人地雷除去に関する特別委員会委員 副委員長
 2003～05 東京ロータリークラブ 青少年育成委員会委員長
 2005～現在 第2580地区青少年交換委員会 委員



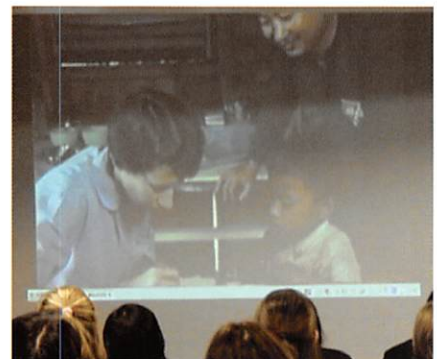
今日はどのような話をしようかと思っていましたが、先ほどのインターアクトの皆様の話を聞いて本当に感動しました。そしてきっと平和を作り出すことができると思いました。

今日のセミナーでの講演依頼を受けた頃に、ちょうどNHKのドキュメンタリー番組が放送されていました。『9月11日のテロからイラク戦争』というテーマのものでした。それは、アメリカのアーカンソー州の若者がイラク戦争に派兵し、1年後に2週間の休暇をとり帰省するまでを追ったドキュメンタリー番組でした。彼は故郷アーカンソーで講演をしますが、その中で「これまでして奨学金を得る事はない。そしてイラク戦争の現実を語っても誰にも信じてもらえない。これは何のための戦争なのか。この1年の経験を笑って話すしかない」そう言っています。

私は彼の話聞いて、1975年のベトナムを思い出しました。私は1969年から7年間ベトナムでボランティアをしていました。戦争を終結させ平和を取り戻すといった民間ボランティアの活動が盛んになったのはこの頃です。日本は遅れてその後活動が始まりましたが、私が行った1969年頃はまだ数えるほどしか日本人はいませんでした。

戦争が終結したベトナムで、私たちは何をすべきなのか？それを考えることが私たちの大きな役割でした。私は自ら手を上げてそれに参加しました。

それではその当時の映像をご覧ください。これはベトナム戦争がピークに達していた時に、TV局が作った「海外で働く日本人」をテーマにしたドキュメンタリー番組です。1ヶ月間撮影に参加しました。





今日は、ベトナムの村でいっしょにボランティアをした若者たちを見せます。彼らは3日間戦場に行き、1日だけ村に戻ってきて私たちと一緒にボランティアをしていました。これはその記録です。資料をご覧ください。

ベトナムは紀元前から11世紀まで千年にわたって中国の植民地支配されていました。その後リー朝が中国から独立します。

そして、1858年フランスが侵攻し占領します。ここからフランスの植民地支配が始まります。日本も無関係ではありませんでした。戦時中の1940年から終戦の1945年まで日本軍が駐留していました。日本の敗戦によってアジアの国々が独立をはじめます。ベトナムも1945年ベトナム民主共和国が成立しますが、1年後第1次インドシナ戦争が始まります。それから30年間戦争が続きます。

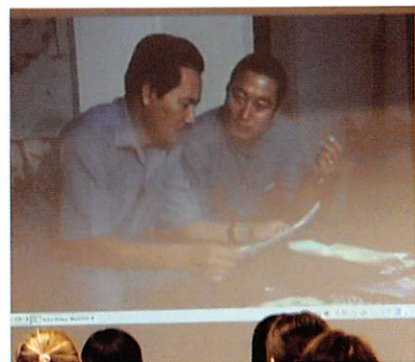
ベトナムの若者たちが、平和は武力で勝ち取るんだと言う背景には、こういった歴史があります。千年に及ぶ中国の支配、30年間続いた戦争。そこで生まれ育った若者たちは戦争で平和を勝ち取ることしか考えられなくなってしまったのです。

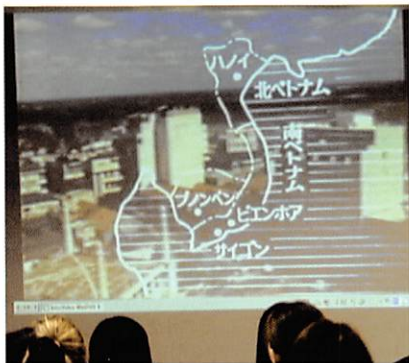
その後カンボジア侵攻、中越戦争と続きますが、若者たちは戦争で死にたくない、生きて行きたいという希望、平和そして愛。このビデオの最後にある若者たちの歌にこの事が歌われています。

これは1975年、30年前の映像ですが、決して30年前とは思えない同じような事が今イラクで行われています。この度のひとつのプロジェクトである2580地区が行っているカンボジアの対人地雷除去の活動を8年間やってきました。カンボジアに毎年2月、ロータリーの人たちと一緒にいきます。このような戦争や生活は今も続いているのです。

さて、この戦争が残したものを考えてみましょう。アメリカはベトナム戦争で58,725人という多くの若者の命を失いました。ワシントンDCのベトナム戦争記念碑には、この58,725人の名前が刻まれています。投下した爆弾は1600万トン。これは第二次世界大戦時に日本に投下された爆弾の100倍の量です。そしてこのベトナム戦争では、ナパーム弾やパイナップル弾といった生物化学兵器が使われました。先ほどのビデオにあった私たちのコミュニティセンターには枯れ葉作戦で飛行機から生物化学兵器がばらまかれました。私たちはそれを知りませんでしたから、朝起きると子どもたちと一緒に、白い粉が着いて丸まった木の葉を見て、どうして一晩で木の葉がこのようなになってしまうのだろうと話しました。

コンピュータを使って全てが管理され、死んだ人の数まで管理されている。そしてこの戦争は初めてマスメディアが世界に報道した戦争です。同時にNGOといわれる市民のグループ、ボランティアが戦地に行き戦争の終結と、復興のために





救援団体として参加した初めての戦争でもあります。

さて、ベトナムでは何人の人が死んだのか？ 約400万人といわれていますが、未だに正確な数は分かりません。アメリカはコンピュータで管理されていたので、58,725人という人数が出ます。名前が出ます。碑が作られます。しかし、ベトナムの人たちは正確な人数も名前も把握できていない。その他にけがをしたり、生物化学兵器の後遺症を持つ人たちがいます。ベトちゃんとドクちゃんのように、枯れ葉剤の影響を受けて生まれてきた、第二世代の子どもたち。この枯れ葉剤の後遺症はまた次の世代へと続くのです。

今でもベトナムに行くと、1家族1人ないしは2人は戦争の犠牲者がいます。戦争が終わって30年も経ちます。しかしベトナム戦争はまだ終わってないのです。

先ほどのビデオの中で私たちといっしょに働いていた若者たちは全員が亡くなりました。私のアシスタントをしていた若者も最後はボートピープルとなって脱出したのですが、その後の消息は今も分かりません。私はこの十数年間、彼の消息を求めてアメリカの赤十字、あるいは国防省に問い合わせしていますが未だに消息が得られません。

これらの戦争で亡くなっていったボランティアの人たちが

望んだものは何であったのでしょうか。それは“希望”と“愛”です。

それでは最後の部分を見ていただきましょう。

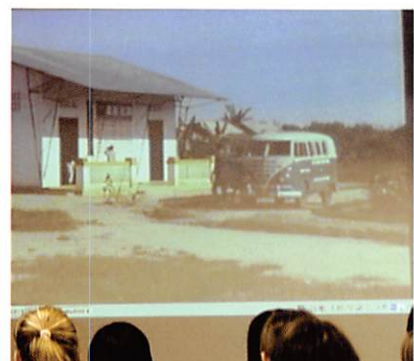
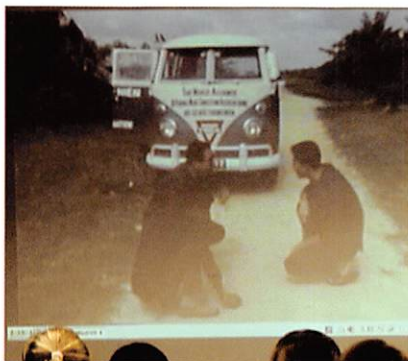
これはセンターから病院に患者を運んでいるシーンです。この患者はまだ若いのに結核で亡くなりました。

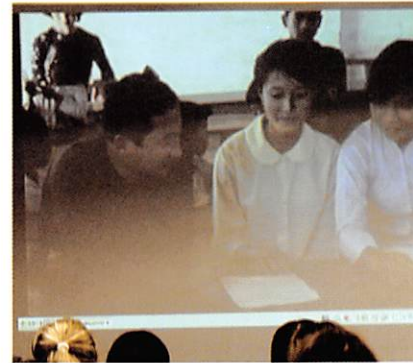
この子どもたちはどこに行っても私たちの仕事を手伝ってくれました。

この若者たちは21～28才です。彼らは“平和”をくださいと歌っています。私の一生を返してください……

今見ていただいた映像は30年前の映像です。しかしその戦争にしても、起こる悲劇にしても、30年前の出来事だとは私は思えないのです。その後カンボジアへ行き、中東へも行きました。毎回繰り返されるあの悲劇は、30年前のあの悲劇と同じで、それが繰り返し行われているのです。

さて、今日は皆さんのいろんなレポートを聞きました。レポートの中に、平和が無いです。平和は夢です。夢を描きます。というレポートがありました。そして悲劇の出来事ばかり繰り返したくないという先ほどの話。そして世界を変えるのはあなたの心から始まります。といった皆さんのメッセージが





あります。30年前私が聞いたベトナムの若者のメッセージと少しも変わっていない。

ノルウェー出身のヨハン・ガルトゥングという平和学者がいます。平和学を専攻されている方にはよく知られている名前で、日本にも数回来られていて、上智大学、ICU 大学、広島大学等で話をされています。

彼はこのように言っております。戦争と平和という二分法に代わり、暴力と平和という理論的な枠組みを作りました。

すなわち今までは“戦争” に対しての“平和” だったのですが、“戦争” だけではなく、必ず“暴力” が平和を脅かすのではないかと言っているのです。貧困や飢餓、環境破壊などといったものを構造的暴力だと位置づけました。そして構造的暴力は決して途上国だけに起こるものではなく、先進国にも構造的暴力が存在するところには真の平和は無いと言っております。

いじめや家庭内暴力も構造的暴力と言っております。つまり私たちが平和をつくろうとするのなら、先ずこの身近にある構造的暴力を無くしていかなければならないとガルトゥングは言っております。先ほどの細川委員長のご挨拶の中にも

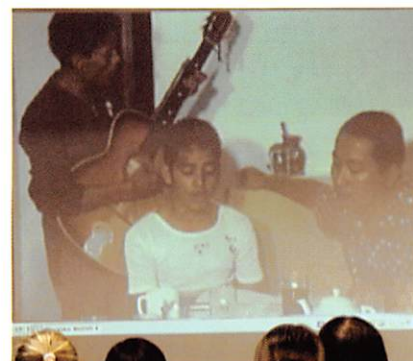
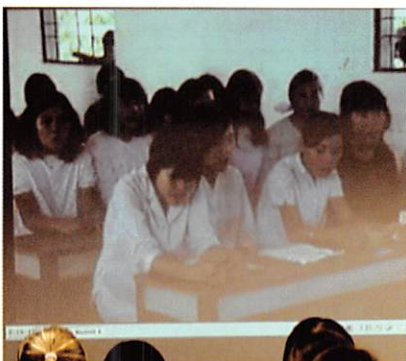
ありました。戦争も平和も無いこのような世界ピースレスネスといいます。これはインドの平和学者スガタ・ダスグプタが、アジアの貧困や差別、そして迫害を見てこの現実を知ってほしいという願いです。戦争も無い、同時に平和も無いという世界がこのアジアに存在するという事知ってほしいと言っています。

私たちは平和を考えると、この身近な問題から考えていただきたいと思います。

最後に、資料にあります『平和への64のステップ』というのをご覧ください。カナダの若者たちが考え議論して作り上げた、身近なことからどのようにして平和を作るのかが描かれている64のステップです。これを使って皆様と平和について考えてみたいと思っております。

以上です。

今日はどうもありがとうございました。



地区指導者育成セミナー

- 10月15日(日)
- 8:30 登録開始 司会・進行 中山 裕視
- 9:00 点鐘 ガバナー 丸山 淳士
 ガバナー挨拶 ガバナー 丸山 淳士
 国際ロータリー会長代理挨拶 国際ロータリー会長代理 亀岡 弘
 地区研修リーダー挨拶 地区研修リーダー (PG) 遠藤 正之
- 9:20 地区財団フォーラム 司会 遠藤 正之
 基調講演
 テーマ「今日における私たちのロータリー財団」
 日本事務局財団室長 片岡 暎子
- 10:20 「モスクワ留学とローターアクトとの出会い」
 発表者 04～05年度奨学生 笹村久美子さん
 ロシア留学1年、苫小牧北RC推薦
 北海道大学文学研究科2年在学
- 10:40 「タイでのすばらしいGSE体験」
 発表者 05～06年度GSE団員 中内 健太さん
 GSEタイ派遣 札幌清田RC推薦
 北海道赤十字血液センター検査部勤務
- 10:50 休憩
- 11:00 地区指導者育成セミナー 司会 ガバナー 丸山 淳士
 地区研修リーダー (PG) 遠藤 正之
- 12:30 講評並びに所感 国際ロータリー会長代理 亀岡 弘
- 12:35 点鐘 ガバナー 丸山 淳士



おはようございます。

昨日に引き続き、たくさんのご出席ありがとうございます。

本日は遠路遥々お忙しい中、片岡暎子様においでいただきまして大変光栄でございます。

本日のプログラムは、財団フォーラムの後、引続き指導者育成セミナーを行います。

今日は救護班はおりておりません。何かありましたら救急車を呼びます。

昨日に引き続き良い天気になりそうです。皆様各地域にお戻りになることと思いますが、ぜひ、この二日間で得たことを、各地域での活動に活かしていただければ幸いです。

丸山淳士



司会・進行 中山 裕視 地区代表幹事



地区研修リーダー 遠藤 正之 P.G



地区国際親善奨学委員会 瀧川哲夫 委員長



笹村 久美子さん



岡崎芳明 GSE 委員長



GSE 派遣チームリーダー 佐原 正三さん



中内 健太さん



学友会会長 白畑 博信さん



財団奨学生 趙誠培さん (札幌手稲 RC)

今日における私たちのロータリー財団

◎講師/片岡 暎子氏



経歴：東京大学文学部卒業。1974年 国際ロータリー東京文献事務所に入所。83年 国際ロータリー日本支局の翻訳室長になる。84年、86年、89年、92年、95年、98年 手続要覧を翻訳。99年 日本サービス・センター西日本担当奉仕室長になる。2000年 日本サービス・センター財団室長になる。01年 川口西ロータリー・クラブ(第2770地区) 入会。

趣味：日本舞踊(名取名:藤間 章暎)、常磐津(名取名:常磐津房実)

国際ロータリー日本事務局の片岡です。

国際ロータリーの世界本部というのはシカゴ郊外のエバーストンにあります。そのエバーストンの他に世界7カ所にインターナショナルオフィス、海外の事務局があります。その海外の事務局の所長を集めてセミナーが9月に開かれました。その時に外国人向けに日本のロータリー財団活動を紹介しました。その時に使いましたパワーポイントですが、本来は英語で作りましたが日本語に手直したものを使って財団活動を説明したいと思います。

世界7カ所の事務局はここにあります。以前はスイスと日本が比較的大きな事務局でしたが、今はインドが最大の事務局です。職員数は82人おります。これは世界本部のコンピュータ部門をインドに移したためです。理由はもちろん費用の節約です。人件費の安いインドに移したわけです。

日本の一人当たりの年次寄付です。2510地区は前年度より上回っていますし、日本の平均より上回っております。この勢いをこのまま持続してほしいと思います。過去の寄付を振り返りますと、一時は世界の28%近くを占めていた日本です。けれど、前年度は11%をきりました。これは日本の寄付が減っているというよりは、世界の寄付が増えているためです。ですから寄付増進方法というのが日本にあまり向かない方法でやられているのかもしれない。

さらに日本は豊かな国と思われていますが、寄付ゼロ・クラブが84ありました。2510地区は3クラブです。今年度はそれを半減する事を目標としています。

日本事務局における前年度の認証関係の取扱量です、認証というは何やら意味が不明確なのですが、寄付金額を集計し感謝の意を表明するといった意味です。この中でひとときわからないのは遺贈です。最近の移動の例を紹介します。お隣の地区の2500地区の坂本一バスト・ガバナーは、亡くなる少し前に生前に遺贈しておられます。たぶん自分の余命を考えて生前にされたのだと思います。また、つい最近では滋賀県のバスト・ガバナーが亡くなりました。その所属クラブの方は奥様が寄付をするので認証はどうなるのか、そして税制上の優遇措置はどうなるか、ということをお心配しておられました。ところが、奥様の方は税金の控除も認証も不要です。ただ、夫の意志と夫との約束をはたしたい。ということをおっしゃいました。大変ありがたい事だと思っております。

このバストガバナーの場合、冠名基金というのを設立していました。冠名基金とは恒久基金に25,000ドル以上の寄付をすると、自分の名前をつけた冠名基金を設立でき、収益の50%が地区に還元されるというものです。この遺贈はこの冠名基金に入れました。

いったい、この収益の50%とはいくらくらいなのかと申し

International Office (国際事務局)	
アルゼンチン(ブエノスアイレス)	
ブラジル(サンパウロ)	
日本(東京)	
韓国(ソウル)	
スイス(チューリヒ)ヨーロッパとアフリカ担当	
オーストラリア(パラマッタ)	
インド(デリー)	

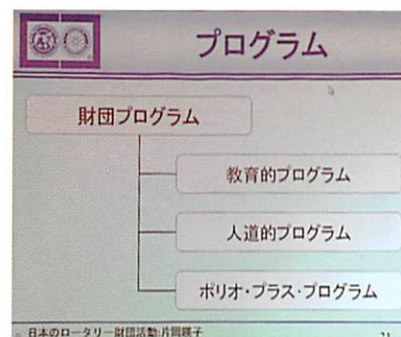
日本のロータリー財団活動 片岡暎子

寄付上位国			
	寄付総額	会員数	1人当たりの寄付
米国	55,209,069	383,532	96.71
日本	13,843,919	101,370	110.79
韓国	7,944,919	51,846	138.92
カナダ	4,448,147	28,345	103.59
イギリス	42,39,913	61,141	55.58
インド	4,239,913	90,833	39.38
ドイツ	4,181,002	45,045	69.73

日本のロータリー財団活動 片岡暎子

年度	日本	世界	比率
1994-95	\$19,028,881.89	\$64,519,403.07	27.94%
1995-96	\$17,748,770.30	\$69,196,978.50	25.65%
2003-04	\$15,407,384.82	\$114,833,352.10	13.42%
2004-05	\$17,883,420.13	\$130,270,346.03	13.73%
2005-06	\$13,843,919.00	\$127,845,313.69	10.84%

日本のロータリー財団活動 片岡 順子 4



ますと、寄付の時期、それと株式の運用によって違うのですが、このパストガバナーの場合、約 50,000 ドル寄付しておられました。そうしますとだいたいの投資収益は 4,000 ドルくらい、その 50% が地区に DDF として還元されます。ですから毎年 2,000 ドルくらいを自分の地区に永遠に還元する事ができるということです。

寄付の上位 7 カ国を並べました。日本の一人当たりの寄付は韓国よりは少ないのですが、110 ドルですからかなり高い方です。この中でインドが上位に来る事は珍しいのですが 6 位になっています。会員数も 9 万人を超え、日本に迫る勢いです。日本以外の国は税制上の優遇措置を受けています。ただしドイツの場合は、恒久基金への寄付が税制上の優遇措置を得ていません。

日本にはもっと大きな制約がいくつかあります。日本もなんとか税制上の優遇措置を得ようと NPO ロータリー日本財団を設立しました。ロータリー財団の承認を得るためにアソシエーション・ファウンデーションになりました。これを協力財団と訳しております。ですが 2002 年 11 月に結成したものの今もって税制上の優遇措置は得ておりません。

現在は独立行政法人の国際交流基金を通じて、税制上の優遇措置を得ています。ただし制限付きです。どのような制限かと言いますと、1. 一括 20 万円以上。2. 総額 1 億 2,000 万円

まで。3. 目的は教育目的である事。ですから、ポリオへの寄付は税制上の寄付を得る事はできません。

少し用語を整理しておきます。国際交流基金の正式な英文名称が Japan Foundation です。ですからこのロータリー日本財団 (NPO Rotary Foundation Japan) を英語で話しているととても混乱します。自分で話しておりましてもどちらだか分からなくなります。

日本で、税制上の優遇措置を得るための手続きを簡単に説明します。皆様が所定の書式を使い日本事務局に振込をします。クレジットカード、または米国に直接送金しますと、税制上の優遇措置は得られません。このようにして集まった寄付金を、国際交流基金に年 2 回送金します。送金の時に日本事務局は国際交流基金に、この資金はロータリーの国際親善奨学金に使ってくださいと使い道を限定します。ロータリー流に言いますと、使途指定寄付です。その後ロータリー財団が国際交流基金に特定助成金を申請します。このような手続きを経て、一括 20 万円以上の寄付は税制上の優遇措置を得ることができます。

この手続きに関して、手数料を取られるような事はありません。ですが弱点があります。ポリオ・プラスのような人道的プログラムは税制上の優遇措置は得られません。通常ですと 5,000 円以上の寄付に対して、優遇措置用の領収書が発行

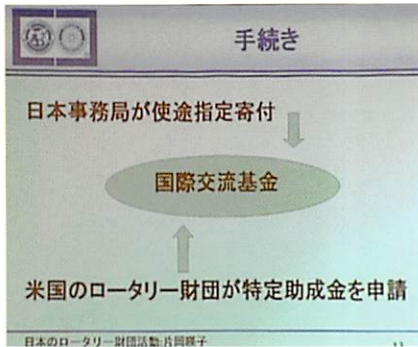
	2005-06	2004-05
第2510地区	\$113.60	\$102.40
日本	\$110.79	\$106.83
世界	\$77.00	\$70.73

日本のロータリー財団活動 片岡 順子 3

冠名基金

恒久基金に25,000ドル以上の寄付をしますと、冠名基金を設立でき、収益の50%が地区に還元されます。

日本のロータリー財団活動 片岡 順子 7



用語

TRF	ロータリー財団
NPO Rotary Foundation Japan	特定非営利活動法人 ロータリー日本財団
Japan Foundation	国際交流基金

日本のロータリー財団活動片岡様子 12

されますが、ロータリー財団の場合、一括 20 万円以上でなければタックス・レシートが発行されません。

日本のロータリアンが寄付をするのは、ロータリー財団だけではなくありません。ロータリー米山記念奨学会にも寄付をしています。ロータリー米山記念奨学会は、ロータリーでいいますと、ロータリーの他地区合同活動になっております。米山とロータリー財団の比較をしますと、2004～05 年度はロータリー 100 周年という事で、ロータリーが多額のお金を集めました、通常ですと毎年ほぼ同じくらいです。これが日本の底力だと思えます。寄付総額では米国に次ぎ世界第二位ですが、実際ロータリーに寄付する力は日本の場合財団寄付の 2 倍あるということです。

ロータリー財団の税制上の優遇措置は、米山に比べはるかに劣ります。それでもロータリー財団に寄付して下さるロータリアンに心から感謝しております。

新しい公益法人法が 2005 年 5 月に採択されました。これは 2008 年 12 月に施行の見込みだそうです。米山記念奨学会は、公益法人に移行しなければなりません。ですが、ロータリー日本財団は NPO ですので必ずしも公益法人に移行する必要はありません。ですができれば移行したいものだと考えております。税制上の優遇措置を得ようとするのは、寄付を増やす事を目標としていますが、一般的にはそれが期待され

ていますが、現状から見ますと税制上の優遇措置を得たとしても、それほど寄付が増えるとは思えません。

寄付が増えたとしても、使い道がなければ寄付しようという意欲がわかりません。2510 地区の DDF 残を見てみました。今年度は 1380 万円くらい、次年度は 2300 万円くらいあります。合計 3600 万円くらいあります。今年度の 1380 万円は国際親善奨学金も地区補助金も申請済みで、文字通りの残額です。

この DDF の使い道というのは、ロータリーというデパートでしか通用しない商品券と思ってください。ロータリーの商品であるプログムにしか DDF は使えません。最近、災害救援にも使えるようになりましたが、どの災害救援にも使えるわけではありません。ロータリーが指定した災害に限り DDF を寄贈する事ができます。

DDF の話をしましたので、簡単にシェア・システムの話をしてします。シェア・システムというのは大変複雑ですが、大雑把に言えば 3 年前の年次寄付の 50%、恒久基金収益の 50% が DDF となり、地区がその使い道を決定する権利があり、残り 50% は WF (国際財団活動資金) となり、GSE (ボランティア奉仕活動補助金)、マッチング・グラントなど、世界のために使われます。ですから皆様の寄付と恒久基金収益の半分については、皆様の地区に使い道を決める権利があります。ただ、何にでも使えるのではないため、使い残しという

世界平和フェロー

ザンビアのPhillip Phiri氏
ザンビアは貧しい国ですが、自然資源は豊富です。私たちに欠けているのは人材、よき指導者です。

日本のロータリー財団活動片岡様子 36

3期生の世界平和フェロー

Steven Houghton
上智大学キャンパス内にある国際交換協議会

Daniel Sturgeon
朝日新聞船橋洋一事務所

日本のロータリー財団活動片岡様子 35

のが出てまいります。

これは2510地区だけではなく、日本全体でいえることです。今年度の日本地区のDDF残額としては国際親善奨学金と地区補助金を差し引いて、なお520万ドル（約6億円）の残額があります。皆様の寄付の結晶であるDDFを投入したいと思えるような財団プログラムが必要です。そうでなければ税制上の優遇措置を得たとしても寄付を増やすのは難しいと思います。だいたいこの520万ドルというのは、使い道を見つけれず、ほとんど使わず翌年に繰り越されて行きます。

このDDFを使うプログラムというのは、大きく分けて3種類あります。教育的プログラム。人道的プログラム。ポリオ・プラス・プログラムです。ですから一番簡単な方法は、ポリオ・プラスに寄付してしまうということです。

日本において人気の高いプログラムというのは、国際親善奨学金と地区補助金です。これ以外は使わないという地区がたくさんあります。国際親善奨学金についてみますと、日本は多数の日本人学生を留学させていますが、海外からは少数の学生しか受け入れていません。日本に来たいという学生が少ないという事です。他の国の学生を札幌で勉強させたいと思った場合、DDFをその国へ寄贈することができます。それにしても奨学生の数が減っています。2002年には330人もいた留学生在が今年度は194人、これから辞退する人もいるので現実にはもっと減るかもしれません。応募者そのものが減っているという事です。

2008～09年度から国際親善奨学金のDDF所要額が減額されます。26,000ドルが23,000ドルになりますので、益々魅力が無くなるかもしれません。

アメリカなど先進国への留学の奨学金が減ってしまいます。ただし、ドイツや北欧等授業料の少ない国への留学は、むしろ奨学金が余る事もあります。もちろん開発途上国に行けばもっと余ります。最近、イスラエルに行っていた学生に、戦争のため帰国命令が出されました。ただ、その学生はメディア関係を目指す人だったので帰国を拒否しました。そういう場合どうなるかといいますと、ロータリー財団は奨学金を打ち切ってしまいます。そしてその学生に渡した1回目の奨学金も返還を求めます。つまり帰国命令を拒否したためにロータリーの奨学生ではなくなったということです。気の毒な例ですけれど、ロータリーの危機管理はそういうものです。

地区内、国内、ロータリー・クラブのない国の社会奉仕事業に財団補助金を利用できます。前年度2510地区は9つのプロジェクトを実施しました。日本では34地区中33地区が地区補助金に参加しています。参加していないのは1地区だけです。ただ、補助金は一度受け取ると最終報告をしなければなりません。この最終報告を受け取るのが大変な仕事です。この地区補助金の事業というのは人道的事業でなければなりません。ですから何処かに何かを寄贈する、例えば老人ホームに車イスを寄贈するといった場合でも、その老人ホームが十分な車イスを買う予算が無いという理由があれば人道的事

業とみなされます。娯楽プログラムは不適格です。ロータリーの場合、食事や会食する事業が大変多いです。自分で何もしないで、他団体へもらった補助金を寄付してしまうといったことも、地区補助金としては的確ではありません。ロータリアンが汗を流す事業でなければなりません。

赤羽にある海外事務局の人に、駅に住むホームレスの人たちを支援する事業が良いのではないかと問われたのですが、日本の480あるプロジェクトにはその事業が1つもありません。その海外事務局の人は、赤羽や上野でたくさんホームレスを目にするので、日本のロータリーは当然支援活動していると思われるのですが、今のところそういったプロジェクトはありません。

日本で多い事業というのは、植樹や車イスの寄贈です。それは無難な事業でほとんど100%申請が通ります。地区補助金の利用状況というのは地区によって異なります。補助金の額が少ないという地区もあれば、補助金を使い切れない地区もあります。

GSEというのは日本では人気のないプロジェクトです。34地区中17地区が参加しています。だいたい半数で、多い時でも20地区くらいです。ほとんど世界中の地区が参加するGSEですが、日本ではなぜこのように少ないのかと質問されます。東京には二つの地区がありますが、両方とも何年もGSEを実施しておりません。ホテルに泊めるので費用がかかる。観光旅行みたいだ。などが理由です。世界では約540チームが参加しています。540という地区数よりも多いのです。ひとつの地区が二つまで参加できるからです。540のうち日本は17チームです。

ロータリー財団の寄付の使い道は、大きく分けて3つです。ポリオ・プラス。奨学金。マッチング・グラント。地区補助金は金額的には少ないです。特にマッチング・グラントは現在ロータリー財団最大のプログラムといわれています。マッチング・グラントはロータリークラブがある国同士が行う奉仕事業です。日本の申請はそれほど多くはありませんが、世界では2,000件以上の申請があります。日本は年100件くらいです。最近はマッチング・グラントを実施して、最終報告を提出しませんが厳しいペナルティが科されます。最終的にはクラブの加盟終結にまで至る事もあります。そのため見知らぬクラブとのマッチング・グラントをためらう傾向にあります。韓国や台湾等が安心できるパートナーとしていることが多いようです。

ロータリー財団は、財政的貢献とプログラム参加が必要とよく言われます。日本では寄付は高水準ですが、プログラム参加はこれまで見た通り非常に少ないです。

奨学金や地区補助金の他に日本のロータリアンが参加したくなるようなプログラムが必要です。日本と似ている韓国では、最近ではもう教育的プログラムから人道的プログラムに重点が移っているということです。日本は教育を重んじる国ですから、人材育成につながるようなプログラムが歓迎される

のではないかと思います。

日本で最初の国際親善奨学生を派遣したのは東京でしたが、東京を中心とする地域で元奨学生の学友会・ロータリーフェロー東京が結成されています。(当初は奨学生をフェローと呼んでいました) このロータリー・フェロー東京が今年6月30日に創立40周年を祝いました。1967年に結成され、初代会長は後に東京クラブ会員となった清水長一氏で、初代幹事は緒方貞子氏でした。ロータリー・フェロー東京の40周年の基調講演者は緒方貞子氏でした。この会合には170人ほど出席していました。緒方貞子氏は聖心女子大の1期生で、卒業生46人中半分は留学したという自由な雰囲気のある大学だったそうです。緒方氏が留学した頃、日本は1地区で帰国した頃は2地区になっていました。2地区になった時から東西から各1名ずつ留学できました。当時は日本から一人しか留学生が選ばれませんでした。当時は留学生に選ばれるという事は大変な名誉でした。緒方氏は氷川丸で横浜からサンフランシスコに行き、そこから二昼夜かけて汽車でワシントンまで行きました。当時のアメリカの印象はひたすら広がったということだそうです。アメリカは自信にあふれ寛容でした。9.11事件後アメリカはアメリカのやり方で何でも解決しないと不安になってしまう傾向があるとおっしゃっていました。

国連難民高等弁務官を経て、帰国してJICAで働くようになって気づいた事は、日本が一般的に海外協力より、むしろ国益に目を向けているということだそうです。ロータリーは縦割りではなく、地域社会を連携させる面で力を発揮しているといった話をしていました。

緒方貞子氏は、座右の銘というわけではないが、教育のエッセンスは、大学卒業後も本を読める事だと語っていました。ロータリー世界平和フェローシップという比較的新しいプログラムがあります。世界平和と紛争解決に貢献する人材を育成しようというもので、現在5年目に入りました。日本は当初このプログラムを、かなり支援していました。ですが、現実のフェローを見ますと修士課程の学生ですから、将来緒方貞子氏のようになるかという、なりそうもないという学生もいました。長い目で見るべきプログラムですが、失望してしまう学生もいて日本の寄付は減ってしまいました。余ったDDFはこういうところにも使うことができます。

当初は7カ所でしたが、今は世界6カ所の大学がロータリーのパートナー大学に指定されています。東京の国際基督教大学がその一つです。世界平和フェローは、日本で2年間の修士課程を学びながら日本語が話せない学生がいました。それで失望したロータリアンも多いようです。それはグループで来日するため、グループ内での英語での会話だけで、日本人になじめないで帰国するケースです。こういったことも日本が支援しない理由の一つですが、今年3期生が卒業しました。そして初めて卒業後日本に残る学生が2人出ました。

このダニエル・スタージュンさんは、米国の外交官試験にも合格してしまっていて、修士論文に靖国問題を取り上げた学生



ですが、朝日新聞の船橋洋一事務所で助手をしております。もう一人のスティーブ・フォトンさんは、はじめは日本事務局で働きたいと言っていたのですが、上智大学キャンパス内にある国際教育交換協議会で働いています。

今年の9月には5期生が国際基督教大学に入学しました。米国人が今までは多く、どうして日本がアメリカを援助するのかという声もあり、それが援助が減った理由の一つでもあったわけですが、今年は5大陸から学生が集まりました。アフリカから初めて国際基督教大学に入学しました、その中でザンビアの学生の挨拶の言葉が印象に残りました。

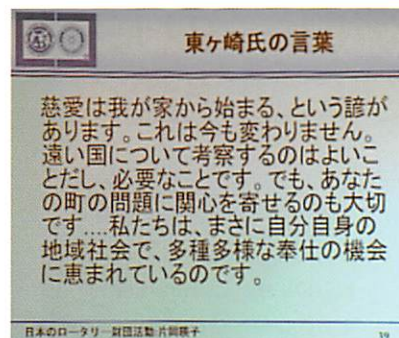
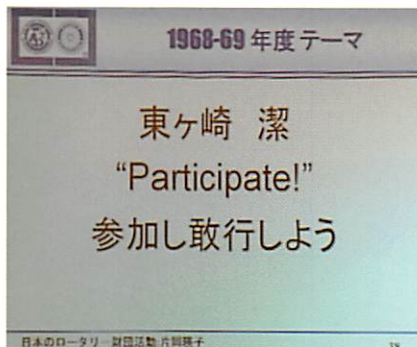
東京に来る前に姉がエイズで亡くなって、大変なショックを受けたということでした。ザンビアは貧しい国ですが、自然資源は豊富です。私たちに欠けているのは人材、良き指導者です。と語っていました。日本に来て喜んで浮かれている学生が多い中で、このような話をしたフィリップさんは大変印象づけられました。日本側のカウンセラーもこのフィリップさんをあたたかく迎えていました。

最後に日本の元RI会長のお言葉を紹介します。東ヶ崎潔氏と向笠広次氏です。

東ヶ崎のテーマは“Participate!” - 参加し敢行しよう - です。

このテーマについては、現重田RI理事の奥様のお父様





の前原勝樹パストガバナーが東ヶ崎氏から直接聞いた話が『ロータリー入門書』に載っております。

船に乗っている乗客は、参加しているのではなく、参加しているのはクルー、乗組員だということです。アテンドの出席とは異なります。そのために訳語を作る時に参加しようと敢行しようをあえて入れたという事です。

地区補助金の最終報告に、どのように参加しましたかを記入する欄があります。植樹の場合、ロータリアン自ら樹を植える。パソコンの贈呈ならばロータリアンがパソコンの使い方を教える。そういうことが参加なのですが、贈呈式に出席しました。会員全委員で参加しました。と書くクラブが多いのです。最終報告を記入する際、このRIテーマを思い出してくださいようお願いします。

東ヶ崎氏の言葉を紹介します。

慈愛は我が家から始まる、という諺があります。これは今も変わりません。遠い国について考察するのはよいことだし、必要な事です。でも、あなたの町の問題に関心を寄せるものも大切です・・・私たちは、まさに自分自身の地域社会で、多種多様な奉仕の機会に恵まれているのです。

この言葉は地区補助金にぴったりあてはまるのではないかと思います。

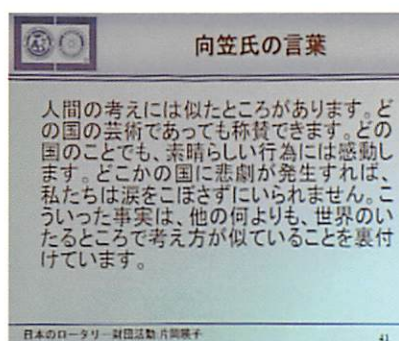
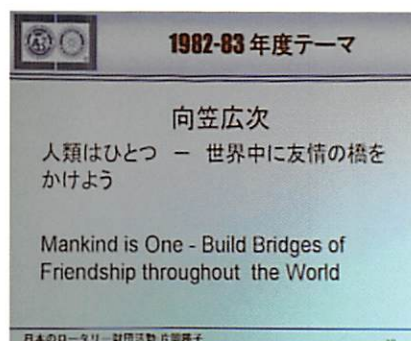
向笠氏のテーマは、“人類はひとつ－世界中に友情の橋を

かけよう”です。

向笠氏の言葉を紹介します。「人間の考えには似たところがあります。どの国の芸術であっても称賛できます。どの国のことでも、素晴らしい行為には感動します。どこかの国に悲劇が発生すれば、私たちは涙をこぼさずにいられません。こういった事実は、他の何よりも、世界のいたるところで考え方が似ている事を裏付けています。」

本日の話が、世界の中の日本のロータリー財団活動を見直す機会になれば幸いです。

どうもありがとうございました。



国際ロータリー会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 並びに懇親会

10月14日(土)

18:00 開会

オープニングセレモニー

歓迎の挨拶・ご来賓の紹介

第3700地区総裁挨拶

国際ロータリー会長代理挨拶

元国際ロータリー理事挨拶

乾杯

ミニ・コンサート

テーブルスピーチ

第3480地区ガバナー・ノミニ

司会 佐藤 則幸

香 澄

ガバナー 丸山 淳士

第3700地区総裁挨拶 李 龍雨

国際ロータリー会長代理 亀岡 弘

元国際ロータリー理事 伊藤 義郎

ガバナー・エレクト 酒井 正人

香 澄

許 章賢

(台北大同)

祝電披露

地区大会記念ゴルフ大会成績発表 記念ゴルフ大会委員長 浜井 俊弘

地区大会記念囲碁大会成績発表 記念囲碁大会委員長 中村 孝一

閉会のことば ガバナー・ノミニ 矢橋 温郎

ロータリーソング『手に手つないで』

19:30 閉会



アトラクション 香澄

1991年/江差追分全国大会(一般の部)優勝。2004年/イギリス「スランゴスレン国際音楽祭」フォークソングソロ部門優勝。アメリカ・オーストラリア等で公演。1990年・ユニバーシアード冬季大会開会式で宇崎竜童氏の作品、組曲「怒涛」で江差追分を歌唱。2006年6月1日～国土交通省「よろこぞJAPAN」のCMソングを担当。世界166ヶ国以上で放映中。●毎週日曜日 夜11:00～STVラジオ「香澄の江差恋い唄」放送中



第3700地区 李 龍雨 総裁

第3700地区 金 昶洙 前総裁

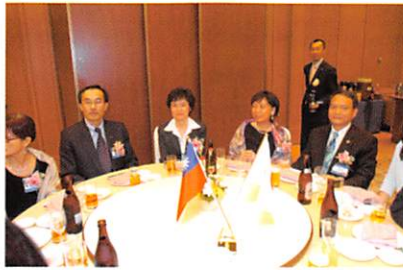


伊藤 義郎 元国際ロータリー理事

酒井 正人 ガバナー・エレクト

記念ゴルフ大会 浜井 俊弘 委員長





第1グループ

深川RC

今年で創立48年、全国で284番目のクラブです。女性会員の2名を含む、46才から92才まで39名の会員で構成されています。80代の会員の1人は「友」誌の川柳に投稿を続け全国No.1の掲載回数を誇ることも当クラブの自慢の1つです。今年は「率先しよう」のテーマのもと、①会員の純増②有意義な例会を奉仕の機会を③市民への活動のPR④財団と米山奨学金の達成等を目標とし、仲良く元気でアクティブなクラブを目指し頑張ります。

舟谷 絹子 後藤田 隆雄 板倉 克宏 伊藤 崇 北村 幸雄
 児島 俊一 轡田 光章 松本 純枝 村中 俊二 永井 久之
 中 公一郎 成田 雅敏 西川 弘二 大西 道祥 大西 祥太
 小野 昭郎 佐々木 弘有 佐々木 実 渋谷 賢治 杉村 修
 棚橋 直登 寺岡 義人 渡辺 一義 山田 圭二 吉本 勲

羽幌RC

当クラブは、第2510地区の最北に位置し、日本海には希少とされるオロロン鳥が生息する「天売島」と、緑濃いオンコ（イチイ科）が群生する「焼尻島」を有し、女性会員1名を含む50名の会員で構成されています。クラブの特徴は、会員相互の融和と親睦、ことさら活発な愛好会事業を深めながら、「地域に根ざした奉仕活動」をRCの精神をもって活動をしています。主なものとして、献血運動に対する推進及び参加協力。自然空間ロータリーの森への植樹。青少年育成に対する少年野球大会の開催など、地域の方々とのふれあいを大切に、更なる地域への奉仕活動を日々積極的に努力を重ねているところであります。

青木 和彰 有澤 護 茶谷 恵一 出口 治康 福井 俊一
 舟橋 隆宏 芳賀 光雄 原田 正志 東出 覚 本間 憲一
 堀川 理智子 伊原 重孝 石川 士史 實藤 吉信 鎌田 健治
 加藤 隆一 工藤 喜一 松橋 守 成澤 卓爾 小原 克美
 小川原 幸紀 大橋 鉄夫 大石 洋一 逢坂 健児 斎藤 彰
 斎藤 優 榊原 照夫 佐野 俊一 忠津 章 高場 剛
 立野 英俊

妹背牛RC

本年創立40周年を迎えます。会員10名と少人数のクラブですが、渡辺会長のもとに「好意と友情」をモットーに、主に地域活動を中心に展開しています。十年未満会員が7名をしめますが先輩の指導を受け「会員相互仲良く、楽しく」をモットーにロータリー活動をしています。

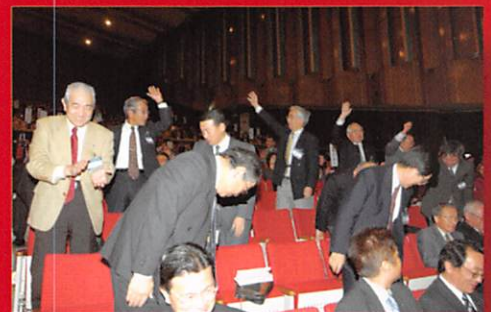
藤岡 明良 伊藤 馨三 真鍋 剛 長田 宗正 中野 秀紀
 大崎 公介 佐藤 義明 高橋 隆義 梅沢 見堂 渡辺 俊和

小平RC

小平ロータリークラブは、会員15名という小規模のクラブですが、会員相互の「和」を大切にしながら地域社会奉仕活動を地道に展開しております。

町のキャッチフレーズであります「海と太陽と緑のさと」に根づいた地域貢献の灯を消すことのない様頑張っています。

今村 武 籠川 健二 松山 昌史 元道 勉 新名 秀雄
 新名 博 佐々木 光雄 東海林 孝一郎 空橋 仁 谷口 孝一





留萌RC

日本海に面した黄金岬で見る夕陽は日本で有数なスポットで自慢の1つです。活動では毎年市民あげての最大の祭り・やん衆あんどん祭りに、大あんどんを制作し全会員で引回し地域に貢献し、同時にロータリー広報に努めております。今年度クラブテーマ「魅力ある明るく楽しいクラブはロータリーを知り、会員家族との親睦から」のもと湯豆腐会を始め5つ愛好会又今年度ロータリー農園を開園して会員又会員家族が明るく楽しくと親睦を深めております。

明澤正樹	遠藤光一	行徳幸治	原田 功	平井誠治
平間達也	石川健治	笠原正昭	河部 勲	川上明弘
道重幸	森 幹雄	森 俊二	中川勝美	二ノ宮清信
西谷英樹	西谷恭治	大嶋孝広	齋藤清藏	坂井 智
佐藤 潔	佐藤寛明	澤田 茂	関野政人	鈴木康伸
高田 潔	武井 哲	田中公一	立山一三	対馬健一
渡部英次	渡邊裕久	山本讓二	吉田清治	

第2グループ

赤平RC

昨年はクラブ45周年の節目の年を迎え、家族への感謝をこめまして、温泉旅行を実施致しました。又「赤い花夢クラブ」の事業に参加し、サルビアの苗を植え、明るい街創りに協力しました。障がい児童とのお楽しみクリスマス会・幼稚園児と共に老人施設への、慰問等は社会奉仕事業として、計画いたしております。諸先輩の築られました素晴らしい伝統と奉仕の精神を引き継ぎ、更に飛躍する様に会員一同頑張っております。

赤川清介	藤田安男	藤原 税	布施洋一	早坂弘幸
石野 茂	伊藤和敏	和泉義雄	菊島好孝	宮川 徹
村田 武	武藤哲雄	西沢良和	大坂 晃	佐藤節子
仙田哲夫	高江智和理	田中良一	田中隆志	若林弘基
渡部芳己				



芦別RC

林業・農業・石炭・観光の町として栄えて来ましたが、年毎に衰退しピーク時の人口約7万5千人でしたが現在1万9千人を割り、また、当クラブも会員数65名の在籍数が現在46名まで減ってしまいましたが、何とか多くの会員を増強するべく運動を会員皆様の力をお借りして頑張っております。その結果が徐々に現れているようです。地域芦別なりの背伸びしない会員増強、地域に根ざした活力ある奉仕活動に協力をしていきたいと思っております。

荒川忠義	道島尚光	早坂 勝	神野一民	北 正信
森沢 勲	宗方裕之	根井 弘	沼前治孝	小畑陽彦
岡本幸男	齋木達雄	坂田憲正	櫻井 祝	瀬戸一郎
多田康司	竹原幸盛	滝 勝美	田中一廣	田中忠勝
土山久男	渡辺寿一			



砂川RC

緑あふれる公園都市、アメニティ・タウンと認定され活動している地域であります。地区には、道立こどもの国及び少年自然の家が運営しており、石狩川に面した地域には素晴らしい景観を持つオワシスパーク

があります。その中で、色々なイベントが開催されています。そんな砂川市の1クラブとして、会長・幹事を筆頭にして沢山に係わり合いをもって活動を致しております。又特に、当クラブは、クラブ奉仕委員長を筆頭に、多くの啓蒙活動を行いクラブの活性化を重点しています。それにより、ロータリーが目指す、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の4大奉仕の1面を感じとりたいと歩んでいます。特に特色ある街ではありませんが、多くの方、そして団体、今、ロータリーと共に力を合わせ頑張っている地域であります。大変、素敵な田舎的な町ですが、一度立ち寄り感想をお寄せください。

千葉清	福家幹夫	畠山豊	堀江和美	石家裕二
伊藤徳博	川部信之	木村正勝	北谷好文	小林公民
小泉洵	増井利雄	松原重俊	水島孝嗣	二橋邦征
小原幸二	大山知行	榊原二三夫	佐藤正一郎	沢田広志
沢田幸三	曾我悦工	杉本勉	高橋秀明	竹田俊一
内野司	瓜俊雄	山田賢司	山田信一	山下眞史
吉川富雄	吉野繁夫			

滝川RC

「ロータリーを信じよう」を旗印に会員数100名でスタートしました。平均年齢59才とバランスのとれた歴史あるクラブです。ロータリーの原点である奉仕・親睦活動を見つめ直しつつ、会員各自が先ず例会への出席を充分なものにする事はRIテーマである「率先しよう」を実践でき、達成目標になるのではないのでしょうか。8月10日には新世代委員会事業の一つ「はばたけ!未来のアストロノーツ」と題し160名の子供達と汗を流し、ミニロケットを打ち上げました。

福井義昭	古澤武	細田光人	五十嵐達明	石黒安雅
伊藤和男	伊藤広志	川口義弘	小山進	松原章
中島誠一	中島健	野田富夫	坂田秀昭	笹木和幸
佐藤佳朗	塩尻一幸	鈴木忠男	高木敏行	高山訓正
田中幹雄	上田秀司	山口清悦	柳義文	

第3グループ

美唄RC

美しき唄のまち「美唄」は、国道12号線の日本一長い直線道路南側スタート地点の街です。春と秋にはマガンが飛来する宮島沼や世界的彫刻家安田侃氏の作品が並ぶアルテピアッツァ美唄、石炭から農業に主産業が変化した田園風景の美しい美唄です。当クラブは会員41名と多少減少気味になっており会員増強とクラブテーマ「自利利他」他人のためにすることが自分の幸せであることを念頭にロータリアンの存在感を高めて参ります。

阿部稔	海老名元	二川秀樹	後藤三雄	東野碧
廣岡文太郎	本田俊朗	星川孝司	宝崎錠二	井門英明
鬼原静一	木村修博	岸山一郎	北野保孝	円子保
三浦武美	毛利清徳	中川廣吉	奥山裕章	大竹繁夫
下村雅朝	城野裕好	高田正則	高橋誠	武市雄弘
竹松洋	田村勝明	山田進	米森正夫	吉村誠治

江別RC

当江別ロータリークラブは創立45年と歴史あるクラブです。又会員





相互の理解と協力により全員参加する活力あるクラブです。職業奉仕に関するクラブでの勉強会の実施を推進していきます。清掃、交通安全運動への協力、薬物乱用防止と健康に関するキャンペーン、市内小学生との交流（もちつき大会）の実施、ネパール日本友情学校の整備支援の継続、スノーフェスティバルの参加、市内奉仕5団体との交流など多類の活動をしています。

千田秀侍 郷 和平 林 重樹 林 敏昭 久富文子
 金田敏雄 柏尾隆史 加藤正勝 松山敏則 最上裕之
 中川清志 西 照夫 野村昌人 奥野一嘉 女屋龍紘
 佐伯宮彦 笹浪哲雄 清水基陽 津田政勝 八島壯之
 山田 誠 吉田欣司

江別西RC

仲の良い和気あいあいのクラブ35名です。今年は、15周年を迎え原点にかえり、いろいろな事を見直し江別西ロータリークラブらしい事業を根づかせて行こうと全員で考え行動しようと思っています。今年度のテーマは「ロータリアンの家族」でロータリアンの家族と共に地域社会に積極的に参加していける様組織化してみたいとも考えています。以上これから期待出来るクラブと自負しています。

支部英孝 服部 渉 石黒良平 増山 柳 大森和子
 島崎 修 品川昌典 徳田康幸 上田芳明

岩見沢RC

当クラブは、1954年5月の創設以来、歴史と伝統を重ね、多くの先輩ロータリアンと若いロータリアンで伝統を守り、市民を率先してチャリティ・パークゴルフ大会を開催し、地域発展のために、友愛の輪を広げて参ります。

荒木敏博 浅野 剛 原 保昌 林 秀徳 五十嵐 閣
 石田豊明 石井和行 鎌田 誠 勝井裕幸 木元久嗣
 北市宗三 小林弘明 倉増昭一 三嶋 顕 向田甚市
 武蔵輝彦 中塚 力 大屋 均 田苅子敬夫 谷 勲
 山本秀一 山根良隆 山崎康行

岩見沢東RC

緑に囲まれ、バラの町と知られる岩見沢市。岩見沢東ロータリークラブは会員数38名と小クラブながら世界社会奉仕活動、地域と連帯した奉仕活動、また青少年との育成交流事業と幅広く活動を展開しています。本年度我クラブのテーマは「ロータリーの原点に戻ろう」とし、笑顔のある楽しい例会、また家族と共にある親睦活動を展開します。地区目標は、会員増強、財団米山含め目標を達成することをお約束します。

稲垣政敏 金田省三 勝田秀樹 松重彰伸 長田正文
 南原幹生 西原宗幸 坂口堅一 坂田知樹 関 二三子
 柴野美智子 田口剛志 竹村正義 滝本妙子 田巻敏行
 豊岡義博 津元美智代 上野弘美 渡辺博人 渡辺勝治
 渡辺 劼

栗沢RC

本年3月27日、栗沢町が岩見沢市と市町村合併をし、当クラブも岩見沢市のクラブとなりました。既に在する岩見沢RC・岩見沢東RCの2クラブと今まで以上に関わりが出て来るので、共にロータリアン

としての意識を強め、地域社会への貢献を考えて行こうと思います。
又、クラブの区域・人の動向も今後はふまえ、会員（友）を増やして
行く活動を考えて行かなければと思っております。

本田正一 石川哲博 伊藤アキ 岩田 隆 川幡 直
宮森俊一 宮森 裕 鈴木正夫 吉永忠邦 吉野顕隆

栗山 RC

私たち栗山クラブは、岩見沢クラブのスポンサーのもと1970年1月
35名の会員で創立致しました。以来地域に密着したクラブを目指して
活動を続けて参りました。年毎に変化する社会、経済情勢の中で会員
の増強をはじめ、楽しみと苦しみを経験して来ました。毎週の例会は
もとより、5年毎の周年行事も会員の一致団結により実施して来まし
たが、現在40周年記念行事に向けて計画に入ったところです。

安藤 隆 廣岡秀博 今井敏明 磯野武司 梶澤忠彦
小寺 進 小島 茂 小室雅裕 蔵本忠司 久住八郎
松下留雄 中山明志 太田ヒロ子 佐藤清夫 関 吉一郎
下沢英二 利国奈美子

当別 RC

当クラブは1976年に札幌北クラブをスポンサーとして創設され、昨
年お陰をもちまして30周年を迎えることができました。宮城県の岩
手山 RC とは姉妹クラブとして、今年は両クラブとも窓口となる委員
会を設けて益々活発な交流を予定しています。又、スウェーデンレク
サンド市と当別町が姉妹都市交流を結んでいることもあり、スウェー
デンとの交流を国際奉仕の中核にして長年交流を続けています。

浅野政一 河村佳男 松田 進 見上喜久雄 大澤 勉
小山田雄一 島 義慈 島田裕司 下段寿之 辻 伸行

第4グループ

札幌 RC

昭和7年、東京 RC をスポンサークラブとし、日本で8番目のクラブ
として創立され、明年75周年を祝います。創立以来、会員の親睦と
ロータリーの綱領の実践に努め、また道内主要都市の10クラブの創
立に際し、スポンサークラブの役割を果たしてまいりました。現在会
員数130名、本年度も長い歴史と伝統を継承し、品位ある運営を心掛け、
長年育んできた特色ある活動の一層の充実と発展を目指します。

相茶俊介 天野雅一郎 荒 紀男 近久武美 土井良平
藤井 実 福山真司 古野重幸 細野孝雄 市川唯行
伊藤健二 伊藤義郎 岩田圭剛 陣上雅人 柿本 純
加茂孝之 加藤欽也 勝木紀昭 小島 孝 小森宏明
小山 司 工藤俊也 栗林昌弘 松本脩三 松村亮一
見田義之 水島顕彦 村山 正 長野 隆 中村達也
中田隆博 中山 茂 西川司郎 西村 求 庭山早苗
野川晃一 小野沢 潔 大島 茂 尾崎英雄 坂本真一
先本建夫 櫻井政経 指川 司 澤 泰宏 下田恒男
杉野目 浩 高橋威男 高桑 泉 高薄浩志 寺田義明
富原 薫 富永 基 壺井俊博 辻 聡 塚本 勲
植田英隆 上澤孝二 山本伸一 山中善夫 山崎 寛
柳川捷夫 谷中 昭 横山 隆 吉田 宏



札幌あけぼのRC

当クラブの例会場は、手稲の山々を間近に望む西区宮の沢、石屋製菓「白い恋人パーク」の一角にそびえ立つ、時計塔の地下にあります。イギリスの古い屋敷をそのまま移設して作られた室内は、歴史の重みを感じさせる、親睦を深めるにはふさわしい会場となっています。隣接するコンサドーレ札幌のサッカー練習場、そして宮の丘公園。当クラブが目指している新世代育成を視野に入れた活動には申し分の無い環境です。

本年度の会長方針は「ロータリーを大いに楽しもう」です。待望の新入会員が2名加わり18名。少数精鋭そろい、地域に根ざしたクラブとして一歩一歩進めて参ります。

秋野公孝 笠原嘉郎 木原達彦 小林和明 久住博
蓑輪眞智子 永田省三 中野裕之 西山秀夫 齊藤淳一
砂原雅治 鈴木徹雄 高坂輝雄 柘植保昭 安田敦司
安澤正美

札幌はまなすRC

今年度は新入会員を1名迎え、玉造啓子会長の元26名の会員で創立15年目を迎えました。私どものクラブは少人数ですが、少人数のメリットを生かして親睦ある例会を毎週火曜日札幌サンブラザで開催し、また石狩市のボランティア活動参加、地域の公園等の清掃活動の社会奉仕をはじめ、青少年交換留学、米山奨学生の世話クラブ、カウンセラーなどの国際親善事業にも熱心なクラブです。

愛須一史 青木貞康 浅井言 菊地為次 北川敏夫
工藤建融 中山正美 丹羽肇 野村勝隆 岡西功
大石春雄 坂田文正 玉造啓子 寺本正司 戸部アナマリ
遠島芳然 柳井康晴

札幌北RC

今年5月創立35周年を迎え、塚原ガバナー御出席のもと、3人のガバナーの輩出、3つの子クラブの誕生、アクトクラブの継続運営など、歴史的歩みと伝統を再確認致しました。現在38名（女性6名）の全会員により討議を深め、長期展望にもとづく新しいクラブ運営を提案しています。国際活動、地区活動に協力し、個々の会員の意志と参加にもとづく創意ある組織活動を展開中です。楽しい例会、家庭集会で親睦を深め、会員増強にも努力中です。

阿部弘 相沢芙束 出村知佳子 深浦信吾 福田十太郎
樋口正明 井上勝一 片岡是充 木村芳江 小林博
小林幸子 長太義雄 大西勲 大田すみ子 三味正明
佐藤公 清水薫 城木浩一 菅原耕治 高橋麗秋
竹原巖 谷口良一 八木政明 米山道男

札幌モーニングRC

私共は創立19周年を迎えます。会員の平均年齢は58.72歳と比較的若いクラブです。札幌市内で、唯一朝に例会に行っています。ラジオ体操から始まり、ロータリーソングのみならず、クラブ独自のオリジナルソングを3曲持っております。活動は森づくりサークルの力を借りて行った富丘小学校・幌南小学校のカミネッコンによる『植樹』、その他青少年に対する奉仕活動を行っております。

また、同好会活動も活発であり、特にアウトドア同好会は、家族や友



人知人、留学生にも声をかけ、登山、スキー、釣り、陶芸などを楽しんでおります。旭川・青森・川口・京都の各モーニングクラブとは友好クラブ締結をしており、定期的に交流をしております。私共は明るく楽しいクラブです。例会後も直ぐに散会するというのではなく、朝の一時を、ホテルラウンジで、毎回必ず10名の会員がモーニングコーヒーで談笑し、二次会を楽しんでおります。

赤裏 茂	朝日田 雄人	藤森 敏昭	平田 博史	池上 公介
石田 幹二	石井 義康	石川 雅啓	角谷 賢治	加我 稔
亀川 昌一	川村 紀幸	小松崎 文一	沖田 盛司	大泉 清
大熊 慧教	坂本 勝彦	笹山 峻弘	佐藤 亮蔵	佐藤 嘉高
嶋野 貞隆	篠原 達雄	鈴木 速男	滝沢 広忠	田中 裕之
田中 燈一	露木 茂	宇治 正光	梅津 征夫	安井 覚
吉田 義一				

札幌西RC

創立1960年、24名にて発足、以後会員数は増加を続け、75年145名を算す。その間奉仕活動は地区内有数の成果を挙げ、当クラブの名声を高む。その後時世の変化に伴い、会員は微減を続け、現在75名になる。されど日出づる東に非ずと雖も、日没する西に非ず、日はまた昇るの気概は過去4人のガバナーを輩出、更に2年後のガバナー擁立に向けクラブ一丸となりロータリーの発展に、一騎当千の武者各員、日々奉仕の活動に燃えている。

雨貝 尚子	青木 藩	青木 茂	浅野 元広	船越 裕勝
伏木 忠了	浜辺 秀樹	浜松 義弘	橋本 信夫	畑山 博
池田 政勝	石黒 直文	板橋 孝司	川端 忠範	川田 弘
北川 誠	北島 清	宮崎 善昭	村上 登	武藤 順
中村 真規	仁平 誠	大金 武夫	大越 克巳	太田 耕平
太田 秀造	佐藤 裕一	高橋 清子	高下 泰三	武田 智
田宮 哲夫	辰巳 治之	戸部 謙一	浦部 保仁	八木 昌興
矢橋 温郎	矢橋 登美子	山地 利明	柳川 広伸	吉村 己

札幌西北RC

当クラブは、今年創立30周年を迎え各会員は精力的に活動しております。その記念の4大事業として1) 地域社会への奉仕活動、「西区琴似商店街への花壇設置事業」2) 国際支援活動、タイ、チェンマイ地区の水利事業支援活動、3) 昨年度より継続のカンボジアへの教育支援活動、4) 西北RCクラブ歌の制定を機軸としております。又、30周年記念行事として1) ゴルフ大会開催、2) パークゴルフ大会開催、3) 記念祝賀会開催と多くの行事日程を各会員協力して行なうこととなりました。その他、点字奉仕団体への資金的援助活動や定例のクラブ活動もあり、これら活動を通じて会員相互の親睦、理解を深めつつあります。

秋山 秀雄	穴倉 迪彌	安藤 壽建	出口 修	池本 茂雄
神子島 隆幸	加藤 武久	小林 秀樹	久保 隆	工藤 康雄
馬杉 榮一	松下 徳良	三上 直彦	森本 正夫	中嶋 成実
西岡 憲廣	小川 真治	大橋 陸男	大野 義雄	大島 利一
齊藤 博義	嶋 和幸	新谷 喜信	鈴木 伸哉	高元 寛治
武田 忠和	多米 豊	谷口 二郎	富岡 公治	土屋 日出男
渡邊 葉子	山本 耕司	吉田 聡子		



札幌手稲RC

本年度の当クラブ会長方針は、「思考を高めよう」である。ロータリーは100年を経過したが、我々ロータリアンは「変えてはならないロータリー」を大切に、「変わるべきロータリー」を会員と一緒に考えるために、「思考を高め」楽しいロータリーライフを過ごせればと思っています。又、当クラブは、他のロータリークラブと協力しロータリー杯争奪西区手稲区中学校スポーツ大会を実施し、クラブ独自に高校生への奨学金支給、交換留学生の受け入れ等の青少年育成にも積極的に取り組んでいるところです。

阿部光行	網干要	福井敬悟	福尾俊太郎	針谷龍宜
肘井博行	久末満三	石田誠	小山秀昭	松下正雄
松崎幹	宮坂勝文	中川原憲	中村和雄	酒井孝夫
末岡秀明	高橋敏雄	高崎英仁	瀧川哲夫	宇野義昭
渡辺里代子	山地庸夫	山本雅章	山谷紀巳夫	吉田守宏

第5グループ

札幌東RC

当クラブは1959年の設立で現在48周年目で間もなく創立50周年と云う節目を迎えようとしています。伝統ある奉仕活動に力を入れ輝かしい業績を残されて来た諸先輩の意志を踏襲して会活動を充実させ90代から30才代迄多岐に亘る会員の相互理解と融和を図りながら運営しているところです。

朝倉正人	坂東宗一	大 公一郎	遠藤正史	藤井英勝
藤本栄松	星野恭亮	出田末喜	井上善博	磯場勇一
伊藤栄一	伊藤公一	伊藤俊男	笠原昇一	柏原誠一
加藤國彦	川幡宏一	菊地章	菊地弘嗣	木村輝美
米谷龍三	熊谷直孝	黒澤昌彦	松宮國彦	長澤昇司
南原康二	西村孝治	西村勉	小田切房之	奥貫一之
大谷荘一	坂口孝一	酒井純	佐藤芳郎	関堂勝幸
瀬尾昌資	清水哲	志々見陽一	鈴木俊幸	平 公夫
高橋徹	田村泰章	田中宏	田中新一	遠山日露史
土倉裕之	塚原房樹	塚原孝子	上田進	梅沢英行
和田一仁	和田雅博	若原秀明	渡辺哲則	八木徹
矢橋潤一郎	矢島泰司	山口史朗	山中樹	安田経
吉山八郎				

札幌清田RC

当クラブは1997年10月、地区内70番目、札幌市内14番目のクラブとして誕生し、創立9周年を迎えました。現在、女性会員6名を含む25名で創立10周年記念事業にむけて準備を進めております。今年度は継続事業である地元町内会の方々との親睦パークゴルフ大会が第6回目となり約100名の参加がありました。これからは地元地域の不法投棄対策、言語障害児通級教室への支援を昨年引き続き取り組む予定です。

阿部哲夫	江口洸	遠藤敏哉	堀理人	石見理恵
柏倉慎	木村麻美	小島健	小仲美智子	真鍋昌市
三澤龍子	三戸和昭	宮村素子	桃井康夫	村本忠
永見貴昭	中島永昭	中村隆	西澤寛俊	沼舘栞
佐藤洋之	高橋宣充	玉井清	丹治典久	若林隆介
若林成治				



札幌幌南RC

当クラブは一言で言えば活動的です。例会出席率100%、野外を含め移動例会、夫人同伴例会の参加も多数です。ごみ拾い、芋掘りなどの奉仕事業は、ローターアクトとともに多数が参加しています。さらに、麻雀、囲碁、俳句の会、ゴルフ同好会など趣味の会の活動も活発です。また地区の各委員会でも多くの会員が活躍しています。これら全ての活動が例会参加を楽しいものとし、そこから様々な事業への参加を促しています。

秋庭富男	有田均	浅井雅雄	蝦名大典	遠藤正之
遠藤友美恵	深田博司	深貝亨	羽部大仁	針谷毅
長谷川洋一	五十嵐政三	石田耕嗣	板橋俊	鎌田英宏
鎌田洋	金谷寛	加藤康夫	木村利彦	北山誠
近藤和雄	近藤浩	熊谷泰隆	熊坂峻	前田恒雄
舛田雅彦	増山三稚男	松根壽史男	三国信樹	森正志
永澤邦夫	中川勝之	中川信喜	奥村建夫	王強
酒井俊樹	佐々木雅之	佐藤泰寛	澤田清一	関正明
関峯吉	下出道弘	新道一夫	新道喜信	相馬純一
高木宏壽	鷹木光雄	高橋一雄	高島英寿	田中賢一
田澤泰明	戸井敏夫	富田實	砺波寿	土谷享
角掛晴雄	内田豊	海野英爾	和田壬三	我妻章司
山際廣昭	山地富士夫	山名善久	山下信行	山崎仁
柳孝一	吉田彰	吉田淳一		

札幌南RC

当クラブは今年6月に記念すべき創立50周年を迎え、今年度は51年目のスタートを切りました。今年度よりCLPをいち早く導入し20あった委員会を9委員会に統合し委員会活動を活発にし、会員増強・退会防止等に努める事となりました。当クラブの良き伝統として引き継がれて来た“なごやぎ”の精神を誰もが尊重し、会員相互が思いやりや楽しさを大事にしているのが我がクラブの特徴です。今年は特に大きな行事もなくクラブ内部の充実を進めていく予定です。

青木健次	荒井竜一	朝妻邦雄	遠藤昭一	藤澤豊喜
福山恵太郎	橋本耕二	服部信吾	廣瀬敏	平野秋廣
本間良二	星野尚夫	稲津亘	伊藤清	岩城秀晴
岩城節子	金井英明	加藤正雄	川井一男	川崎秀雄
菊池恒	菊川隆志	木下義章	小林昌志	熊本努
黒田忠	黒澤勝昭	松家治道	宮内優	師尾純一
村山圭一	夏井坂信幸	西川哲也	太田真琴	大谷荘佐
佐川正博	斎藤元護	斉藤宏二	斎藤紀夫	佐藤源五郎
佐藤伸	島津宏興	須田義雄	杉目幹雄	鈴木宏行
多田信和	田井秀典	平昌夫	田嶋久嗣	武部實
竹山涼一	竹山孝子	富樫昭夫	徳中征之	坪田幸栄
土田茂	山口潔	山下準平	山谷英一	横田昭
吉田松雄	吉田壽昭	吉尾弘	トーキル	クリステンセン

札幌大通公園RC

年会費96,000円です。手作り弁当の家族的な楽しい例会で四つのテストを唱和してお金を掛けずに時間や労力・知恵を提供し合い節約した分は実感出来る社会奉仕へ…を実践しています。少ない会員ですが求めに応えられる街頭での献血運動や施設訪問など…身の丈に合わせ



楽しく意義あるものになっています。親睦活動も飲み食べだけでなく男性・女性会員全員が年齢に関係なく参加出来る催しを中心に考えています。

荒井吉枝 藤田征二 長谷川美栄子 増子岳人 新田直子
小笠原肇 大坂忠 佐藤文彦 菅原秀二 高橋宏
田中利男 鏑原睦男 上田ゆう子

札幌セントラルRC

我クラブはロータリーの基本理念に基づいた活動を行っております。活動としては社会奉仕委員会と職業奉仕委員会で赤十字ジュニアスキーパトロールの父母の会を対象に卓話の実施、国際奉仕委員会では留学生の卓話の機会を多くもうけ交流を図る。当クラブは少人数で女性会員の比率が高く比較的若いという特徴があります。従って意思の疎通がはかりやすく、且つ自由な討論が活発で会員は例会が楽しみで出席するといった状況です。

荒又重雄 東ミツエ 石垣博美 小坂祥司 佐々木春代
芹田馨 高橋都 上野了 若林滋 山道祐子

新札幌RC

当クラブは、近年会員数の減少が続き、この現状を打破する為今年度は増強委員会を設置し会員増強にクラブ挙げて取り組む事になっています。永年に亘りリサイクル事業として割り箸回収を継続しています。又白石区厚別区の地域祭りへの協賛など地域参加活動を行って居ります。他クラブより年代層としては若い会員が多く自由な意見交換が出来る環境が有り明るく楽しく元気良さをモットーに活動していますのでメークアップにご参加下さい。

阿部敏雄 有田京史 福井由美子 福士恭次 原口伸一
奏温信 五十嵐勤 井原敏男 飯塚弘志 石田茂夫
石黒光男 伊藤哲雄 伊藤豊 嘉屋輝夫 木須哲夫
望月好明 村上寛 村田晃啓 村山亀雄 中西泰司
小川優 小野修 澤合賢一 瀬川俊男 清水昭子
泰地富男 高田芳夫 高橋雅行 高橋俊一 梅田鉄夫
山本博之 山岡誠

第6グループ

岩内RC

岩内町開基は1751年、今年で255年を迎える歴史のある町です。美しい街並みと山海の恵み豊かな漁業・水産そして芸術の町。岩内RC45周年、「木田金次郎美術館」支援と岩内高校出身の丸山淳士ガバナをお迎えしての記念事業を計画しております。また本年度5周年を迎える台北「北新RC」との友好事業がスタートしました。“会員と共に、家族と共に、地域と共に”のテーマのもと、会員一同頑張る所存です。

千葉正憲 東山洋徹 廣田正 本間裕 井戸幸夫
池田清美 伊藤正敏 宮谷悟 野澤幸平 小川進
大橋由政 斎藤徹 佐藤泰視 武田浩史 吉田栄治

俱知安RC

当クラブは1964年に岩内ロータリークラブのスポンサーによって創



立されました。第43代高橋秀樹会長の下、「ロータリアンとしての誇りと義務を見直そう」をテーマに会員全てがロータリーに誇りと自信を持って積極的に広報が出来るように奉仕活動に心がけ、地域社会に貢献する為、日々努力を重ねてまいります。

朝倉直治 櫛引英雄 長尾靖友 中井直樹 西勝照平
小野塚清一 斎藤知之 関幸吉 柴田洋一 鈴木保昭
高橋秀樹 滝口直久 旭克久

小樽RC

当クラブは昭和8年の創立で例会も通算3560回を超えております。85歳、在籍58年という会員も居りますが、会員平均年齢57.6歳と比較的若い会員で占めております。それだけにクラブには活気があり例会も楽しいものです。しかし諸先輩が残してくれた伝統をしっかりと守り、誇りを持ってクラブ運営がなされております。

足立竹秀 飴谷佳一 海老名敏男 遠藤友紀雄 半田善行
本間公子 河邊由清 君島功 熊澤隆樹 松倉弘
三山雄弘 宮村樹 中野豊 野口英機 能島正朋
西條文雪 坂田道昭 佐藤慶一 柴田徳彦 島口義昭
清水雅章 杉江俊太郎 谷内馨一 山田雅敏 吉村克之

小樽南RC

歴史と観光、古さと新しさが交差する街、小樽。今期創立47年目を迎える小樽南RCは「親睦と奉仕」を目的に積極的にRC活動に取り組んでおります。社会奉仕、国際奉仕などの事業を通し、地域の諸団体と手を携えての率先した交流は、多くの友人、多くの友情が生まれています。これらの交流はクラブの活性化、RCの魅力の再認識が図られRC活動の増進をもたらしています。これからも明るい未来をもたらすため率先して頑張ります。

浅原健蔵 千葉峻三 福島正紘 廣部隆夫 堀内晴人
岩船早苗 岡崎芳明 大淵勝敏 斎藤仁 柴田達朗

小樽銭函RC

創立31年を迎え例会場を新たにスタートした当クラブは少人数ながら和気あいあいと1人1人が与えられた使命に努力しています。本年23回目となった小樽銭函ロータリー杯少年野球大会はクラブの伝統の行事となり地域の方々に喜ばれて居り、奉仕活動の大きな柱となっております。また留学生へのクラブ独自の援助等も行ってまいります。会員が互に助け合い職業倫理を実践した30代から80代女性会員3名とにぎやかな楽しいクラブです。

安齊博 藤川正二 藤中博文 藤田政昭 濱田洋幸
今泉栄治 今村伸八 石岡信之 片見怜子 河崎義章
舛井齊 松倉正広 松本光世 村田昌敬 櫻場義春
嶋谷公幸 多田武夫 上村百合子

蘭越RC

(クラブの自慢)

会員数11名の少人数クラブですが、9名がポールハリス・フェローです。クラブ会長も8人が複数年の経験者で、今年度、堀川会長は3回目です。経験豊富なメンバーですから、各委員活動も意志の疎通が出来、行動、実行もすぐに決定出来ます。チームワークの良いクラブです。





(クラブの良い事業)

少人数の為、出来る事業が限られますが、愛星学園（児童福祉法人）のクリスマス会へサンタクロースとしてのプレゼントを届けている。志比川会員が会長の河川愛護団体と一緒に尻別川河川清掃を実施しています。このクラブの会員個々は、それぞれ色々な団体の会長をしている為、クラブへ要請があるので、それぞれの事業に参加協力をしています。

堀川 強太郎 佐藤 義久 志比川 武 田所 良則

余市RC

日本海の壮大な眺めと自然につつまれた街、余市にロータリークラブが設立されて以来、今年で45周年を迎えました。現在4名の女性会員を含め41名の会員で、水泳、ジャンプ等のスポーツを通じての青少年の育成を目的とした社会奉仕活動、地元の公園等の清掃活動による環境保全に積極的に取り組んでおります。

荒木 麻美子 藤田 英司 林 正秀 林 和秀 本多 宏行
 彫谷 吉英 板倉 俊久 川向 基紀 森 義彦 長野 昌治
 中井 克雄 西田 雅之 清水 義信 高橋 哲雄 谷川 淑郎
 山田 昭恵 山本 繁樹 安田 亘 吉原 伸

第7グループ

千歳RC

世界にも翔く空の玄関「新千歳空港」と千古の佇まいを感じさせる支笏湖、千歳川の清流に育まれた美しい緑の街。当クラブは「ふるさと千歳」の創生に夢を馳せ、環境対策として80年に及ぶ「分取造林事業」また、未来を担う青少年育成プログラムに取り組み、70名の会員が心一つにして「ロータリー学」を活動の糧とし、「心の奉仕・職業の奉仕」をテーマに、楽しくて思いやりのある魅力的なクラブづくりに挑戦しています。

浅利 美恵子 安住 浩 藤本 敏廣 福田 武男 平間 和弘
 五十嵐 宏 五十嵐 桂一 今村 静男 岩崎 暉久 上井 昭一
 木村 照男 本宮 輝久 長澤 邦雄 中村 堅次 中山 和朗
 大西 信也 酒井 宏 榊原 潤 佐々木 昭 佐々木 金治郎
 佐藤 秀雄 高橋 都

千歳セントラルRC

出来るかぎりパソコン、電子メールを網羅し会員全員に速やかに周知し、且つ確実に行事連絡を伝達する方式をとっております。今年度は『わがまち千歳再発見!フォトコンテスト』を継続発展させ、『千歳を育む人々』を掲げ埋もれた人材を発掘していくつもりです。又、強風(2004台風18号)で倒された森林の緑を取り戻す為の『復興の森づくり』事業への参加、そしてCLPについては本年度より基本の組織づくりに着手しております。

井上 英幸 入口 博美 斉藤 博司 坂井 治 須藤 丈
 田口 廣

恵庭RC

今年度は会員も減少していく中、大変だとは思いますが、恵まれた庭の地名にふさわしく庭園都市としてさわやかに又青少年育成の為確実

に地域に密着した奉仕活動と恵庭ロータリークラブらしい国際間の交換留学生の受入派遣の実施に特に力を注ぎ、会員増強と退会防止に力をおきながら全員で協力していくつもりです。又近隣クラブとの交流を深めるため親睦レジャーなど積極的に参加し、他のクラブより良い点を吸収していきたいと思ひます。

早瀬源一	雑田谷武志	細川茂	岩下則雄	川原光男
久野等	日下健三	前田元照	眞野尅眷	三浦孝治
宮内光則	村本満男	中川富雄	中里邦治	小田和実
大川健一	斉藤茂生	柴田弘道	清水明	鈴木伊佐男
高木薫	田中利則	舘内辰男	内田信一	

北広島RC

当クラブの会員数は二十名。少数なれども女性会員が二名おりいます。今年度はカナダより、チュート・クリスティーナ（15才）を交換留学生として受け入れております。菊池会長は神主さん。例会毎に有難いミニ講話を話してくれます。会員相互の親睦は抜群に良好。夫人同伴の例会も度々行っております。RI会長賞を目指し、会員一丸となっております。

馬場信吾	福永好宣	池崎正弘	加藤寛治	菊池重敏
眞木孝男	宮崎雅好	大谷恵一	斎藤洸	瀬川五水
鈴木浩司	鈴木政夫	竹内實		

長沼RC

長沼町は、馬追丘陵の裾野に広がる、夕日の美しい田園都市です。創立15周年を迎える今年度は、記念事業の他、創立以来の継続イベントとなっている長沼町国際交流フェスティバルも、さらにパワーアップして開催する予定です。これからも会員相互の友情を深め、新会員の増強にも力を入れながら、活動してまいります。

天野敦子	古川大之	花輪博一	池内昌之	久保敏雄
政角勝雄	望月良則	佐々木信雄	清水彰	清水慧子
田嶋俊美	高木繁秀	辻野つね子		

由仁RC

会員は13名と弱小クラブですが、ロータリー農園とロータリーの森の管理と昨年から桜の植樹と管理の「夢3事業」の推進に努めていきます。また今年も老人ホームへの手打ちそばの慰問など地域への奉仕活動にも力を入れていき、楽しい例会と会員親睦に努めます。日本のハープガーデンのあるまち由仁町へどうぞお越し下さい。

本間好道	市川由紀男	大坂直人	庄司弘	高山宏道
吉田弘幸				

第8グループ

えりもRC

えりもロータリークラブは、1972年9月に26名の会員によって設立された現在に至っておりますが、設立当時からクラブ会員、家族が年2回（秋、春）の市街地清掃活動を実施してきましたところ、近年は多数の町民の参加をいただき、地域の恒例行事となっております。また、えりもロータリークラブ杯少年野球大会を開催しており、町内の野球少年団のみならず、近郊の町のチームの参加もあり、熱戦がく





りひろげられています。

荒木義広 築紫富美雄 伝法英司 小林 強 牧野康則
西川一郎 西川一雄 佐藤寿博 菅沼敏昭 山内重保

三石RC

本年3月隣の静内町と合併し、新ひだか町となり1つの町に2つのクラブが誕生したことになる訳ですが、従来以上にともに仲良く新しい町や地域に貢献できればと考えております。

当三石クラブは、会員17名の小さなクラブですが、お互い思いやりの心を大切にするまとまりの良いクラブです。今後も皆で力を合わせて地域のために頑張りたいと思います。

明石秀男 出口弘史 榎本恵子 石垣文雄 亀田 浄
小島安彦 中村一重 斉藤順閑 志田 力 谷本 修
富永 信 山田博継 山田信行

様似RC

当クラブは過疎地の他のクラブと同様会員数が減少し、会員の意気込みも消沈しがちですがロータリープログラムを全員力合わせて消化しているところです。そんな中で、本年度はロータリアンの自信と誇りをとり戻すべく“バッジを着けよう”をサブテーマにしました。どんな時でもバッジをはずすことなくロータリー精神を受けついでいこうという意志を表す為です。様々なプログラムを計画して地域に貢献しております。

橋坂兼雄 久野俊昭 中村 茂 坂本好則 島田一省
田中正之 山本康仁

静内RC

本年度はクラブの指針の中に「ロータリー家族」を掲げ会員家族にもっとロータリーを理解していただき、奉仕活動の中にも参加、お手伝い願える様プログラムを企画しました。夜間例会に会員夫人を招いて会員夫人誕生会を行う、又会員と夫人の1泊家族旅行、そして、クリスマス家族会などで、ロータリーを理解していただく様に「ロータリー家族」に努めています。そして、クラブ内の同好会においては、会員の趣味を生しクラブに活力をいただける様をお願いしています。

田頭喜秀 不動信之 福原義晃 細川好弘 小坂政成
草野喜昭 美濃又洋子 宮崎幸夫 長浜和也 中山弘三郎
岡本 豊 奥田隆二 大森康正 佐藤隆司 澁井郁夫
高田 達 富岡 豊 土屋祐喜 梅庭泰弘 渡部正夫
山口俊秀 吉田 隆

浦河RC

会員数は、一時期の半分になりましたが、活動は以前と変わりなく行っています。その分会員の負担も重くなっていますが全員参加を目標にこれからも頑張ります。又グループで行っている野球大会に参加し楽しみながら活動したいと考えています。

秋山靖典 福士幹紀 伊藤正明 小林忠雄 今 朝光
小関孝雄 前田紘陽 三好吉男 森 和雄 永井崇啓
小原庸行 奥田宗夫 大針道生 大谷律子 佐藤 興
佐藤尚志 蘇田又栄 園 修 高橋清孝 高杉保廣
武田 豊 種本尚志 梅田和義

第9グループ

伊達RC

伊達市は一年を通じて寒暖の差が少なく、穏やかな気候。「北の湘南」とも呼ばれ、甲子園野球大会出場がきっかけとなり、茅ヶ崎湘南RCと姉妹友好クラブとして交流を行っている。野球同好会の他、ゴルフ同好会等会員相互の親睦を深め和やかなクラブであると思います。春の訪れも早く、桜の花々が咲き誇るシーズンのカルチャーセンター広場は、しっとりとした「和」の趣きが漂ってきます。

阿部 三紀夫 安宅 修治 東 晃平 大光 巖 早瀬 芳宏
 平口 泰敏 伊藤 金藏 堅田 進 加藤 嗣郎 川岸 洋一
 河原文 博 川南 忠三 栗原 弘治 栗本 茂生 楠本 誠治
 守谷 保夫 武者 賢一 長野 雄二 中嶋 康 新井田 孝
 西川 正 小野寺 隆之 楽木 恭一 佐久間 重行 笹木 学
 菅 俊治 山崎 満晴

室蘭RC

室蘭ロータリークラブは1936年10月26日札幌ロータリークラブをスポンサーに道内6番目のクラブとして誕生しました。奉仕の心を実践するロータリアンとして先輩諸兄の残した業績は70年の歴史の中に燦然と輝いています。我々メンバーは先輩諸兄が築いた歴史と伝統を継承し時代にあった変革を加え更なる一歩を踏み出す事が大事だと思います。失敗を恐れず、新しい一歩を踏み出そうではありませんか。

菊入 剛 木下 博 國田 雅弘 前田 迪夫 村井 敦司
 内藤 孝幸 小幡 康宏 太田 康德 斎藤 修弥 佐藤 寿夫
 関村 和義 進藤 勝哉 内山 博 吉澤 政彦

室蘭東RC

今やすっかり市民の間に定着した感のある「あれこれなんでも相談室」は、今は亡き前田会長年度の第1回目から教え今年度で5回目になります。我がクラブのこの事業がきっかけとなり、市内の各団体などでの相談会等が開催される様になりました。また、継続事業としてのイタンキ浜清掃は室工大留学生、室蘭大谷高インターアクトクラブなども交え和気藹々として行っています。そして、酒の飲めない人間は信用するなという信念のもとで、夜間例会を行っております。

天谷 富雄 板東 晃 北村 則男 小林 進 小林 麻理
 真柄 優子 松永 英樹 森川 亮 村木 一夫 奈良 泰哉
 佐々木 健治 上田 康郎 矢萩 富士雄 寄木 清二

室蘭北RC

室蘭にある3クラブの中で一番若いクラブです。今年35歳になります。今年は今当クラブ及川ガバナー補佐の下IMも実施します。最盛期66名を数えた会員も38名となりましたが、いたって元気です。献血、知利別川清掃、植樹等の奉仕活動をここ数年行って参りましたが、これに加えて今年、知利別川の水の浄化、生態系に目を向けた活動をしたと考えております。

阿部 貫次 千葉 勝好 廣瀬 禎 岩本 信平 川本 康裕
 三浦 義隆 西尾 静枝 野村 滋 及川 力 笹谷 豊明
 志水 朋子 菅原 悦子





登別RC

私たちのまちは、泉質が11種、湯量も豊富な登別温泉を抱えるまちとして名を馳せています。「楽しく、できることから、できる範囲で、皆で肩肘張らずに率先しよう!」をテーマとして、楽しい例会を開催しています。市立図書館への寄付、少年野球大会や緑化事業などを行っています。今年度は、来春登別市内に開校する北海道立「明日(あけび)中等教育学校で」、寮生活をする子供を招いて、パーベキューを企画しています。

千葉泰二 遠藤秀雄 遠藤征子 伊奈昭夫 石井憲一
 草塩幸子 増田チエ子 中村雅 置田健吾 斎藤正史
 鈴木高士 高岸満則 時田捷司 戸塚守夫 上田博子
 和田浩一 若木日出男 山口賢治

洞爺湖RC

虻田町と洞爺村が合併し、洞爺湖町が誕生しました。これを機会に、念願の会員増強を達成し、有珠山と共生する町づくり、人づくりを楽しく実行していきたいと思えます。

秋田昌昭 阿野康春 川南明則 前谷休市 三戸部義信
 三浦昭三 吉田 聡



第10グループ

函館RC

道内3番目の歴史と伝統を誇る当クラブは1昨年創立70周年を迎え、すでに昨年度から次の80周年に向けてその第一歩を踏み出しました。とくに本年度は小林会長、坂本幹事の下会長方針である「大局着眼 小局着手」をモットーに、ガバナー目標にも掲げられた「会員増強」と「親睦と和」の実践に注力することとしています。またこれまでの各種社会奉仕活動に加え、産学官の連携にも側面から支援して参る所存であります。

太宰昌文 石橋多喜雄 加賀谷聡徳 加藤健太郎 木村英夫
 木村弘志 小林敏夫 工藤敏夫 黒崎敏雄 丸山雄一
 松村敏昭 宮崎昌 森川順治 室田浩三 中山浩一
 南部聖一 小原幸男 佐原正三 坂本修康 柴田繁男
 菅野穆子 菅野剛造 竹田公一 竹田文子 玉田正吾
 富田恒一 渡邊兼一 百合宣博



函館亀田RC

当クラブは昭和47年に函館東ロータリークラブを親クラブとして生まれたクラブです。今年度が三十五周年の区切りを迎えようとしております。現会員数は四十五名で、第10グループでは、中位の規模のクラスです。

当クラブの自慢は、他のクラブに敗けない先輩メンバーの優しさにあります。小生はその優しさに支えられての会長であります。

もう一つの自慢は、退会者が少ない点です。他にもありますが、楽しいクラブです。

遠藤美根雄 堀好夫 稲葉直房 草野照延 松田武
 室井秋夫 坂本幸夫 島田優子 玉井清治 豊田千春
 山田隆保



森RC

我々は親睦を一番に考えて、クラブ奉仕委員会の各セッションで、会員への働きかけに力を入れています。「出席委員会の携帯メールでのインフォメーション」親睦活動委員会の「スポーツ例会の年2回開催。職場訪問の年2回（職業奉仕と共同）。クリスマスの家族会（RC×2）（JC）と4クラブ合同例会など他にたくさんの親睦会」を行い、そこで育んだその結束力を外に向けて（社会奉仕）ロータリーの地域への奉仕を实践してワンステップ向上を目指したロータリアンです。

出町英二 福地隆祐 堀尾 功 岩本豊太郎 近藤宣明
松浦 勝 桜田伸也

七飯RC

当クラブは北緯42度に位置し北海道のなかでは温暖な気候に恵まれ例会場の側には大沼国定公園があります。近年会員が減少しコンパクトなクラブになりましたが会員同士のコミュニケーションが良くなり例会の雰囲気も明るくなりダメージをポジティブにとらえ七飯町が発祥の留学生の国際交流事業にクラブとして長年「国際交流の集い」を開催し国際奉仕に参加しております。今年度のRIテーマであります「率先しよう」の実践に向けて全員一同頑張っています。

伊藤一彦 宮村拓郎 柴田晴史 菅原 昭 上野一義
山内一男

長万部RC

当町の人口は、「国鉄のまち」として栄えていた昭和40年の15,349人をピークに減少して半分以下になり、RC会員も5分の1の6名です。少子・高齢化に対応して、町社会福祉協議会が実施している高齢者温泉入浴サービス事業では、平成5年から独居高齢者および障害者を対象に毎月第3木曜日に当番制で送迎奉仕活動を展開している。また、青少年健全育成事業では、各スポーツ少年団体には継続して助成している。町の事業で春季・秋季の交通安全キャンペーン、「海の日」の海岸清掃などには積極的に参加している。

郊外クラブの森RC・七飯RCとは、毎年恒例となっている森の観桜会・七飯の観月会を通してRC間の交流を深めている。

石高由博 片山幸夫 村松和弘 角 健

函館セントラルRC

創立より1年3ヶ月の地区内で最も新しいクラブです。有意義で楽しい例会の実現、ロータリーの知識の習得、ロータリーの心を地域社会に伝えようと会員一同親睦を深めながらがんばっています。本年は特に1人1人が、もっと起こすこと、即ち『率先しよう』にチャレンジ中です。総てのロータリアンを師匠として常に初心を忘れずに一步一步努力していきます。クラブへの御来訪を心より歓迎致しております。どうぞお越し下さい。

浅野 翼 飯田義雄 伊藤福蔵 伊藤道雄 葛西 功
川村修一 小泉護太郎 南 茂樹 明 洋一 鍋谷操子
能戸英樹 野崎 均 大楠雅彦 坂下賢二 新保真治



第11グループ

江差RC

北前船による江差の栄華はいにしへの出来事となりましたがその意気は人心と風土に刻み込まれております。創立46周年を迎える当クラブは歴史を重んじ先輩の実績を踏まえ、新しい時代の求めに合致する奉仕事業を思案実施致しております。当年はロータリーの森への植林等の継続事業を始め新たな試みとして町民730名を迎え、2名のタカラジェンヌによる親と子の夢の創造と実現のためのエンターテインメントショーを開催致しました。

石崎 薫 神 信雄 前川敏雄 松原富郎 松本洋介
小笠原 隆 西海谷 望 佐藤英志 隅田秀男 打越 東亜夫

函館五稜郭RC

特別史跡・五稜郭跡内箱館奉行所を近隣に持ち、野外劇や五稜郭祭等の地域奉仕は欠かさず出演しております。残念な事は長年サポートして来ました函館ラサール高校インターアクト同好会が廃会となり支援できなくなった事です。しかし、『率先しよう』を合言葉に新しい奉仕を模索中で頑張っております。

次年度は当クラブより酒井ガバナーが誕生します。どうぞみな様よろしくお願ひ致します。

蝦名康夫 藤岡麻子 後平幸太郎 濱中公也 林 真彦
本間 哲 池垣幸治 池垣 緑 石坂 仁 上出眞也
柏木秀之 川上 誠 河村隆平 菊地喜久 牧野康宏
宮上美恵子 棟方 勝 村田信吾 中原哲信 中村喜憲
中澤誠一 能戸 彰 酒井正人 酒井信子 菅谷 剛
鈴木良二 當摩浩平 内山茂次 藪下 明 山本能史
山中儀治

函館東RC

当クラブは、1957年8月に創立され、来年創立50周年を迎えます。新世紀に渡る伝統を重んじ、今期今井会長は、「クラブの歴史を尊び、クラブの未来を創造しよう」とテーマを掲げております。そのテーマの基、会員45名が委員会を中心とした奉仕活動及び50周年の準備を積極的に行っております。特に50周年には最低50名で迎えたいと会員増強にも力を入れております。

明本修一 安保裕一郎 古田清一 林 完治 五十嵐 稔
池垣清信 池垣信一 石畑弘樹 今井義憲 菊地広美
黒島一生 松山 茂 宮崎あけみ 宮崎裕之 宮崎徳三郎
森元 浩 佐藤雄喜 柴崎章吾 菅原憲夫 田中 治
時田 茂 山谷讓治 安田信哉 吉田 勤 吉川達也

函館北RC

当クラブは本年創立43周年を迎えます。30名のチャーターメンバーで発足し、爾来着々と会員数を増やしてまいりましたが、時代の流れには逆らえず、本年度ピーク時の半分以下で創立時を下回る29名の期首会員数となってしまいました。RIテーマ『率先しよう』の下、クラブテーマを『今、できる事から始めよう』とし、創立時の原点に立ち戻り、身の丈に合った楽しく有意義な例会プログラムを作成しております。



弗田和則 石橋輝夫 泉 彰 増田定雄 松見修二
 茂木政雄 中川洲平 成田 豊 佐々木公和 柴崎 晃
 藪下義晴 山下清司

上磯RC

上磯ロータリークラブは今年10周年を迎えます。国際奉仕・社会奉仕・新世代活動と、どちらかというと体を使った活動を得意としております。これからの次の10年のために現在気合いを入れているところであります。今後ともよろしく願いいたします。至らぬ点はロータリーの友情にめんじておゆるしてください。

岩崎富士彦 光銭健三 増田幸久 水島 茂 大場公孝
 鈴木 淳 渡邊 景

松前RC

長岡武久 伊藤幸司

第12グループ

白老RC

会員数19名のクラブではありますが、会員一人一人がロータリー活動に対し意識は高く情熱をもって活動しています。地域への社会奉仕として「桜の苗木100本の植樹」を毎年行い、青少年育成事業として「少年サッカー大会」を開催しています。

2006～2007年度は、初めての事業としてRI及び第2510地区のウォータプロジェクトへ参加し、タイのノンカイ地区への浄水器の寄贈を行います。

秋元則夫 藤田英雄 服巻滋之 石田信雄 笠井博輝
 加藤信雄 河合浩司 川上 一 川田憲秀 仙田公昭
 清水尚昭 外崎晃男 杉村 孝 鈴木琢磨 田辺真樹
 谷島純平 手塚貴志 和歌宏侑 山手 康

苫小牧RC

当クラブは昭和32年に創立され本年度は2007年6月9日に創立50周年記念式典を開催致します。その間地区大会を2度主管し、又神奈川県相模原ロータリークラブと姉妹クラブの締結をして交流は35年になります。48年間高校生に毎月奨学金を贈呈し、2002年7月に苫小牧東ロータリークラブと共同で苫小牧少年少女合唱団を立ち上げ、以後活動支援を行っています。

阿部喜朗 安藤芳男 青山一夫 荒澤義範 藤瀬幸保
 橋本洋一 早坂 実 市町峰行 今井 猛 梶川 昇
 君嶋基弘 今野陽三 増田修一 松崎純男 宮田昭一
 溝口和男 村上満男 永井承邦 西田啓一 西川辰美
 小保方伸一 大森政代 大下 勲 櫻田泰清 佐藤俊生
 清水範己 水田清継 武田芳明 田中義克 渡辺健治
 渡辺典子 山本正幸 柳沢則昭

苫小牧東RC

1992年に苫小牧で3番目のクラブとして設立し、現在の会員数は30名で今年で創立13周年を迎えました。今年度のクラブテーマは「地域にロータリーを伝え輪を広げよう」のもと活動を行っています。



蝦名久志 市町成寿 石田英二 小林忠男 古宇田 涉
 松原 實 松下昌平 水元修治 長岡英幸 中野孝一
 齊藤英明 櫻岡義久 三小田吉邦 佐藤 正 菅野嘉一
 高井昌機 網木保利



苫小牧北RC

1970年苫小牧クラブをスポンサークラブとして設立されました。設立
 当時から現在もパスト会長として参加されている2代目会長山崎正寿
 会員、10代目田辺信夫会員に感謝をしております。活動としては第
 26回目を迎える小学生サッカー大会を行っております。また、ロータ
 リー地域共同体（RCC）家庭生活カウンセリング協会を設立し、2級
 3級カウンセラーの養成講座を開講し人材育成、市民の悩み事の相談
 にのっております。

阿部 寛 朝倉瑞昌 千葉辰一 池田好文 伊藤長英
 伊藤祐紀子 伊藤竹雄 伊藤恭子 紺野誠一 岡田秀樹
 小野多七 佐々木幹雄 高木一男 高橋 寛 高橋康則
 田中 稔 谷岡裕司 矢部 繁 山田新一 山本秀子
 山本雅昭



札幌真駒内RC(ホストクラブ)

創立承認昭和49年2月8日、今年で32年を迎えます。ガバナーは丸
 山淳士会員が初めての誕生であります。昭和47年の冬季オリンピッ
 ク開催の際のメイン会場が札幌真駒内競技場でありました。今でも年
 間を通して多くの大会が開催され、国内外で札幌真駒内の名は知れわ
 たっております。

国際ロータリー第2510地区大会への多くの参加とご協力ご支援を
 お願い申し上げます。ホストクラブとして頑張ります。

安味和幸 安味暁美 荒川悠久子 藤井久弥 藤井知子
 深井孝彦 深井真紀 浜井俊弘 浜井イク子 神谷英光
 神谷園子 金井義司 金井美稚子 金坂和正 金坂由美子
 笠原路子 笠原一晃 川越 仁 川越ひさ子 木村栄二
 木村トシ子 岸川博見 岸川和子 北川忠昭 北川節子
 黒田一夫 黒田文子 丸山淳士 丸山恭子 道端純一
 道端智賀子 森田伸介 森田昌の 森谷明弘 森谷恵子
 永田裕一 永田ふみ子 中川雄一 中川豊子 中原 孝
 中原洋子 中村孝一 中村伊佑子 中山裕視 中山昭子
 南部昭憲 西島國治 西島きみ子 小野寺鉄男 小野寺眞理子
 斎藤康嗣 斎藤百合子 佐々木 敦 佐々木美津子 佐々木則秋
 佐々木紀子 佐藤則幸 佐藤久美江 佐藤泰彦 佐藤純子
 世古 勇 世古靖子 柴田薫心 柴田敦子 澁谷 昭
 渋谷良治 渋谷敬子 高坂勝義 高坂裕子 上田正佳
 上田正子 渡辺 修 渡辺かほる 山田 廣 山田敬子
 山口洋司 山口京子 山内正子 山内鉄夫 吉村洋吉
 吉村淑子



地区大会の間、ご婦人方をバス観光でご案内をいたしました。大倉山ではちょうどサマージャンプの練習中で、ダイナミックに飛んでいく選手の姿に驚きの声が上がりました。練習の最中にもかかわらず、一人の選手は快く記念撮影に応じてくれました。未来の金メダリスト?との一枚はきっと皆さんの記念に残る事でしょう。

また大倉山からの壮大な景色や支笏湖までの山道をバスが走る中、北国の景色を感じていただいたようです。丸駒温泉では昼食も大変おいしくいただき、全員で記念撮影。

スケジュールも押していたため、あわただしくサケのふるさと館へ向かいました。千歳川を遡上するサケやインディアン水車を見学し、楽しいひとときを過ごしました。

札幌真駒内 RC 幹事 山口洋司

10月14日(土)

- 10:00 会場出発 大通を通り大倉山へ
- 11:00 リフトに乗って大倉山観光
- 13:00 バス移動 支笏湖へ
- 15:00 支笏湖 丸駒温泉にて昼食
千歳 サケのふるさと館 見学
札幌へ



委員会展示ブース



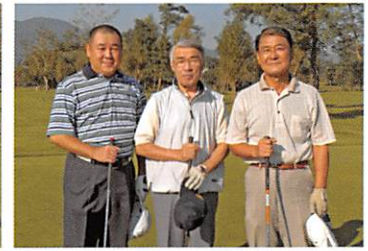
記念ゴルフ大会

平成 18 年 9 月 15 日 (金) 於：小樽カントリー倶楽部

成績表

順位	氏名	クラブ名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	坂田 知樹	岩見沢東	37	41	78	8.4	69.6
準優勝	内山 茂次	函館五稜郭	42	42	84	13.2	70.8
3位	網干 要	札幌手稲	36	39	75	3.6	71.4
4位	安宅 修治	伊達	46	46	92	20.4	71.6
5位	瀬川 俊男	新札幌	42	48	90	18.0	72.0
6位	池垣 幸治	函館五稜郭	43	39	82	9.6	72.4
7位	田中 一廣	芦別	46	47	93	20.4	72.6
8位	小野寺 隆之	伊達	40	46	86	13.2	72.8
9位	上野 了	函館五稜郭	41	45	86	13.2	72.8
10位	中村 達也	札幌	43	43	86	13.2	72.8





囲碁大会

平成 18 年 10 月 9 日 (月) 於：日本棋院北海道本部

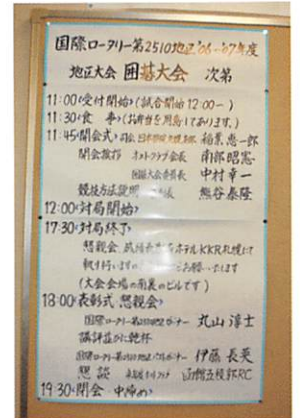
成績表

A クラス

順位	氏名	クラブ名
優勝	伊藤 長英	苫小牧北
準優勝	前田 恒雄	札幌幌南
1 位	山地 康夫	札幌手稲
2 位	五十嵐 達明	滝川
3 位	山口 俊秀	静内

B クラス

順位	氏名	クラブ名
優勝	川内 淳司	函館五稜郭
準優勝	戸部 謙一	札幌西
1 位	日下 健三	恵庭
2 位	内田 豊	札幌幌南
3 位	栃波 寿	札幌幌南





ご来賓ご招待ご芳名

《ご来賓》

北海道知事 高橋はるみ
札幌市長 上田 文雄

《ロータリーご来賓》

国際ロータリー会長代理 亀岡 弘
(第 2640 地区バスト・ガバナー泉 南)
国際ロータリー会長代理令夫人 亀岡 靖子
国際ロータリー日本事務局財団室長 片岡 暎子 (川口西)
(財)ロータリー米山記念英学会専務理事 宮崎 幸雄 (東京)
ロータリーの友編集長 二神 典子

《地区外ご来賓》

第 2500 地区ガバナー 小野 哲 (紋別港)
第 2610 地区バスト・ガバナー 近藤 俊行 (入善)
第 2610 地区バスト・ガバナー令夫人 近藤 陽子
第 2500 地区バスト・ガバナー 道下 俊一 (浜中)

《姉妹地区 (第 3700 地区)》

第 3700 地区総裁 李 龍雨 (大 邱)
前総裁 金 炅洙 (大邱青丘)
前総裁令夫人 梁 惠永
前総裁 任 昌坤 (西大 邱)
前総裁令夫人 金 善子
前総裁 都 載旭 (大邱大徳)
直前総裁 南 星姬 (大邱水蓮)
直前総裁夫君 金 潤起 (大 邱)
次期総裁 張 益鉉 (大邱統一)
総裁補佐役 宋 俊起 (大邱 NEW 八公)
総裁補佐役 金 重坤 (大邱大元)
総裁補佐役 具 東福 (大邱達旬伐)
地区研修リーダー 崔 鳳洵 (東大 邱)

《札幌真駒内 友好クラブ (第 3480 地区)》

—台北大同—

会長 何 昌明
会長令夫人 詹 小華
ガバナー・ノミニー 許 章賢
ガバナー・ノミニー令夫人 周 玲枝
元会長 施 伯南
元会長令夫人 鐘 秀聰
元会長 許 敏川
元会長令夫人 江 美香
元会長・国際奉仕副委員長 黃 國慶

元会長 李 慶明
元会長令夫人 王 淑仁
高 正峰
鄭 瓊齡
潘 當勇
傅 芳櫻
陳 震橋
陳 月霞
郭 燦榮
郭 文貞
陳 榮吉
元 甯
孫 雙宏
劉 美蓉
劉 國輝
蘇 美琴
黃 耀宗
陳 麗華
許 景河
林 彩荔
蘇 鴻銘
黃 惠美
洪 榮添
施 秀秀
劉 寶蓮

地区大会特別参加者名簿 (敬称略)

■インターアクトクラブ

- ・駒澤大学付属岩見沢高校 IAC (岩見沢)
本多 真人 尾路三千英
- ・希望学園札幌第一高校 IAC (札幌)
平野 志保 木村 恒大 西谷 聡美
新田 結加
- ・札幌龍谷学園高校 IAC (札幌モーニング)
福田 希 河村 愛理 中瀬 菜摘
菅原 優
- ・札幌山の手高校 IAC (札幌西北)
麻野 泰弘 下保 貴寛 渡部のぞみ
- ・北海高校 IAC (札幌東)
赤沢 里奈 浅野 舞 加藤 雅子
加藤田梨沙 澤田 知世 田中 真理
渡辺 亜美 山下 留奈 矢野 飛鳥
吉田麻里絵
- ・静内 IAC (静内)
後藤 春香 久住 茄子子 坂本 栞
関口美和子 藤井友花里 深瀬 麻衣
植木絵梨奈
- ・室蘭大谷高校 IAC (室蘭東)
北川 大介 松田ちなみ 太田 裕理
及川 政宏 佐藤 梢

■インターアクト顧問教師

- ・駒澤大学付属岩見沢高校 畑田 雅延
- ・希望学園札幌第一高校 天野 敏枝
- ・札幌龍谷学園高校 岡部 文佳
- ・札幌山の手高校 平澤 誠
- ・北海高校 金山 和弘
- ・北海道静内農業高校 塩村 亮
- ・北海道静内高校 野呂 和代
- ・室蘭大谷高校 福岡ひろみ

■ローターアクトクラブ

- ・赤平 RAC (赤平) 布施 年啓 伊藤 明和
- ・札幌北 RAC (札幌北) 長谷川正宏 小砂 晴資
- ・札幌幌南 RAC (札幌幌南) 安藤由香里 中川 翼
ベトローワ マリヤ
- ・千歳 RAC (千歳) 池田 聡 堀井 清均
長野 晔 齋藤 心
八鳥 真士
- ・室蘭北 RAC (室蘭北) 有賀 佑樹 上家あゆみ
館山 逸朗 山形美紗子
- ・函館 RAC (函館) 畑井福太郎 渡辺 露子

■交換留学生

- ・札幌北 マドレン・ジェーン・ブロッサー
(オーストラリア)
- ・札幌西 カイリー・ダフ (オーストラリア)
- ・札幌手稲 エトー・ランブシャルビ (フィンランド)
- ・札幌東 タリン・ルーウィス (アメリカ)
- ・札幌清田 ウィリアム・ランドン (アメリカ)
- ・恵庭 アリーシャ・エベレット (アメリカ)
- ・北広島 チュート・クリスティーナ (カナダ)
- ・函館 アマンダ・ジンサー (アメリカ)

■ROTEX

- ・札幌はまなす 浅井 賢
- ・札幌幌南 成田 祐子

■地区青少年交換事務局

土田 義也

■米山奨学生

- ・札幌北 李玉璽 (台湾)
- ・札幌西 于 淼 (中国)
- ・札幌はまなす 趙 琰琰 (中国)
- ・札幌東 呉 盈盈 (中国)
- ・札幌清田 趙 亨燮 (韓国)
- ・札幌幌南 クルプラントン・ティラボン (タイ)
- ・札幌南 程 紹強 (中国)
- ・札幌大通公園 黄 立婷 (台湾)
- ・札幌セントラル オイドフ・バトバヤル (モンゴル)
- ・室蘭東 満 都拉 (中国)
- ・室蘭北 アスマリザ・ビンティ・アブドルガニ (マレーシア)

■米山学友

- ・札幌真駒内 黄 詩淳 (台湾)

■ロータリー財団奨学生

- ・新札幌 厚谷 若菜 (2007～08年度派遣学生)
- ・札幌手稲 趙 誠培 (2006～07年度受入学生-韓国-)

■財団学友

- ・上 磯 高倉美穂子 (2005～06年度派遣GSE)

■RCC

- ・苫小牧北 垂石 郁子 寺師 信子

地区資金収支決算書

■特別地区資金

収入の部)

(単位:円)

科目	予算額	実績額	差額	摘要
1. 前期繰越金	4,000,000	4,287,033	△ 287,033	
2. 一般地区資金 上期@ 3,820	12,224,000	11,406,520	817,480	2,986名
同 上 下期@ 3,820	12,224,000	11,631,900	592,100	3,045名
収入合計	28,448,000	27,325,453	1,122,547	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	実績額	差額	摘要
A. 負担金				
1. 地区大会	6,240,000	6,140,181	99,819	
2. 地区協議会	3,360,000	3,360,000	0	
Aの部小計	9,600,000	9,500,181	99,819	
B. 事業費				
1. 地区インターアクト事業費	1,651,200	1,651,200	0	
2. 地区ローターアクト事業費	2,246,400	2,246,400	0	
3. 地区新世代活動事業費	384,000	384,000	0	
4. 地区青少年交換事業費	5,280,000	5,280,000	0	
5. 地区社会奉仕事業費	128,000	128,000	0	名称変更
6. 地区世界社会奉仕事業費	2,080,000	1,535,356	544,644	
7. 地区財団奨学生事業費	793,600	792,000	1,600	
8. 地区 GSE 事業費	864,000	836,615	27,385	
9. 地区財団学友事業費	166,400	166,400	0	
10. その他の地区事業費	672,000	249,094	422,906	
11. 世界平和奨学金事業費	44,800	0	44,800	
12. 予備費	537,600	0	537,600	
Bの部小計	14,848,000	13,269,065	1,578,935	
C. 規定審議会代議員費	0	0	0	
D. 臨時支出金	0	0	0	
支出合計	24,448,000	22,769,246	1,678,754	
次期繰越金 GSE 事業費 規定審議会代議員費 その他事業費	4,000,000	4,556,207	△ 556,207	全ての事業費の余剰金 は一括して次年度への 繰越金となる
総計	28,448,000	27,325,453	1,122,547	

地区大会特別参加者名簿 (敬称略)

■インターアクトクラブ

- ・駒澤大学付属岩見沢高校 IAC (岩見沢)
本多 真人 尾路三千英
- ・希望学園札幌第一高校 IAC (札幌)
平野 志保 木村 恒大 西谷 聡美
新田 結加
- ・札幌龍谷学園高校 IAC (札幌モーニング)
福田 希 河村 愛理 中瀬 菜摘
菅原 優
- ・札幌山の手高校 IAC (札幌西北)
麻野 泰弘 下保 貴寛 渡部のぞみ
- ・北海高校 IAC (札幌東)
赤沢 里奈 浅野 舞 加藤 雅子
加藤田梨沙 澤田 知世 田中 真理
渡辺 亜美 山下 留奈 矢野 飛鳥
吉田麻里絵
- ・静内 IAC (静内)
後藤 春香 久住 菜葉子 坂本 葉
関口美和子 藤井友花里 深瀬 麻衣
植木絵梨奈
- ・室蘭大谷高校 IAC (室蘭東)
北川 大介 松田ちなみ 太田 裕理
及川 政宏 佐藤 梢

■インターアクト顧問教師

- ・駒澤大学付属岩見沢高校 畑田 雅延
- ・希望学園札幌第一高校 天野 敏枝
- ・札幌龍谷学園高校 岡部 文佳
- ・札幌山の手高校 平澤 誠
- ・北海高校 金山 和弘
- ・北海道静内農業高校 塩村 亮
- ・北海道静内高校 野呂 和代
- ・室蘭大谷高校 福岡ひろみ

■ローターアクトクラブ

- ・赤平 RAC (赤平) 布施 年啓 伊藤 明和
- ・札幌北 RAC (札幌北) 長谷川正宏 小砂 晴資
- ・札幌幌南 RAC (札幌幌南) 安藤由香里 中川 翼
ペトローワ マリヤ
- ・千歳 RAC (千歳) 池田 聡 堀井 清均
長野 塁 齋藤 心
八鳥 真士
- ・室蘭北 RAC (室蘭北) 有賀 佑樹 上家あゆみ
館山 逸朗 山形美紗子
- ・函館 RAC (函館) 畑井福太郎 渡辺 路子

■交換留学生

- ・札幌北 マドレン・ジェーン・ブロッサー
(オーストラリア)
- ・札幌西 カイリー・ダフ (オーストラリア)
- ・札幌手稲 エトール・ランブシャルビ (フィンランド)
- ・札幌東 タリン・ルーウイス (アメリカ)
- ・札幌清田 ウィリアム・ランドン (アメリカ)
- ・恵庭 アリーシャ・エベレット (アメリカ)
- ・北広島 チュート・クリステイナ (カナダ)
- ・函館 アマンダ・ジンサー (アメリカ)

■ROTEX

- ・札幌はまなす 浅井 賢
- ・札幌幌南 成田 祐子

■地区青少年交換事務局

土田 義也

■米山奨学生

- ・札幌北 李 玉璽 (台湾)
- ・札幌西 于 淼 (中国)
- ・札幌はまなす 趙 琰琰 (中国)
- ・札幌東 吳 盈盈 (中国)
- ・札幌清田 趙 亨燮 (韓国)
- ・札幌幌南 クルプラントン・ティラポン (タイ)
- ・札幌南 程 紹強 (中国)
- ・札幌大通公園 黄 立婷 (台湾)
- ・札幌セントラル オイドフ・バトバヤル (モンゴル)
- ・室蘭東 満 都拉 (中国)
- ・室蘭北 アスマリザ・ビンティ・アブドルガニ (マレーシア)

■米山学友

- ・札幌真駒内 黄 詩淳 (台湾)

■ロータリー財団奨学生

- ・新札幌 厚谷 若菜 (2007～08年度派遣学生)
- ・札幌手稲 趙 誠培 (2006～07年度受入学生-韓国-)

■財団学友

- ・上 磯 高倉美穂子 (2005～06年度派遣 GSE)

■RCC

- ・苫小牧北 垂石 郁子 寺師 信子

地区資金収支決算書

■一般地区資金

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	実績額	差額	摘要
1. 前期繰越金	13,420,200	22,252,215	△ 8,832,015	
2. 一般地区資金 上期 @4730	15,136,000	14,123,780	1,012,220	2,986名
同 上下期 @4730	15,136,000	14,402,850	733,150	3,045名
3. RI助成金	2,700,000	2,696,169	3,831	
4. ガバナー月信購読料	2,520,000	3,151,750	△ 631,750	
5. 雑収入	100,000	42,676	57,324	受取利息 シカゴ国際大会 登録割戻分
収入合計	49,012,200	56,669,440	△ 7,657,240	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	実績額	差額	摘要
A. 地区大会				
1. 地区表彰費	500,000	500,000	0	
2. ガバナー記念品費	100,000	100,000	0	
Aの部小計	600,000	600,000	0	
B. 助成金				
1. 地区協議会	800,000	800,000	0	
2. 都市連合会(IM)	720,000	610,000	110,000	第6、第8グルー
3. 会長エレクト研修セミナー	400,000	400,000	0	プ未実施
4. 地区指導者育成セミナー	100,000	100,000	0	
5. 地区チーム研修セミナー	350,000	350,000	0	
Bの部小計	2,370,000	2,260,000	110,000	
C. 負担金				
1. ガバナー会	640,000	648,775	△ 8,775	@ 100 × 6,031名
	960,000	904,650	55,350	下期@ 15 × 3,045名
2. 日本ロータリー文庫	640,000	0	640,000	@ 150 × 6,031名
3. ロータリー情報センター				
Cの部小計	2,240,000	1,553,425	686,575	
D. 会議費				
1. 地区ガバナー指名委員会	200,000	147,231	52,769	
2. 地区ガバナー諮問委員会	500,000	344,048	155,952	
3. 地区ガバナー補佐会議	800,000	800,000	0	
4. 地区委員長会議	400,000	400,000	0	
5. 地区研修リーダー会議	30,000	0	30,000	
6. 地区クラブ奉仕委員会	100,000	100,000	0	クラブ奉仕委員
7. 地区広報委員会	-	-	-	会に統合
8. 地区情報委員会	150,000	150,000	0	
9. 地区IC委員会				
10. 地区ロータリーの友委員会	0	0	0	廃止
11. 地区拡大委員会	30,000	0	30,000	
12. 地区会員増強委員会	50,000	50,000	0	
13. 地区職業奉仕委員会	50,000	50,000	0	
14. 地区社会奉仕委員会	300,000	300,000	0	
15. 地区家庭奉仕委員会	-	-	-	社会奉仕委員会に統合
16. 地区子ども奉仕委員会	-	-	-	社会奉仕委員会に統合

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
17. 地区新世代委員会	100,000	100,000	0	新世代委員会に統合
18. 地区ライラ委員会	-	-	-	
19. 地区インターアクト委員会	150,000	149,125	875	
20. 地区ローターアクト委員会	150,000	150,000	0	
21. 地区青少年交換委員会	400,000	400,000	0	
22. 地区国際奉仕委員会	300,000	300,000	0	親睦活動委員会 から名称変更
23. 地区世界社会奉仕委員会				
24. 地区国際友好委員会				
25. 地区友情交換委員会	0	0	0	廃止
26. 地区ロータリー財団委員会	60,000	0	60,000	ロータリー財団 委員会に統合
27. 地区財団増進委員会	-	-	-	
28. 地区国際親善奨学金委員会	50,000	50,000	0	
29. 地区 GSE 委員会	50,000	50,000	0	廃止
30. 地区財団学友委員会	50,000	50,000	0	
31. 地区補助金委員会	20,000	13,670	6,330	
32. 地区米山記念奨学委員会	30,000	30,000	0	
33. 地区米山学友委員会	30,000	30,000	0	
34. 地区財務委員会	20,000	0	20,000	
35. 地区オン・ツー・コペンハーゲン委員会	50,000	50,000	0	
36. 地区 100 周年記念委員会	0	0	0	
37. 意義ある業績賞選考委員会	20,000	0	20,000	
38. その他委員会	100,000	0	100,000	
39. 予備費	160,000	0	160,000	
D の部 小 計	4,350,000	3,714,074	635,926	
E. 旅 費				4 回開催
1. ガバナー会	150,000	222,260	△ 72,260	
2. パストガバナー懇談会	500,000	508,820	△ 8,820	
3. ロータリー研究会	1,250,000	1,398,020	△ 148,020	
4. ガバナーエレクト国際協議会	700,000	700,000	0	
5. 全国ガバナーエレクト会議	150,000	172,840	△ 22,840	全国青少年交換委員長 会議、財団地域セミナー、 全国研修リーダー会議
6. 全国地区連絡会議	400,000	473,000	△ 73,000	
7. その他会議	250,000	258,667	△ 8,667	
E の部 小 計	3,400,000	3,733,607	△ 333,607	
F. ガバナー事務所費	14,735,000	13,029,708	1,705,292	
G. ガバナーエレクト事務所費	4,800,000	4,800,000	0	
H. ガバナー月信発行費	3,800,000	3,798,900	1,100	
I. ガバナー公式訪問費	1,200,000	1,183,400	16,600	
J. 地区文献資料室費	1,050,000	785,636	264,364	
K. 地区 IC 活動費	530,000	530,000	0	
L. 総予備費	437,200	0	437,200	
M. 臨時支出金	0	0	0	
支 出 合 計	39,512,200	35,988,750	3,523,450	
次期繰越金	9,500,000	20,680,690	△ 11,180,690	
総 計	49,012,200	56,669,440	△ 7,657,240	

地区資金収支決算書

■特別地区資金

収入の部)

(単位:円)

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	4,000,000	4,287,033	△ 287,033	
2. 一般地区資金 上期@ 3,820	12,224,000	11,406,520	817,480	2,986 名
同 上 下期@ 3,820	12,224,000	11,631,900	592,100	3,045 名
収入合計	28,448,000	27,325,453	1,122,547	

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	実績額	差 額	摘 要
A. 負担金				
1. 地区大会	6,240,000	6,140,181	99,819	
2. 地区協議会	3,360,000	3,360,000	0	
A の部 小 計	9,600,000	9,500,181	99,819	
B. 事業費				
1. 地区インターアクト事業費	1,651,200	1,651,200	0	
2. 地区ローターアクト事業費	2,246,400	2,246,400	0	
3. 地区新世代活動事業費	384,000	384,000	0	
4. 地区青少年交換事業費	5,280,000	5,280,000	0	
5. 地区社会奉仕事業費	128,000	128,000	0	名称変更
6. 地区世界社会奉仕事業費	2,080,000	1,535,356	544,644	
7. 地区財団奨学生事業費	793,600	792,000	1,600	
8. 地区 GSE 事業費	864,000	836,615	27,385	
9. 地区財団学友事業費	166,400	166,400	0	
10. その他の地区事業費	672,000	249,094	422,906	
11. 世界平和奨学金事業費	44,800	0	44,800	
12. 予備費	537,600	0	537,600	
B の部 小 計	14,848,000	13,269,065	1,578,935	
C. 規定審議会代議員費	0	0	0	
D. 臨時支出金	0	0	0	
支出合計	24,448,000	22,769,246	1,678,754	
次期繰越金 GSE 事業費 規定審議会代議員費 その他事業費	4,000,000	4,556,207	△ 556,207	全ての事業費の余剰金 は一括して次年度への 繰越金となる
総 計	28,448,000	27,325,453	1,122,547	

■第 2510 地区資金次期繰越金

(単位:円)

科 目	前期繰越金	本年度収入	収入合計	本年度支出計	次期繰越金
一地区資金	22,252,215	34,417,225	56,669,440	35,988,750	20,680,690
特別地区資金	4,287,033	23,038,420	27,325,453	22,769,246	4,556,207
第 2510 地区資金合計	26,539,248	57,455,645	83,994,893	58,757,996	25,236,897

■ガバナー事務所費の内訳細目

(単位:円)

科 目	予算額	2004 - 2005 実績額	2005 - 2006 決算額	総合計	差 額
2004-2005 年度一般地区資金	4,800,000	6,269,225		6,269,225	△ 1,469,225
2005-2006 年度一般地区資金	14,735,000		11,560,483	11,560,483	3,174,517
合 計	19,535,000	6,269,225	11,560,483	17,829,708	1,705,292

支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	2004 - 2005 実績額	2005 - 2006 決算額	総合計	差 額
1. 給与手当	6,272,000	2,532,665	3,574,710	6,107,375	164,625
2. 家賃・光熱費	3,775,000	1,727,168	1,949,814	3,676,982	98,018
3. リース料	1,410,000	470,148	864,316	1,334,464	75,536
4. 事務用品費	300,000	90,261	202,013	292,274	7,726
5. 印刷費	1,000,000	0	443,740	443,740	556,260
6. 登録料など負担金	200,000	72,000	116,200	188,200	11,800
7. 会議費	360,000	0	321,494	321,494	38,506
8. 通信費	700,000	294,139	359,517	653,656	46,344
9. 旅費・交通費	650,000	203,260	413,360	616,620	33,380
10. 渉外費	647,500	30,000	528,600	558,600	88,900
11. 資料費	480,000	118,622	59,206	177,828	302,172
12. 備品費	250,000	186,564	41,466	228,030	21,970
13. 地区要覧費	700,000	0	700,000	700,000	0
14. ガバナー補佐事務費	1,200,000	0	1,200,000	1,200,000	0
15. 雑費	1,340,500	544,398	786,047	1,330,445	10,055
16. 予備費	250,000	0	0	0	250,000
合 計	19,535,000	6,269,225	11,560,483	17,829,708	1,705,292

地区年次大会収支決算書

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	実績額	摘要
登録料	24,639,000	24,743,000	会員 1,628名 × 13,000円 = 21,164,000
			家族 54名 × 8,000円 = 432,000
			青少年 103名 × 5,000円 = 515,000
			歓迎晩餐会 188名 × 10,000円 = 1,880,000
			ゴルフ 124名 × 5,000円 = 620,000
			囲碁 33名 × 4,000円 = 132,000
地区分担金	6,840,000	6,940,000	一般地区資金 600,000
			特別地区資金 6,240,000
			地区指導者育成セミナー 100,000
雑収入	290,000	290,043	御祝儀・出店料・預金利息
収入合計	31,769,000	31,973,043	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	実績額	摘要
総務部門	4,050,000	4,012,208	会議費 1,491,372
			事務経費・通信費 1,054,903
			プログラム他印刷費 1,061,550
			その他雑費 404,383
会場部門	5,958,704	5,958,704	会場使用料 2,825,874
			会場設備費 2,670,080
			会場運営費 462,750
行事部門	15,241,281	15,275,448	記念懇親会費 7,779,760
			歓迎晩餐会費 3,844,948
			記念講演会費 870,020
			地区指導者育成セミナー費 498,020
			昼食代 1,593,280
			アトラクション 689,420
式典部門	2,362,600	2,364,520	記念事業費 1,500,000
			表彰授与品費 464,520
			RI 会長代理記念品他 400,000
登録部門	476,415	468,855	名札・コサージュ代 468,855
ゴルフ部門	1,200,000	1,179,920	賞品 673,600
			運営費 88,000
			懇親会費 418,320
囲碁部門	380,000	375,119	賞品 129,104
			運営費 85,500
			懇親会費 160,515
記録部門	2,100,000	2,238,450	記録誌 1,505,000
			写真撮影・DVD制作 733,450
予備費	0	0	
支出合計	31,769,000	31,873,224	
差引		99,819	特別地区資金へ戻し入れ

第1. 決算書注記

1. 地区資金クラブ負担金の収受にかかる地区内会員数は次の通りです。

(1) 会員数 上期 2,986名 下期 3,045名

(2) 会員1人当たり負担額

上期 一般地区資金 4,730円 特別地区資金 3,820円

下期 〃 4,730円 〃 3,820円

2. ガバナー月信購読料 年間購読料 @3,500円 (13回発行、有料購読者数900冊)

3. 収入の部及び支出の部において予算額を上回った科目には△を付記しました。

第2. 資金区分別概要

1. 一般地区資金

(1) 収入の部

①地区内会員数の大幅減少(予算比:上期214名、下期155名)のため、会員負担金収入は予算に対して下記の通り減収となりました。

上期 1,012,220円

下期 733,150円 合計 1,745,370円

②ガバナー月信購読者の増加により631,750円増収の3,151,750円となりました。

③前期繰越金は予算額より8,832,015円多い22,252,215円となりました。

(2) 支出の部

①会議費について地区会員増強委員会、地区米山記念奨学委員会、地区米山学友委員会が実質支出超過となりました。

②旅費その他会議支出分については、全国青少年育成委員会議、RI指針検討会議、地区会員増強研修セミナーに支出しております。

③ガバナー事務所費の内訳細目には、ガバナー・エレクト事務所費を含む総額について計上しました。

ガバナー・エレクト事務所費は諸経費の増加のため、予算より1,469,225円超過となりましたが、最終的にガバナー事務所費は予算対比1,705,292円の節減となりました。なお収支決算書の金額にはガバナー・エレクト事務所費超過分を含んだ金額で計上しております。

上記の結果、収入合計金額56,669,440円から支出合計金額35,988,750円を差し引いた20,680,690円を次年度に繰越しました。

2. 特別地区資金

(1) 収入の部

①会員数の減少により特別地区資金も下記の通り大幅減収となりました。

上期 817,480円

下期 592,100円 合計 1,409,580円

②前期繰越金は予算額より287,033円多い4,287,033円となりました。

(2) 支出の部

①その他の地区事業費は地区米山記念奨学委員会に200,000円、地区米山学友委員会に49,094円を支出しました。

上記の結果、収入合計金額27,325,453円から支出合計金額22,769,246円を差し引いた4,556,207円を次年度に繰越しました。

地区資金収支報告

別紙の通り地区資金収支決算書を提出します。

2006年9月19日

国際ロータリー第2510地区2005 - 2006年度

財務委員長 藤井英勝

地区資金収支決算監査報告

別紙の地区資金収支決算書について監査の結果、適正であると認めます。

2006年9月25日

国際ロータリー第2510地区2004 - 2005年度

ガバナー 遠藤秀雄

地区大会運営委員会

■プログラム委員会

委員長 ガバナー 丸山 淳士
中山 裕視

■信任状委員会

委員長 バスト・ガバナー 遠藤 秀雄
小野寺鉄男

■選挙管理委員会

委員長 バスト・ガバナー 小林 博
森谷 明弘

■決議委員会

委員長 バスト・ガバナー 佐藤 秀雄
黒田 一夫

■登録委員会

委員長 バスト・ガバナー 塚原 房樹
斎藤 康嗣
岸川 博見

■出席推進委員会

委員長 ガバナー・エレクト 酒井 正人
委員 ガバナー補佐
澤田 茂 (留 萌) 田中 良一 (赤 平)
廣岡 秀晴 (栗 山) 矢橋 温郎 (札幌西)
川崎 秀雄 (札幌南) 林 正秀 (余 市)
木村 昭男 (千 歳) 中山弘三郎 (静 内)
及川 力 (室蘭北) 加藤健太郎 (函 館)
大場 公孝 (上 磯) 鈴木 琢磨 (白 老)

地区大会実行委員会

実行役員

ガバナー 丸山 淳士
大会委員長 金井 義司
大会副委員長 藤井 久弥 佐々木 敦
大会幹事 神谷 英光
副幹事 深井 孝彦 森田 伸介
大会 SAA 吉村 洋吉 渡辺 修
大会会計 金坂 和正 上田 正佳
ホストクラブ会長 南部 昭憲
地区代表幹事 中山 裕視

司会進行 ◎浜井 俊弘 ○佐藤 則幸

総 務 ◎佐藤 泰彦 ○川越 仁
高坂 勝義 柴田 薫心
浜井 俊弘 永田 裕一
中原 孝 中村 孝一
山口 洋司

受付登録 ◎高坂 勝義 ○山内 正子
中川 雄一 山田 廣
世古 勇 安味 和幸
道端 純一 瀧谷 昭
渋谷 良治 木村 栄二
北川 忠昭

接 待 ◎柴田 薫心 ○船本 達世
笠原 路子 荒川悠久子
上田 正佳 林下 忠雄
上遠野 徹

会 場 ◎浜井 俊弘 ○山口 洋司
佐藤 則幸

記 録 ◎永田 裕一 ○川越 仁
佐藤 泰彦 荒川悠久子
笠原 路子 中川 雄一
世古 勇 山田 廣

音 楽 ◎山口 洋司

救 護 ◎中原 孝

記念ゴルフ ◎浜井 俊弘 ○西島 國治
山内 正子 佐々木則秋

記念囲碁 ◎中村 孝一 ○中川 雄一
世古 勇 山田 廣
西島 國治

フォーラム ◎佐藤 泰彦 ○川越 仁
山口 洋司

◎委員長 ○副委員長

国際ロータリー第 2510 地区地区大会の実行委員の方には、大会の前からいろいろな準備や大会中の運営、その後の本記録誌の編集にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

また、本誌の企画、デザイン、編集をお受けいただいた昭和レーベル印刷工業株式会社の皆様にも多大なご協力をいただき感謝いたします。

本誌は過去の地区大会記録誌を参考にし、極力内容を網羅するとともにできるだけ読みやすくなるよう、写真を中心としてビジュアルにまとめました。表紙に写真を載せた本会場の市民会館は本大会後の今春で幕を閉じますので、貴重な記念でもあります。

本大会は韓国の姉妹地区・台湾の友好クラブ（札幌真駒内 RC）からもたくさんの方にご参加いただき、国際的な友愛を深める機会になったことも喜ばしいことです。そしてまた大会中に挨拶された多くの方が「友好と親睦そして率先」をお話の中に盛り込まれていました。この地区大会を契機にさらにそれが深まればと願うばかりです。

当大会ではテーマを「ロータリーの未来に－北の夢エナジー」とし、それはロータリーのテーマである「LEAD THE WAY. 率先しよう」の先に北の夢をかかげることを目的としたものでしょう。北の大地にあるロータリークラブの会員としてフロンティアスピリットを持ち続けていきたいものです。

最後に十分な注意をもって編集しましたが、もし不満足な部分がありましたらロータリーの友情に免じてお許しいただければ感謝に堪えません。

来期の地区大会は両館五稜郭ロータリークラブ主催で実施されますが、よりいっそう盛んな地区大会になるよう皆様とともに協力を誓うとともに、本記録がロータリークラブの歴史と後世の会員のためになりますようお願いしつつ編集後記とさせていただきます。

地区大会記録誌編集長

永田 裕一

2006-2007 国際ロータリー 第 2510 地区地区大会の記録

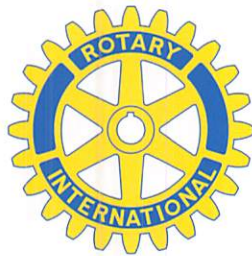
平成 19 年 6 月 25 日発行

発行 札幌真駒内ロータリークラブ

編集 2006-2007 国際ロータリー 第 2510 地区地区大会記録誌編集委員会

印刷 昭和レーベル印刷工業株式会社

協力 森田洋紙株式会社



国際ロータリー第2510地区
地区大会の記録
2006年10月14日(土)・15日(日)

ホストクラブ／札幌真駒内ロータリークラブ